

IV 人口減少に関するアンケート調査

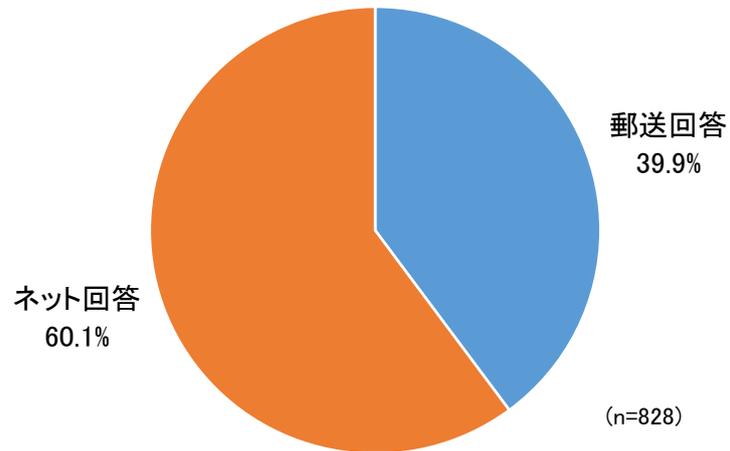
1 調査概要

調査目的	人口減少に関連する市民の考えについて把握する
調査対象	市内在住の16歳以上40歳以下の方
抽出方法及び条件	住民票から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送にて配布し、郵送又はオンラインにより回収
実施時期	令和6年4月19日(発送日)から5月13日
発送数	2,000件
回収数	828件(うちオンライン回答498件)
回収率	41.4%(小数点第2位四捨五入)
調査票	A4版12ページ、一部記名式(※)、全30問(枝問を除く) ※ワークショップ参加意向者のみ記名
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 回答者の属性について(4問)・ お住まいについて(5問)・ 仕事について(4問)・ 出会いや結婚に対する考えについて(4問)・ 出産・子育てについて(4問)・ 富士宮市の暮らしについて(2問)・ 将来の希望について(7問)
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 集計は無回答を除いた回答数を母数とした各選択肢の割合を算出している。・ 回答結果は小数点第2位を四捨五入しているため、各選択肢の割合の合計が100%にならない場合がある。・ 不明(無回答)については、基本的にコメントの対象外とした。・ 各設問に示した()内の表記について、SAは単一回答の設問、MAは複数回答の設問であることを示す。・ グラフ下もしくは右のnは回答者数を示す。

2 集計結果

回答種別

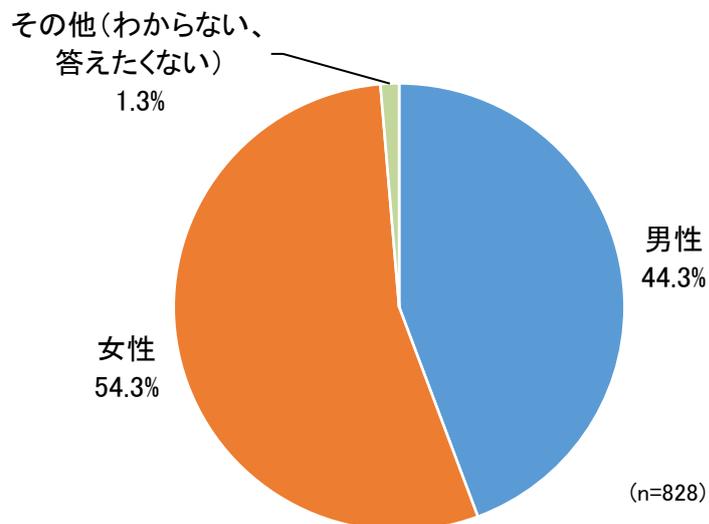
「ネット回答」が60.1%、「郵送回答」が39.9%であり、「ネット回答」が多い。



1 回答者の属性について

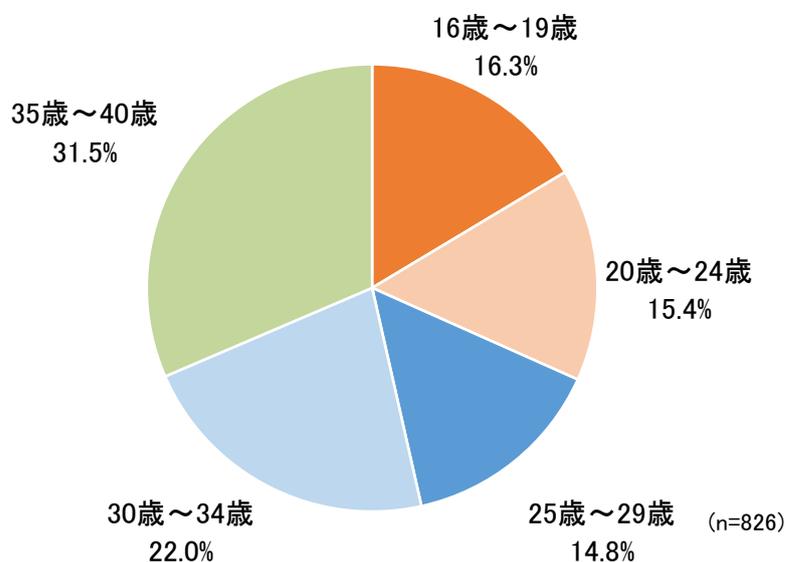
問1. 性別 (SA)

「女性」が54.3%、「男性」が44.3%、「その他(わからない、答えたくない)」が1.3%である。



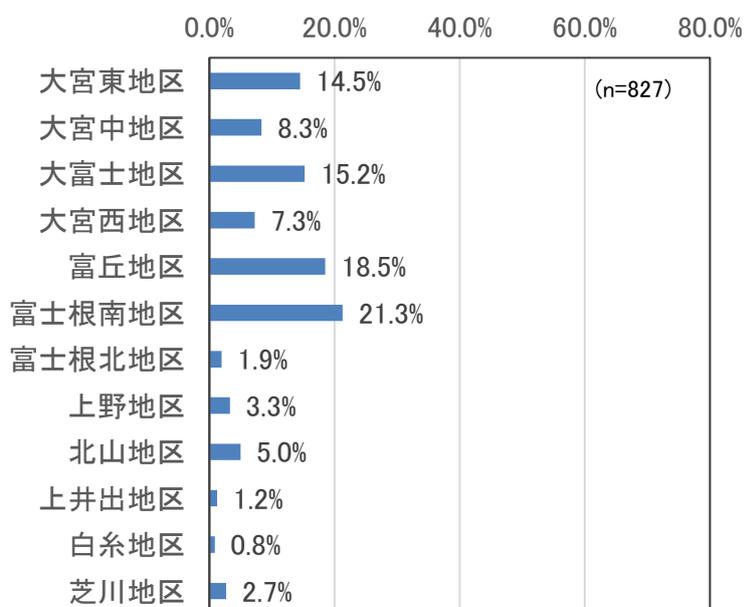
問2. 年齢 (SA)

「35歳～40歳」の割合が最も高く31.5%である。次いで、「30歳～34歳(22.0%)」、「16歳～19歳(16.3%)」である。



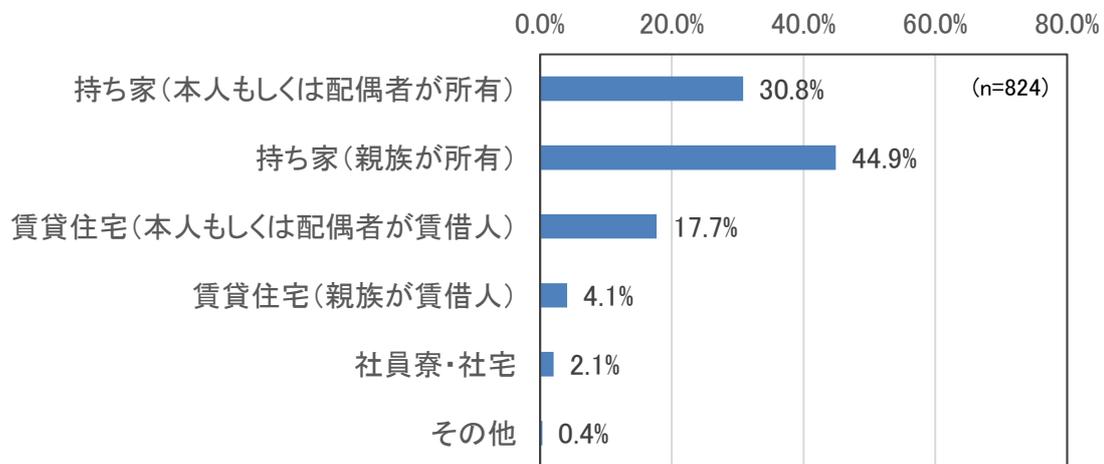
問3. 住んでいる地域 (SA)

「富士根南地区」の割合が最も高く21.3%である。次いで、「富丘地区(18.5%)」、「大富士地区(15.2%)」、「大宮東地区(14.5%)」、である。



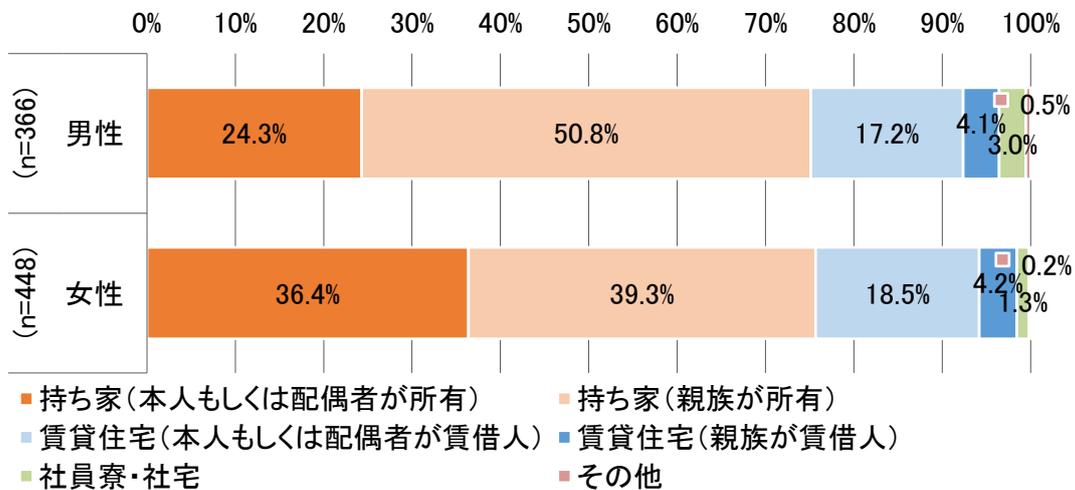
問4. 自宅について当てはまるもの (SA)

「持ち家(親族が所有)」の割合が最も高く 44.9%である。次いで、「持ち家(本人もしくは配偶者が所有)(30.8%)」、「賃貸住宅(本人もしくは配偶者が賃借人)(17.7%)」である。



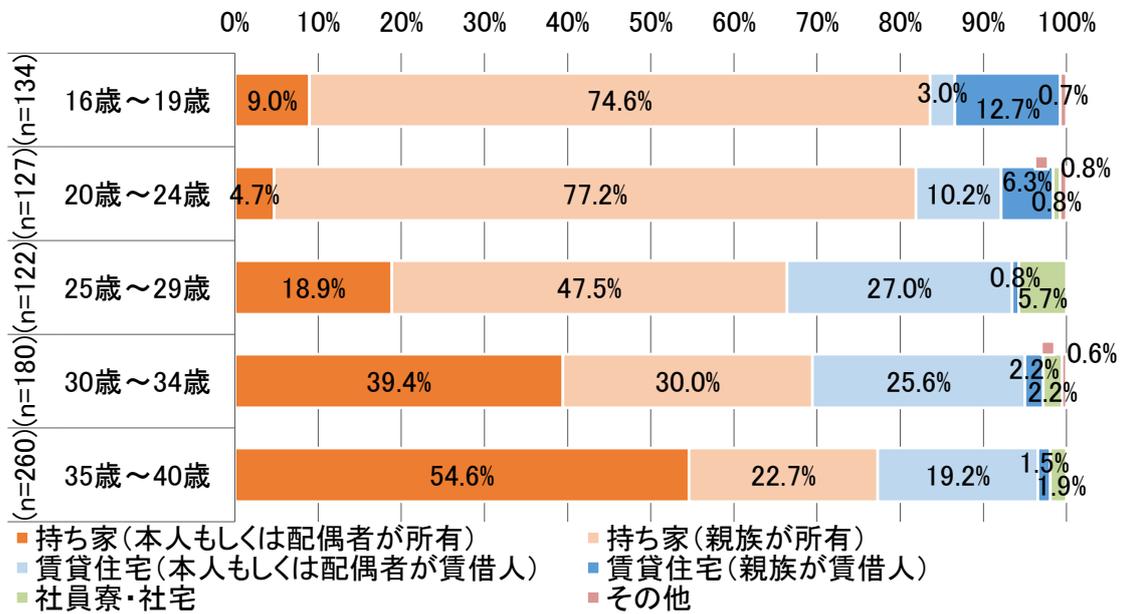
■性別クロス集計結果(問1)

「持ち家(本人もしくは配偶者が所有)」の割合は女性の方が高く、「持ち家(親族が所有)」の割合は男性の方が高い。



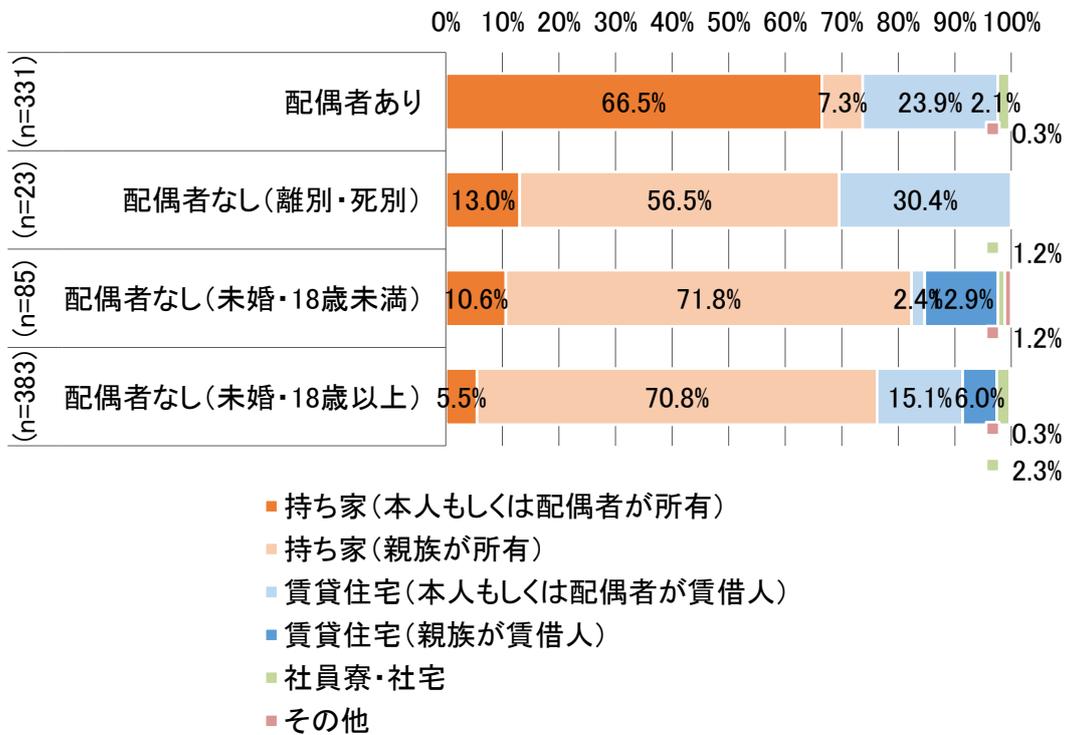
■年齢別クロス集計結果(問 2)

10代および20代前半は「持ち家(親族が所有)」が多数を占める。30代以上では「持ち家(本人もしくは配偶者が所有)」が最も多く、次いで「持ち家(親族が所有)」、「賃貸住宅(本人もしくは配偶者が賃借人)」となっている。



■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

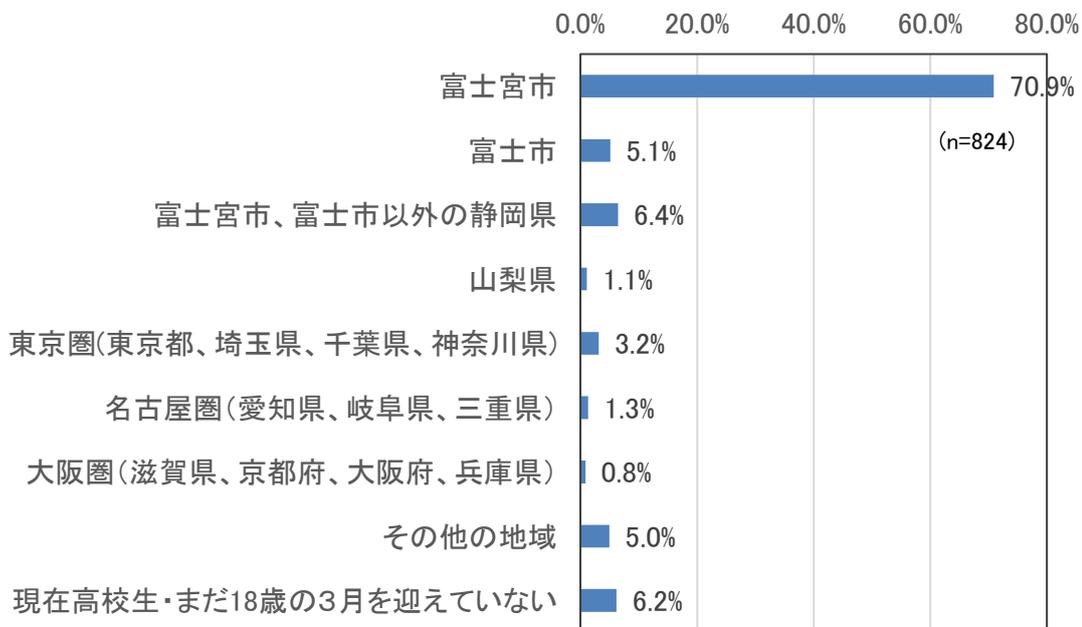
配偶者ありでは「持ち家(本人もしくは配偶者が所有)」が最も多く、配偶者なし(離別・死別)、配偶者なし(未婚・18歳未満)、配偶者なし(未婚・18歳以上)では「持ち家(親族が所有)」が最も多い。



2 お住まいについて

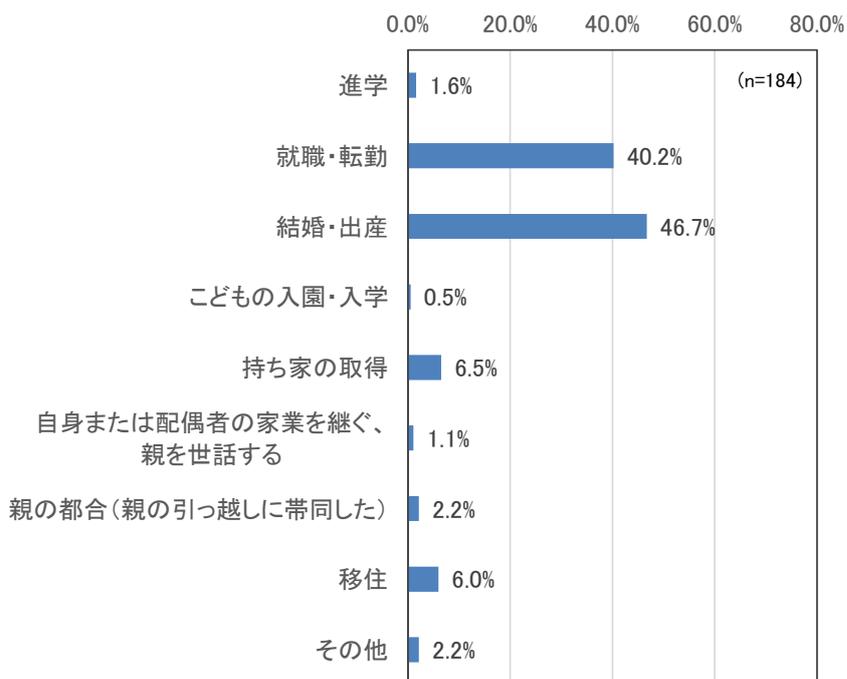
問5. 高校卒業前の居住地 (SA)

「富士宮市」の割合が最も高く 70.9%である。次いで、「富士宮市、富士市以外の静岡県(6.4%)」、「現在高校生・まだ18歳の3月を迎えていない(6.2%)」、「富士市(5.1%)」、「その他の地域(5.0%)」である。



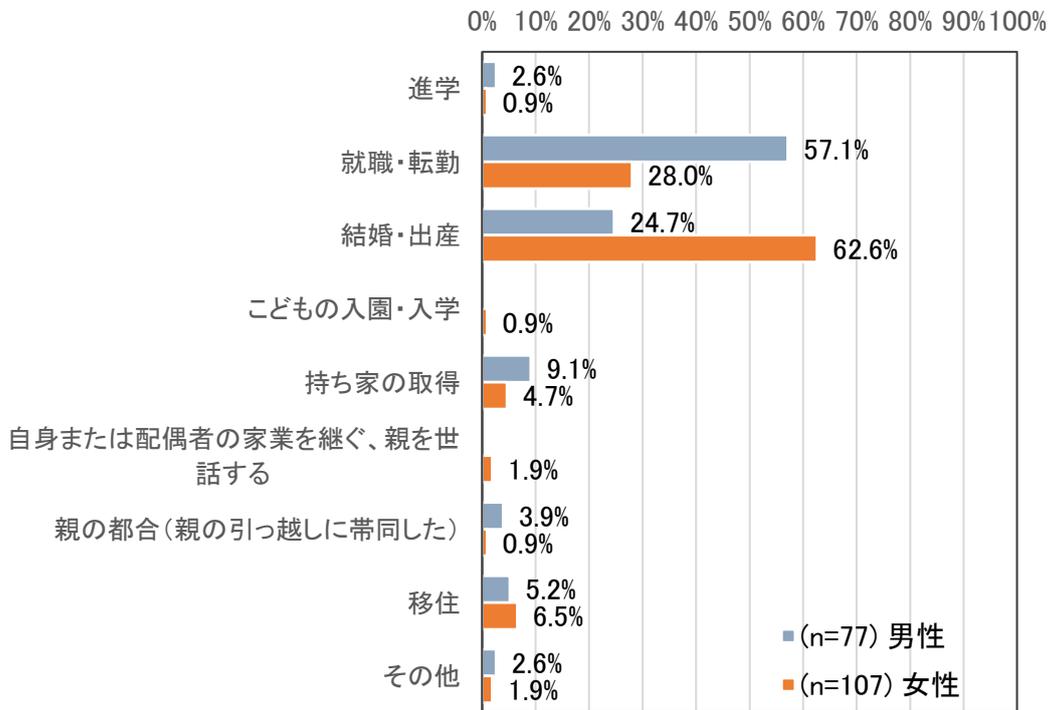
問6. 富士宮市に転入したきっかけ (SA)

「結婚・出産」の割合が最も高く 46.7%である。次いで、「就職・転勤(40.2%)」、「持ち家の取得(6.5%)」である。



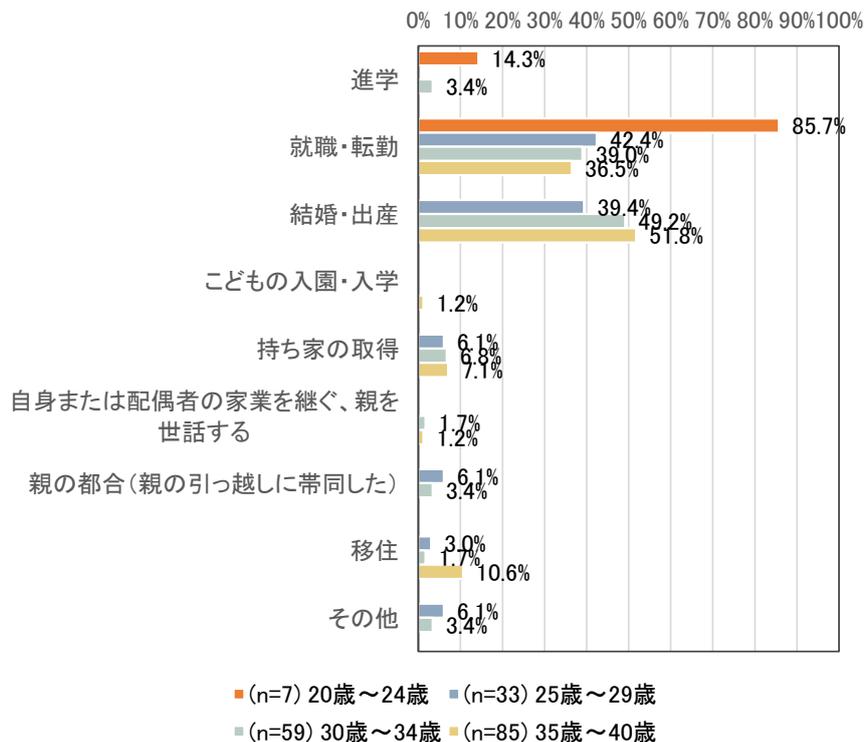
■性別クロス集計結果(問1)

男性では「就職・転勤」が57.1%と最も割合が高く、次いで「結婚・出産」が24.7%である。女性では「結婚・出産」が62.6%と最も割合が高く、次いで「就職・転勤」が28.0%である。



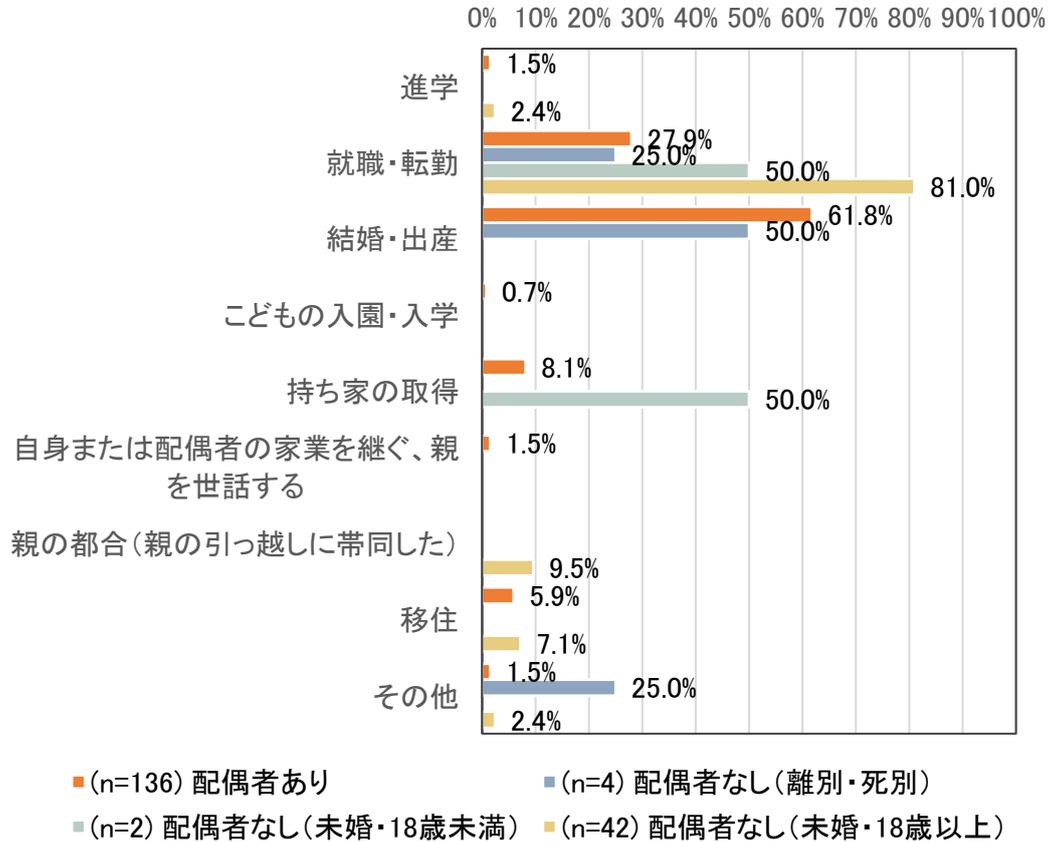
■年齢別クロス集計結果(問2)

20代前半では「就職・転勤(85.7%)」の割合が最も高く、他の年代と比較しても高い傾向にある。「結婚・出産」の割合は20代後半以降、年齢が上がるにつれて高くなっている。



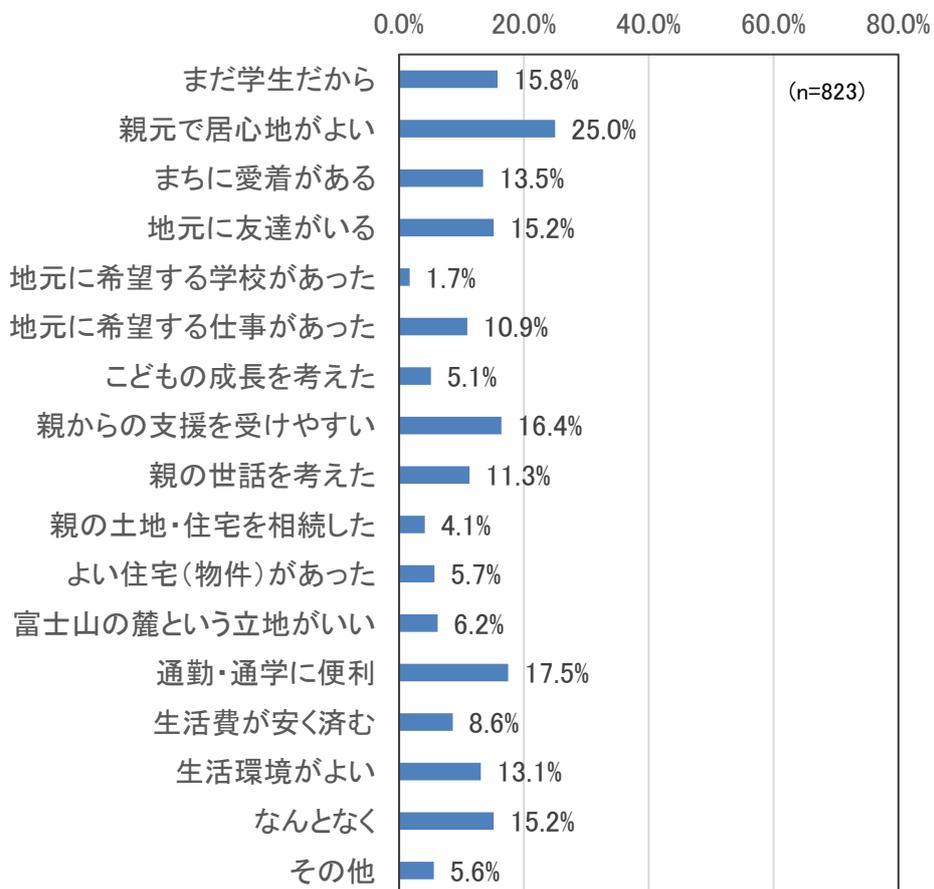
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者あり・配偶者なし(離別・死別)では「結婚・出産」、配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「就職・転勤」の割合が最も高い。配偶者なし(未婚・18歳以上)における「就職・転勤(81.0%)」の割合は、他の年代と比較しても高くなっている。



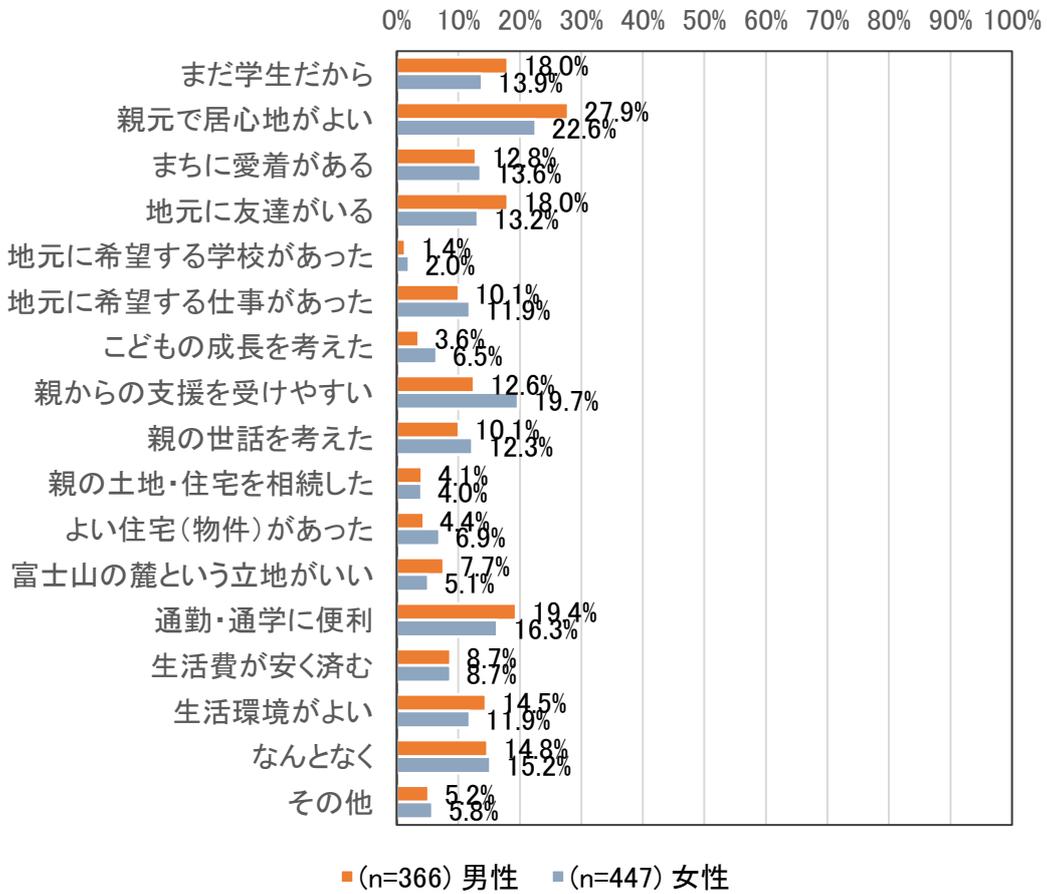
問7. 富士宮市に住んでいる理由（MA※3つ）

「親元で居心地がよい」の割合が最も高く25.0%である。次いで、「通勤・通学に便利(17.5%)」、「親からの支援を受けやすい(16.4%)」である。



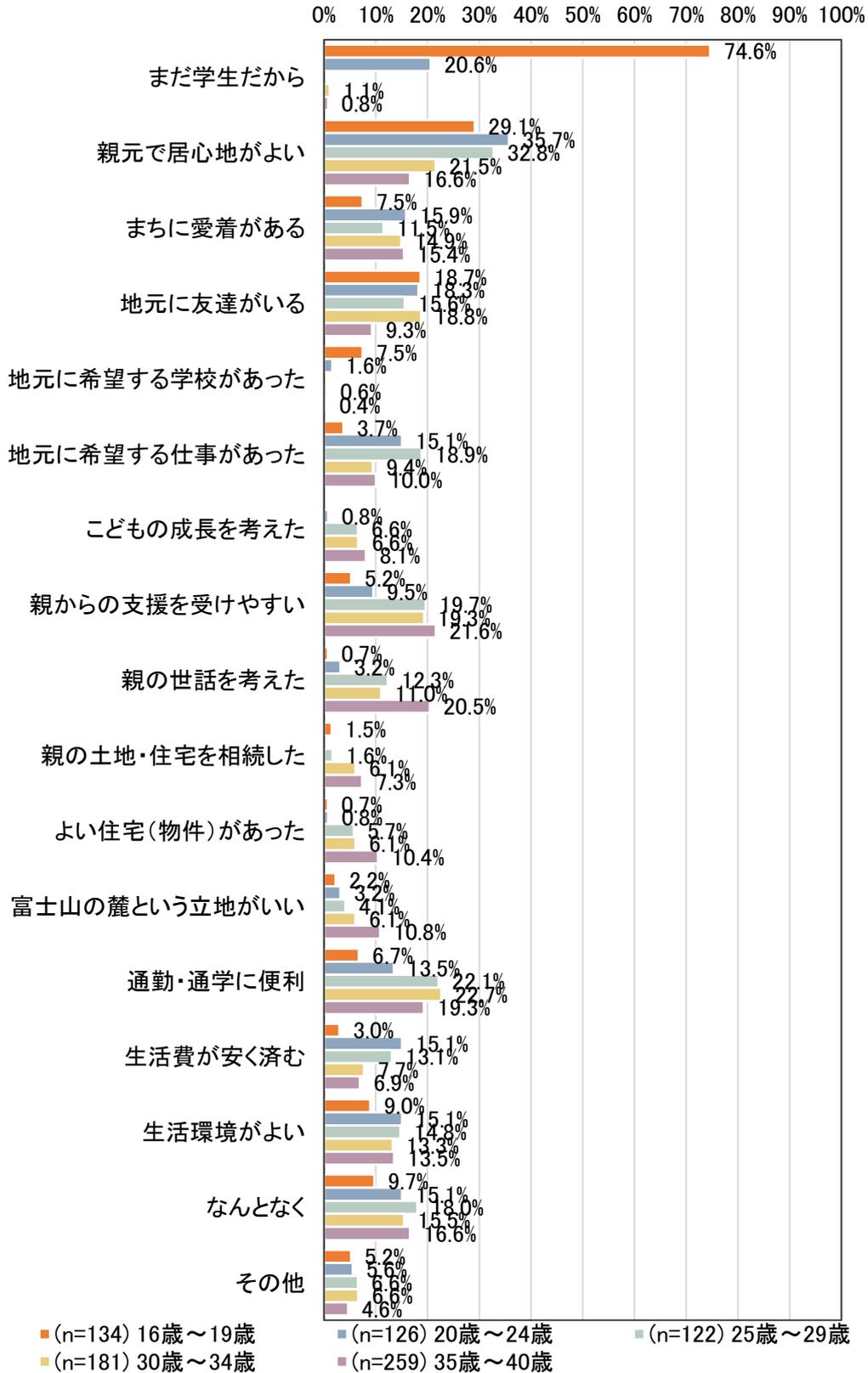
■性別クロス集計結果(問1)

男女で比較すると、「親元で居心地がよい」は男性(27.9%)の方が女性(22.6%)よりも5.3ポイント上回る。「親からの支援を受けやすい」は女性(19.7%)の方が男性(12.6%)よりも6.5ポイント上回る。



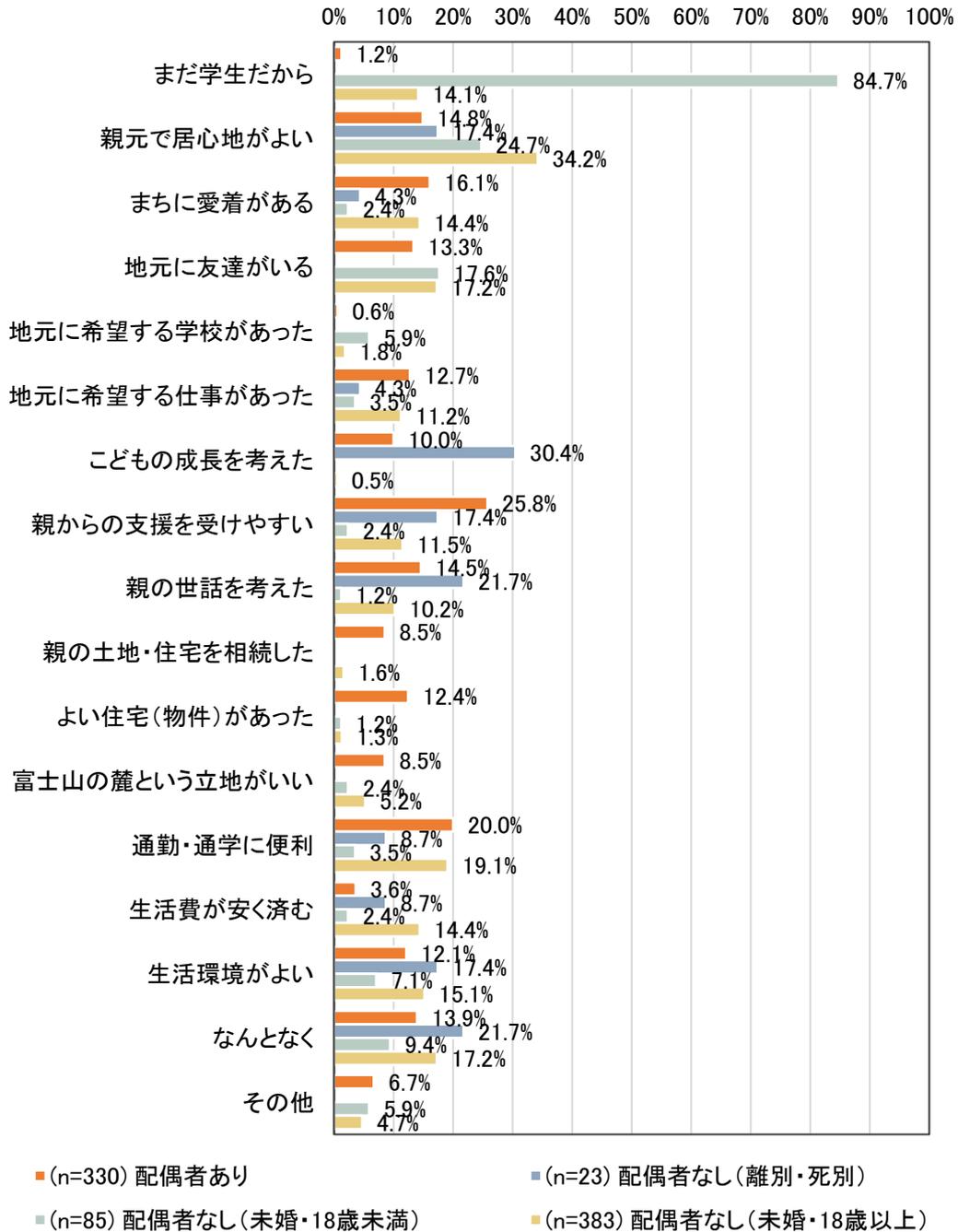
■年齢別クロス集計結果(問2)

10代では「まだ学生だから(74.6%)」、20代、30代後半～40歳では「親元で居心地がよい」、30代前半では「通勤・通学に便利」の割合が最も高い。「親元で居心地がよい」の割合は20代後半以降、年齢が上がるにつれて低くなっている。



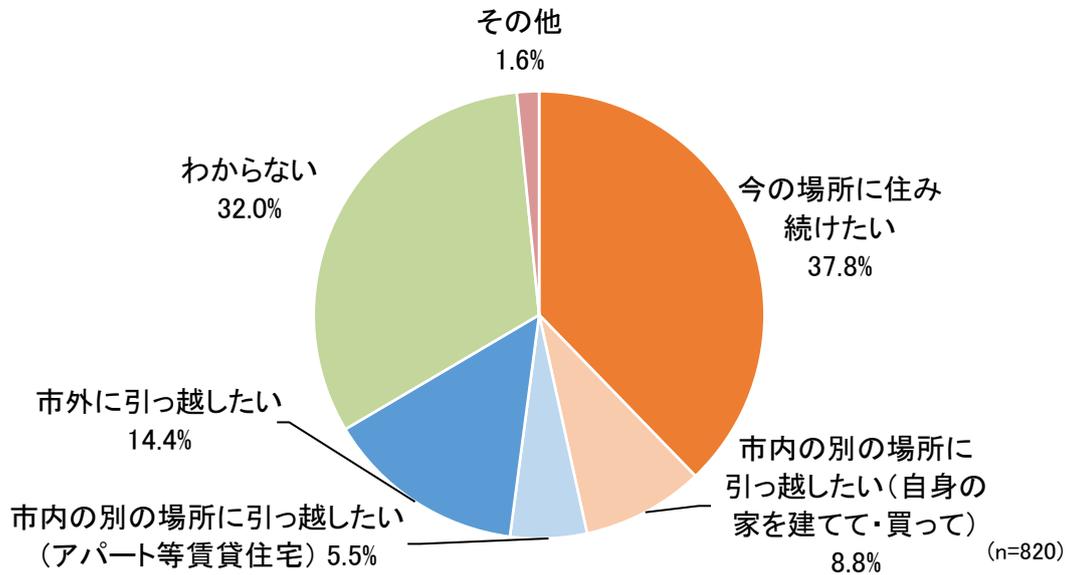
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者ありでは「親からの支援を受けやすい(25.8%)」、配偶者なし(離別・死別)では「こどもの成長を考えた(30.4%)」、配偶者なし(未婚・18歳未満)では「まだ学生だから(84.7%)」、配偶者なし(未婚・18歳以上)では「親元で居心地がよい(34.2%)」の割合が最も高い。



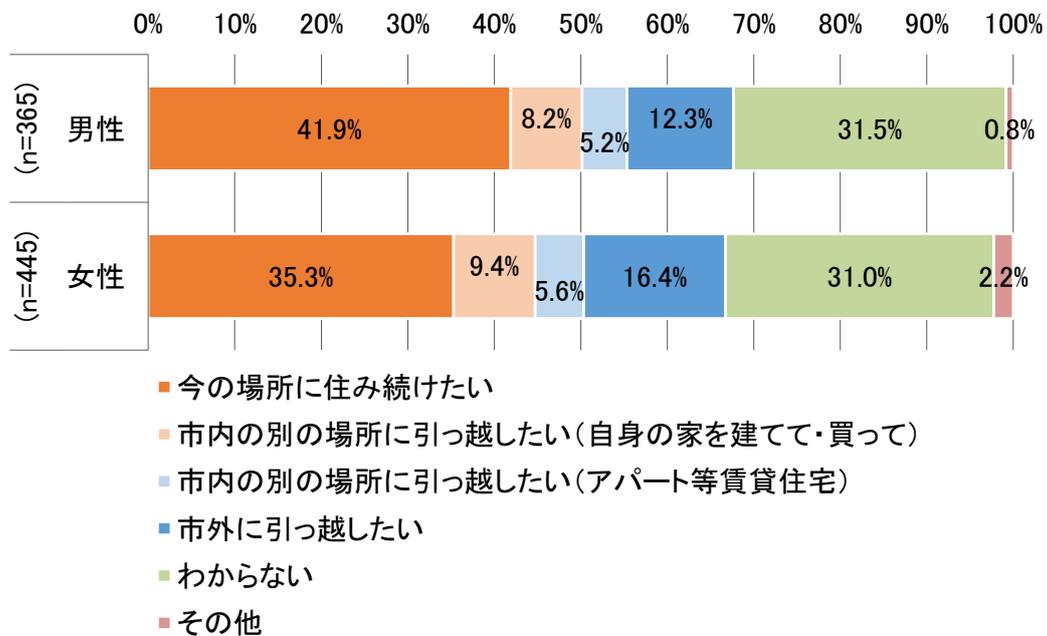
問8. これからも富士宮市に住み続けたいか (SA)

「今の場所に住み続けたい」の割合が最も高く 37.8%である。次いで、「わからない(32.0%)」、「市外に引っ越したい(14.4%)」である。



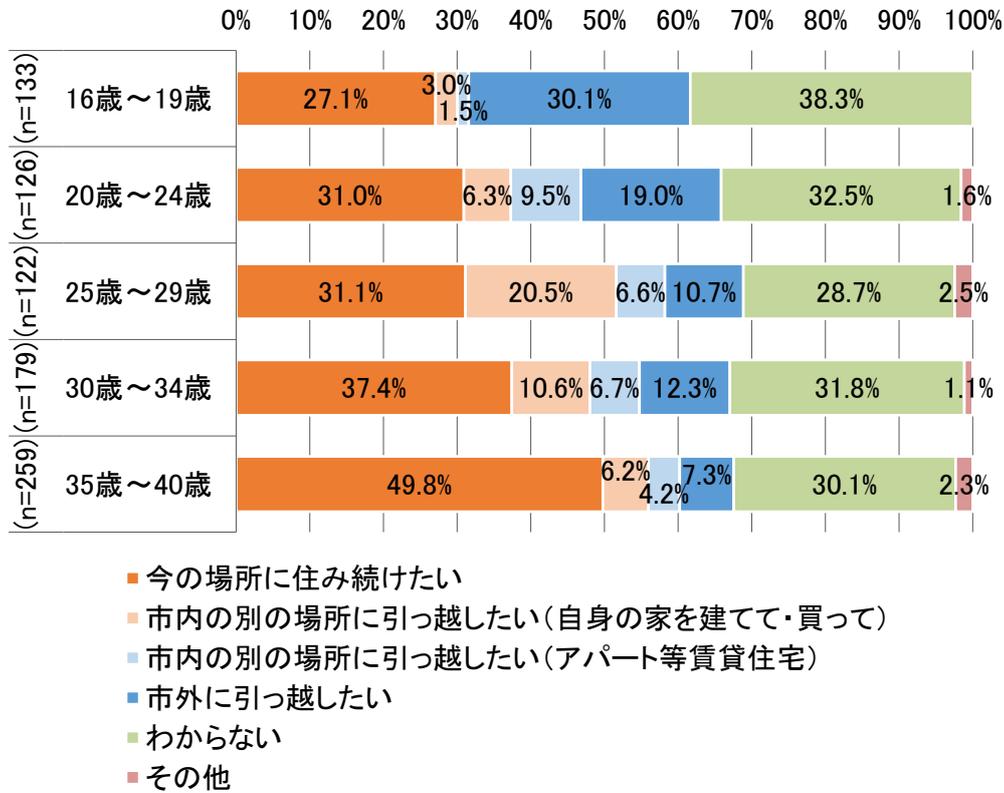
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「今の場所に住み続けたい」の割合が最も高い。男女で比較すると、男性(41.9%)よりも女性(35.3%)の方が6.6ポイント上回り、「今の場所に住み続けたい」以外の選択肢が選ばれている。



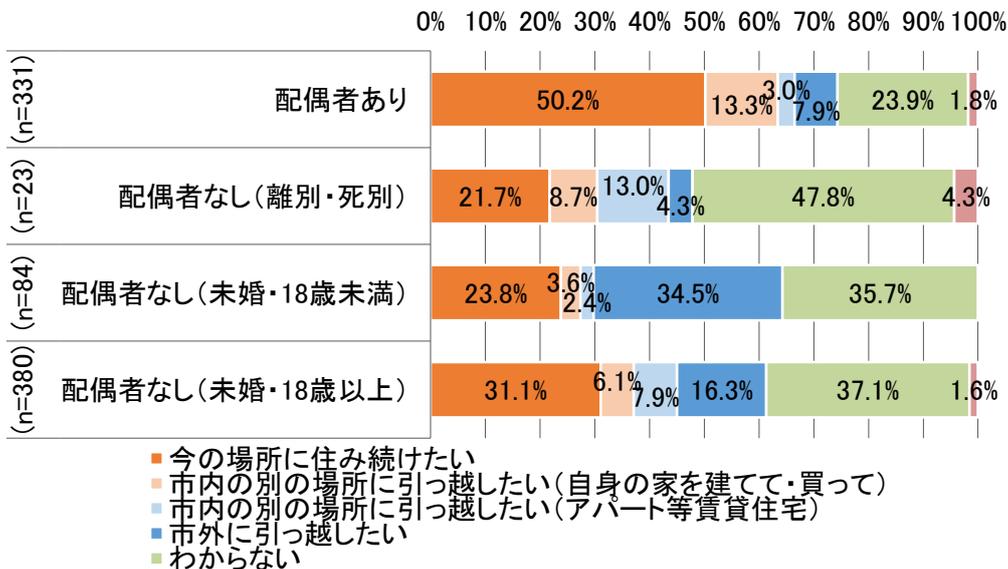
■年齢別クロス集計結果(問 2)

「わからない」を除くと、10代では「市外に引っ越したい(30.1%)」、30代後半～40歳では「今の場所に住み続けたい(49.8%)」の割合が最も高く、それぞれ他の年代と比較して高い傾向にある。



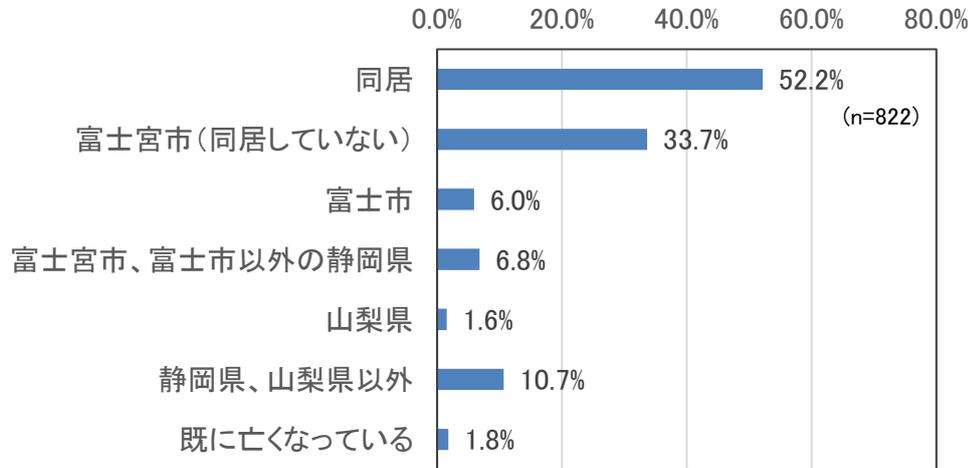
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者ありでは「今の場所に住み続けたい(50.2%)」、配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「わからない」の割合が最も高い。「今の場所に住み続けたい」の割合は、配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)の順に高くなっている。



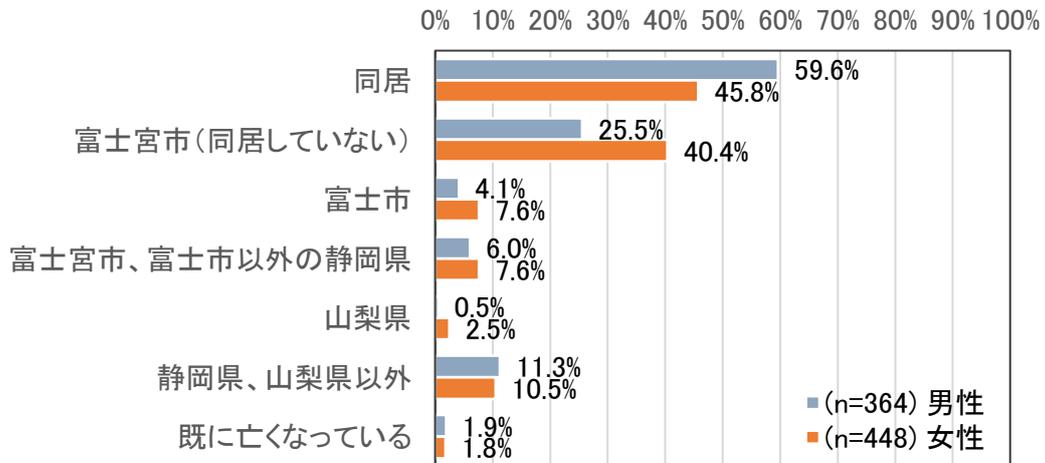
問9. 親の居住地 (MA)

「同居」の割合が最も高く 52.2%である。次いで、「富士宮市(同居していない)(33.7%)」、「静岡県、山梨県以外(10.7%)」である。



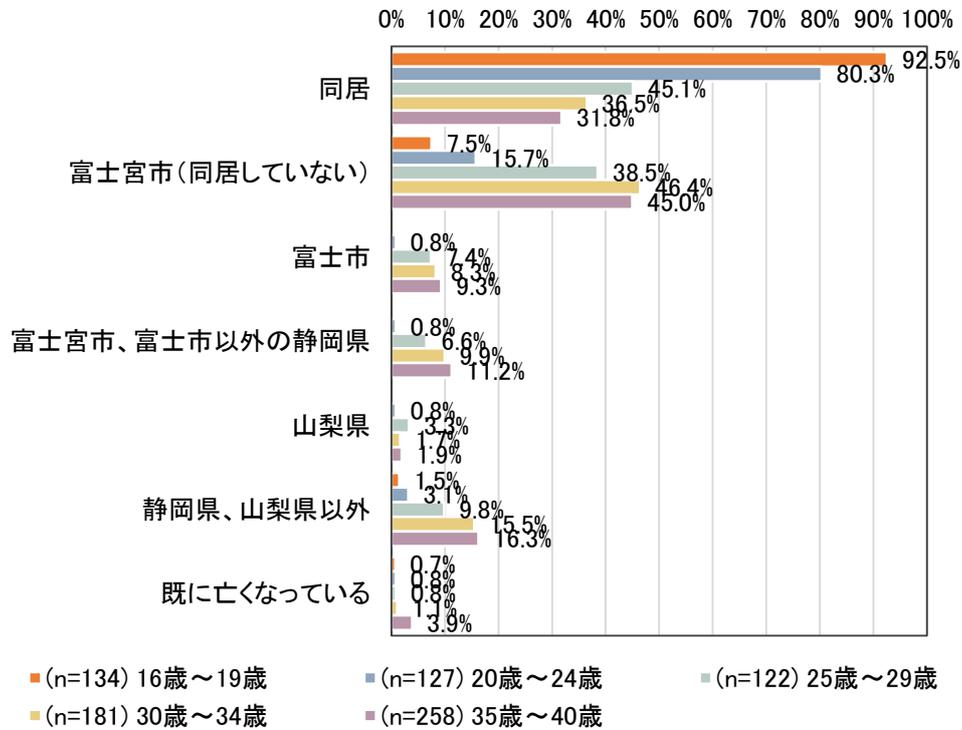
■性別クロス集計結果(問 1)

男女ともに「同居」の割合が最も多い。「富士宮市(同居していない)」の割合で男性(25.5%)よりも女性(40.4%)の方が 18.9 ポイント上回る。



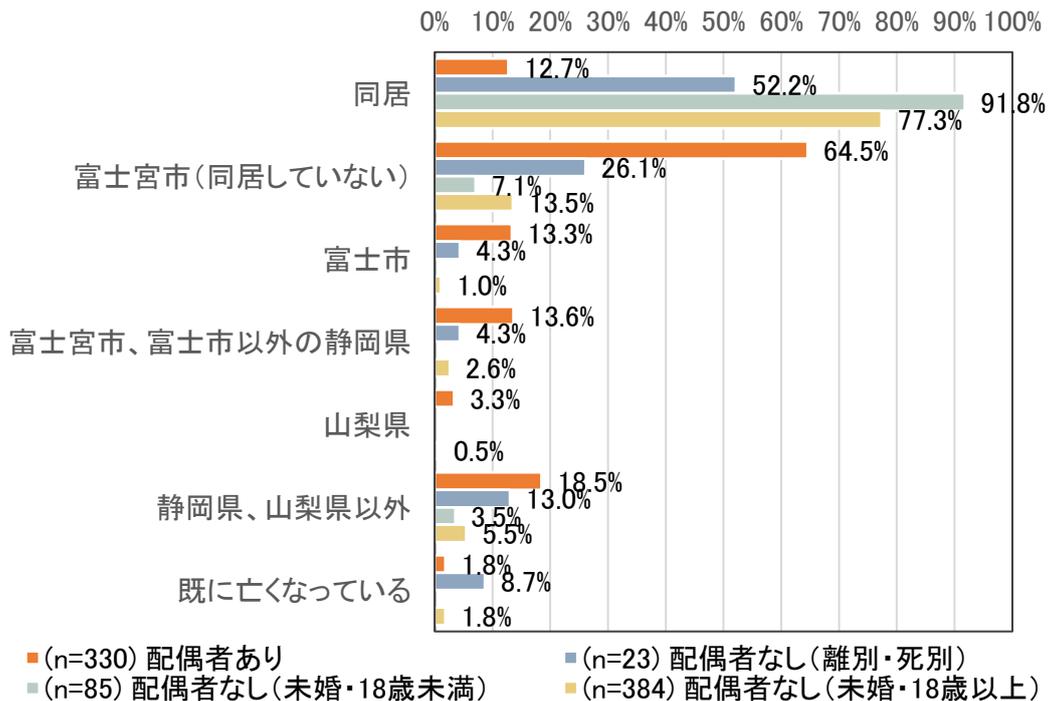
■年齢別クロス集計結果(問 2)

10代～20代では「同居」、30代以降では「富士宮市(同居していない)」の割合が最も高い。「同居」の割合は、年代が上がるにつれて低くなっている。



■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

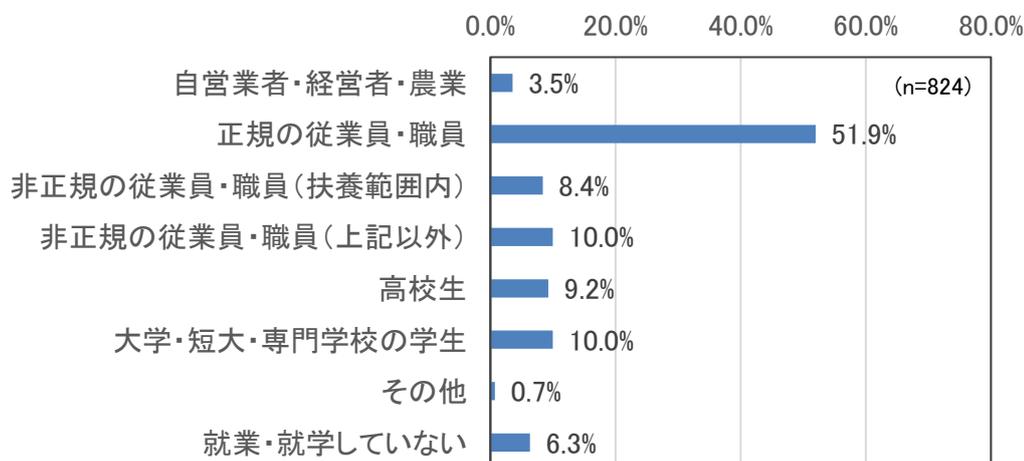
配偶者ありでは「富士宮市(同居していない)(64.5%)」、配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「同居」の割合が最も高い。



3 仕事について

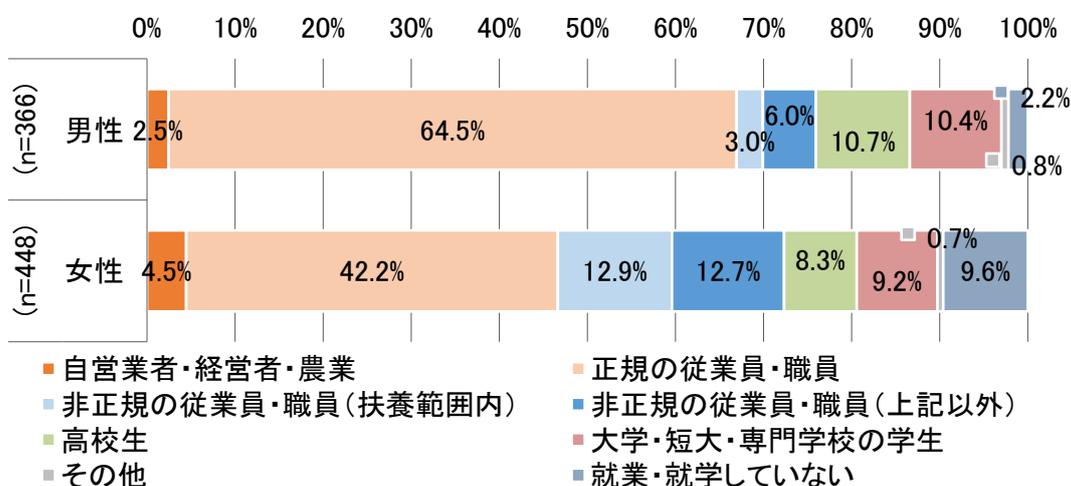
問10. 現在の職業 (SA※主なものを1つ選択)

「正規の従業員・職員」の割合が最も高く51.9%である。次いで、「非正規の従業員・職員(上記以外)(10.0%)」、「大学・短大・専門学校の学生(10.0%)」、「高校生(9.2%)」である。



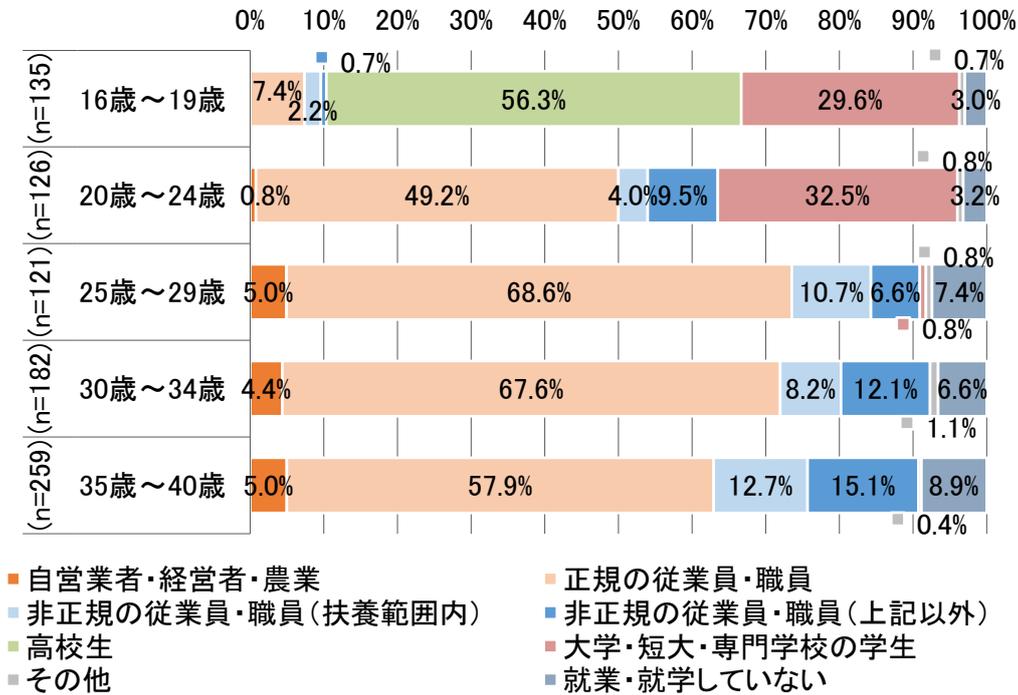
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「正規の従業員・職員」が最も割合が高い。男女で比較すると、女性(42.2%)よりも男性(64.5%)の方が22.3ポイント上回り、「正規の従業員・職員」以外の選択肢が選ばれている。



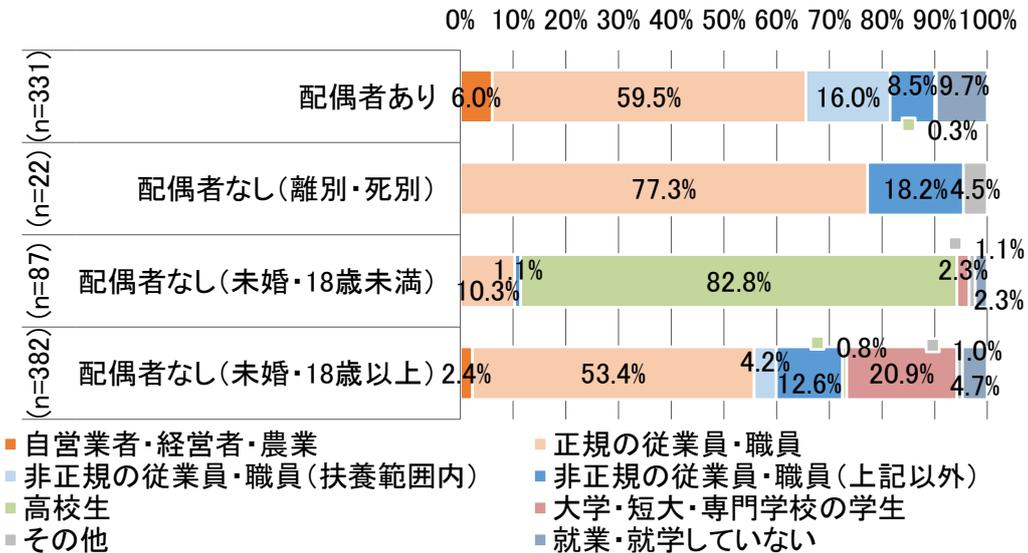
■年齢別クロス集計結果(問 2)

10代では「高校生(56.3%)」、20代以降では「正規の従業員・職員」の割合が最も高い。「正規の従業員・職員」の割合は20代後半以降、年代が上がるにつれて低くなっている。



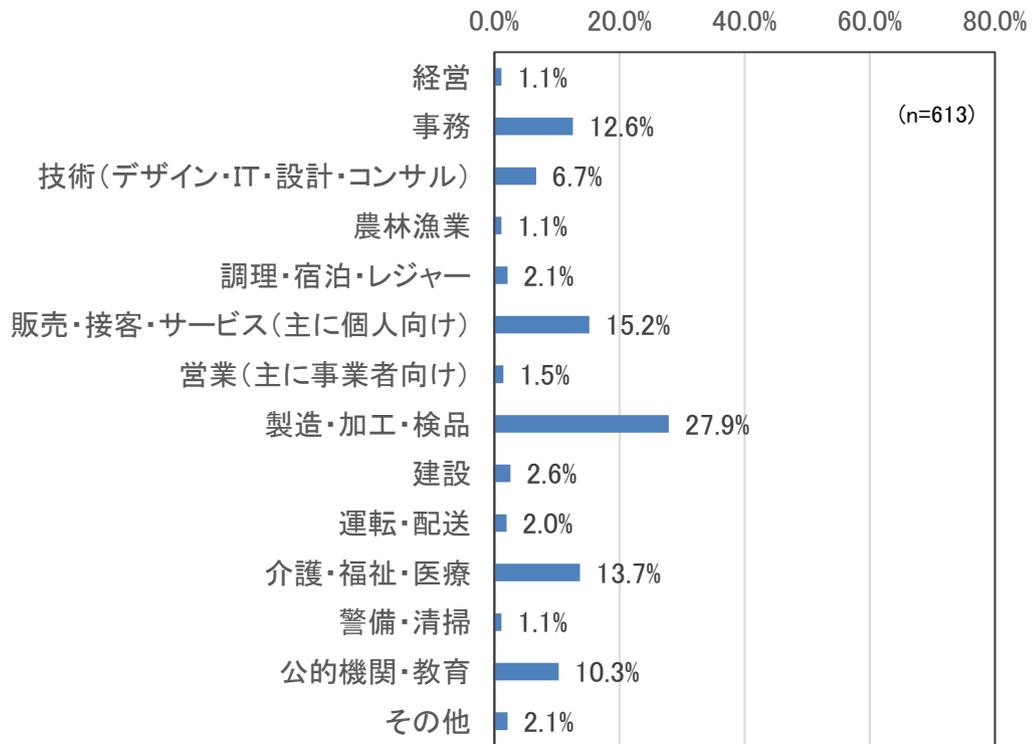
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者あり・配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「正規の従業員・職員」が、配偶者なし(未婚・18歳未満)では「高校生(82.8%)」の割合が最も高い。



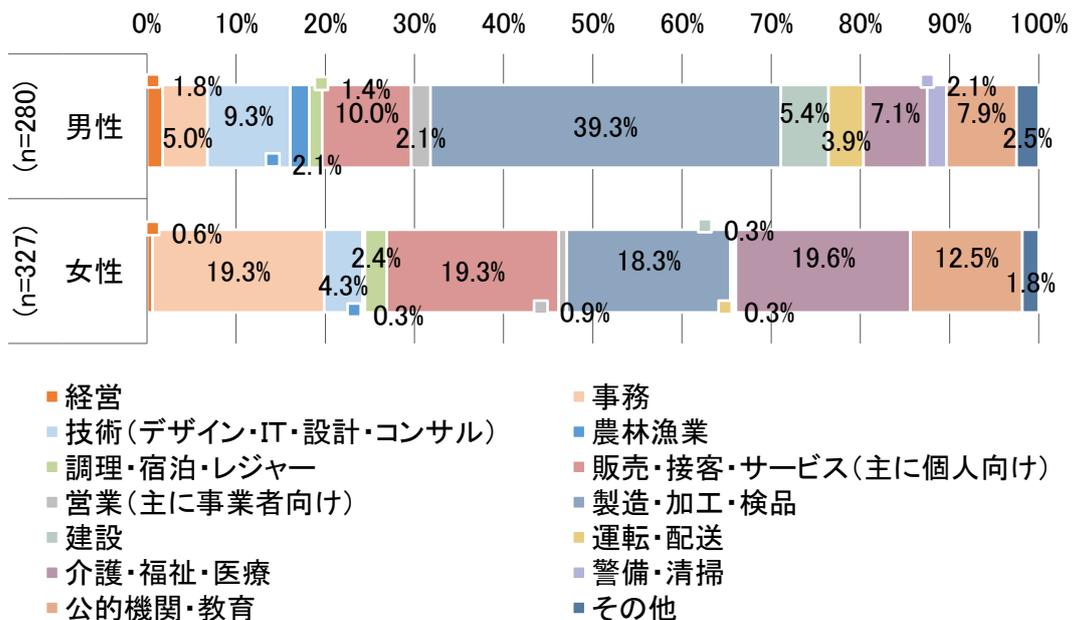
問11. 職業の業種 (SA※主なものを1つ選択)

「製造・加工・検品」の割合が最も高く 27.9%である。次いで、「販売・接客・サービス(主に個人向け)(15.2%)」、「介護・福祉・医療(13.7%)」である。



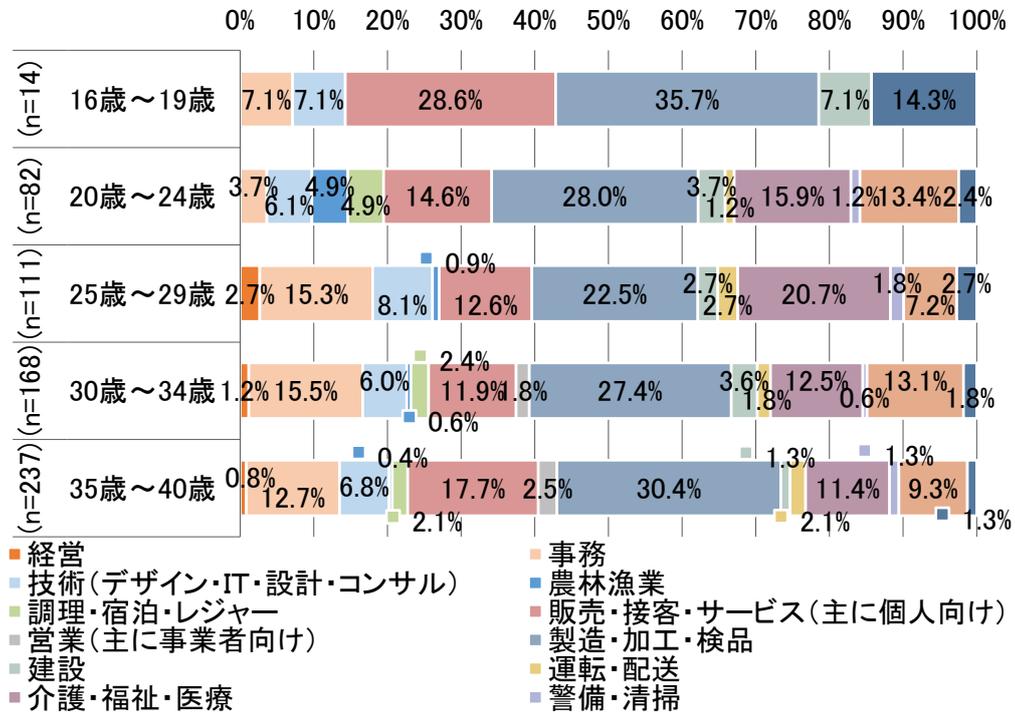
■性別クロス集計結果(問1)

男性では「製造・加工・検品(39.3%)」の割合が最も高く、女性(18.3%)よりも 20.9 ポイント上回る。女性では「介護・福祉・医療(19.6%)」の割合が最も高く、男性(7.1%)よりも 12.4 ポイント上回る。



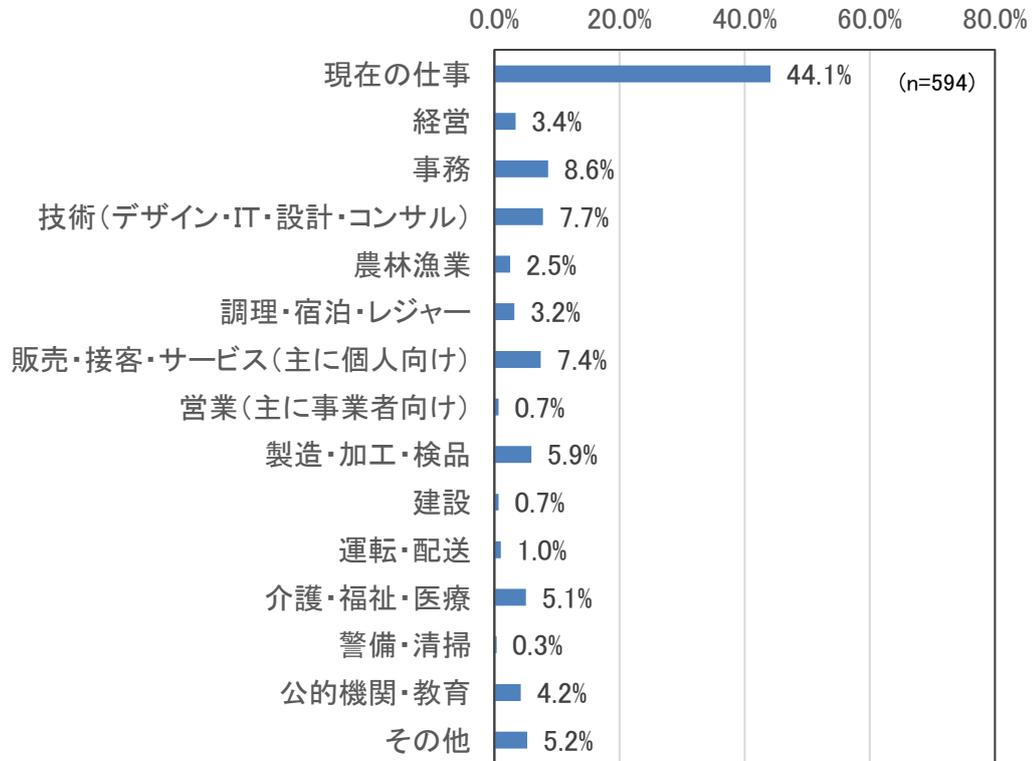
■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代においても「製造・加工・検品」の割合が最も高い。「介護・福祉・医療」の割合は、他の年代と比較すると20代後半で高い傾向にある。



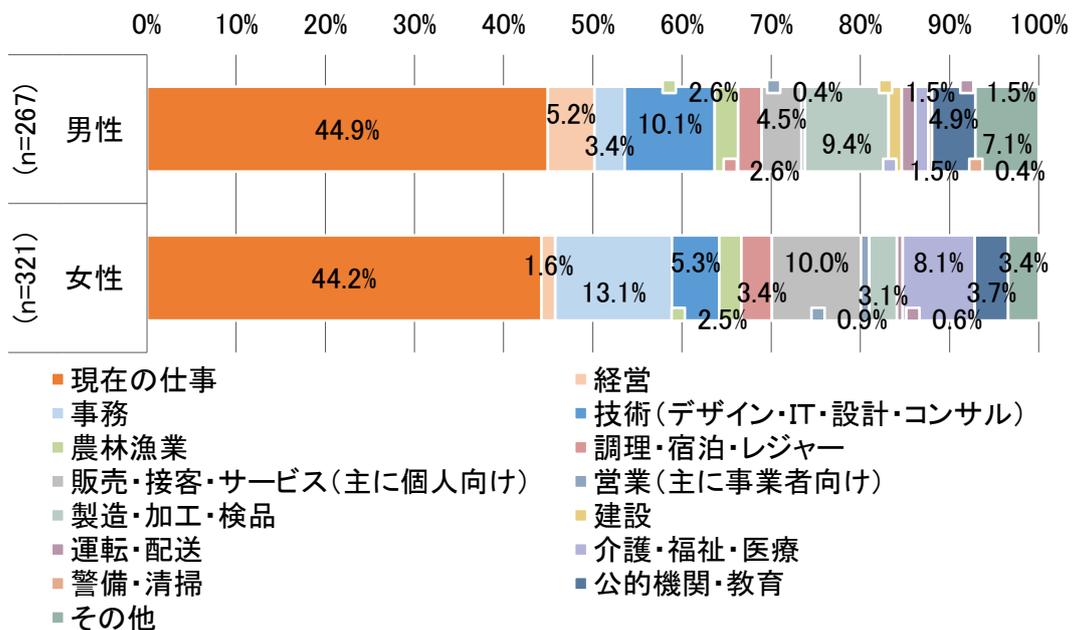
問12. 実際に働きたいと思う仕事内容 (SA※主なものを1つ選択)

「現在の仕事」の割合が最も高く 44.1%である。次いで、「事務(8.6%)」、「技術(デザイン・IT・設計・コンサル)(7.7%)」である。



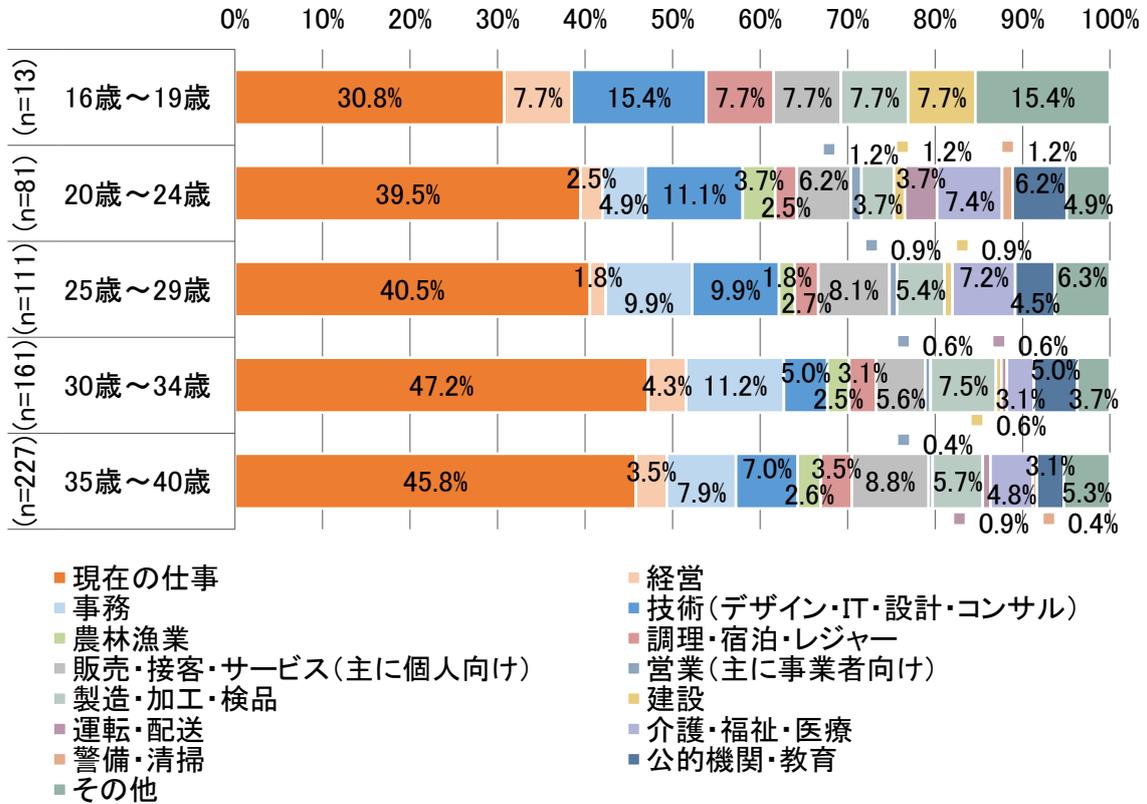
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「現在の仕事」の割合が最も高い。男女で比較すると、「事務」で男性(3.4%)よりも女性(13.1%)の方が 9.7 ポイント上回る。



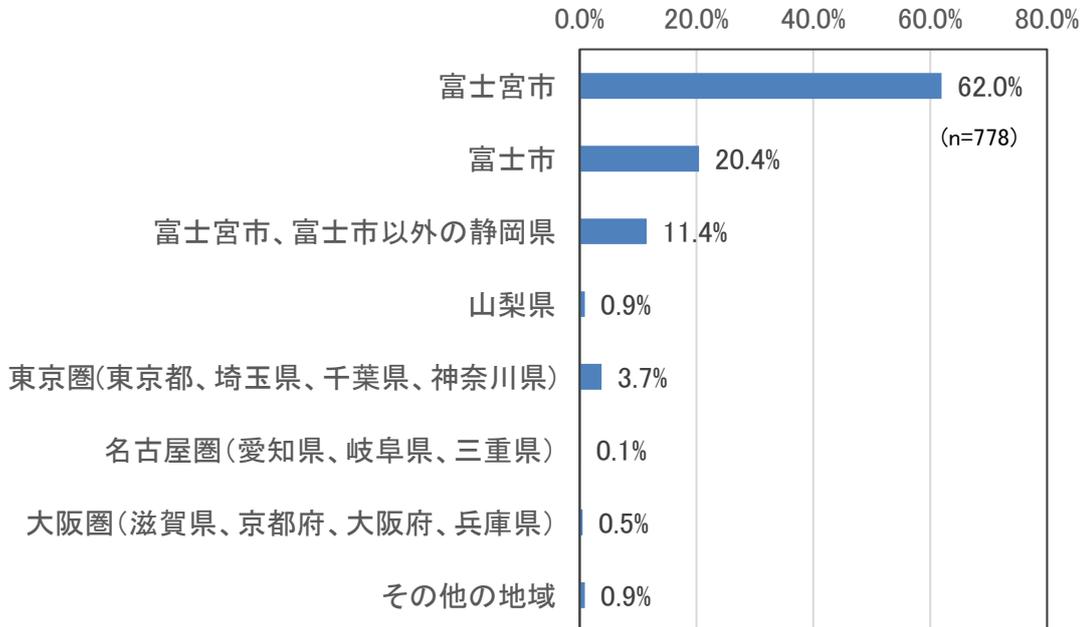
■年齢別クロス集計結果(問 2)

いずれの年代においても「現在の仕事」の割合が最も高く、10代～30代前半にかけて年代が上がるにつれて高くなっている。



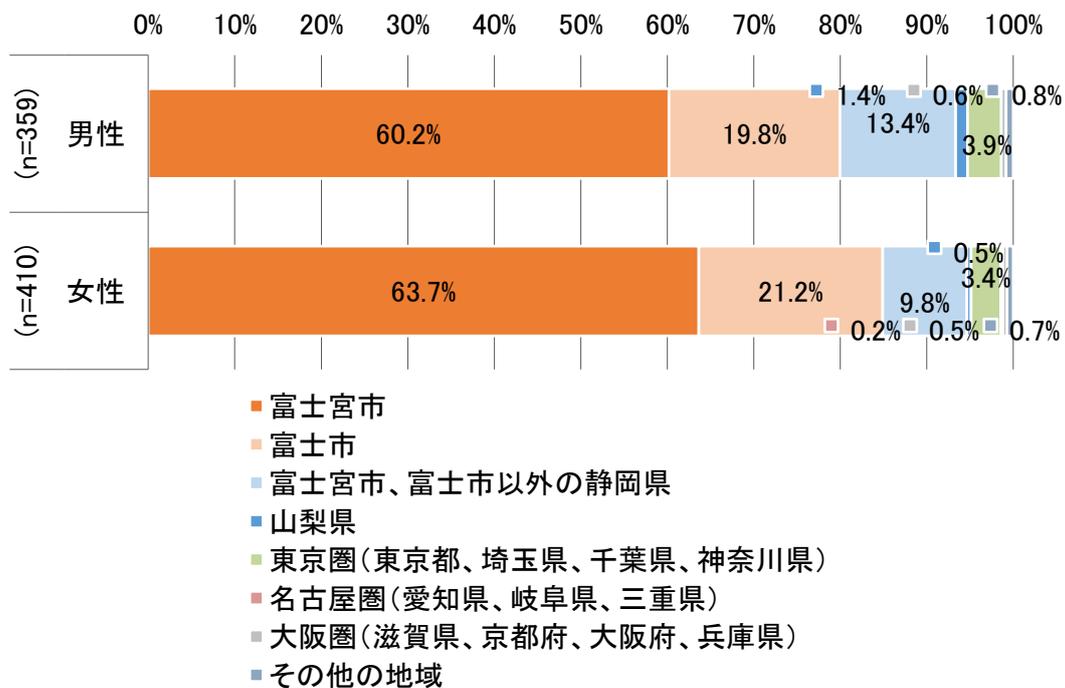
問13. 現在の勤務地・通学地 (SA)

「富士宮市」の割合が最も高く 62.0%である。次いで、「富士市(20.4%)」、「富士宮市、富士市以外の静岡県(11.4%)」である。



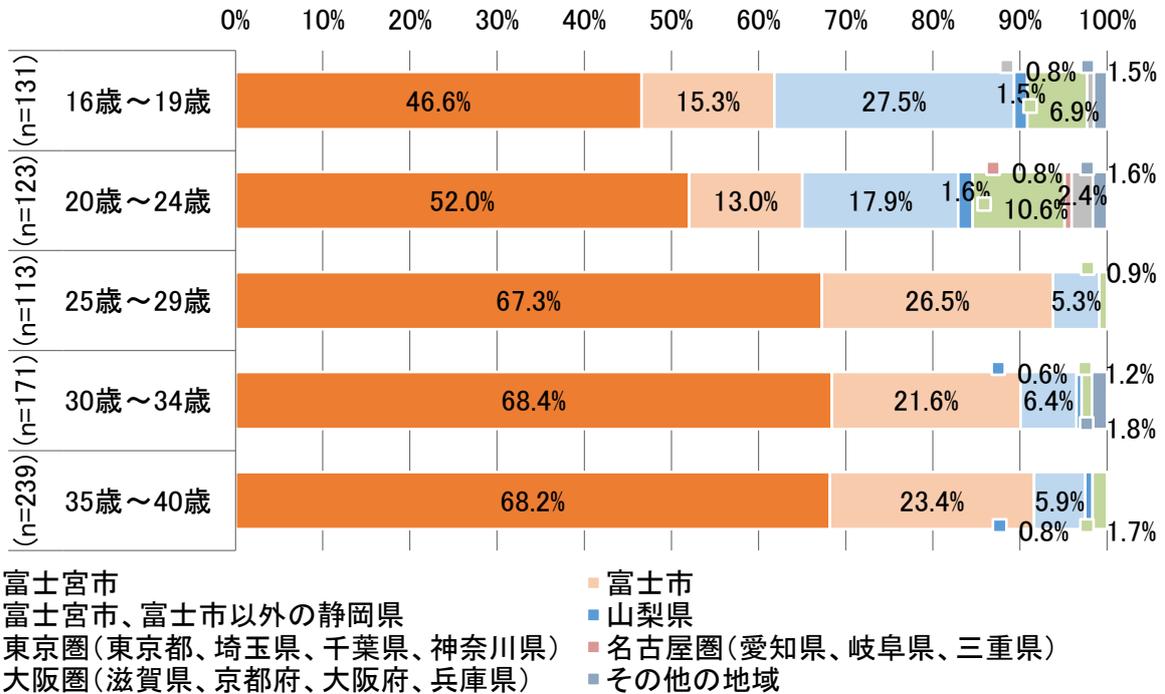
■性別クロス集計結果(問1)

男女の違いによる大きな差は見られない。



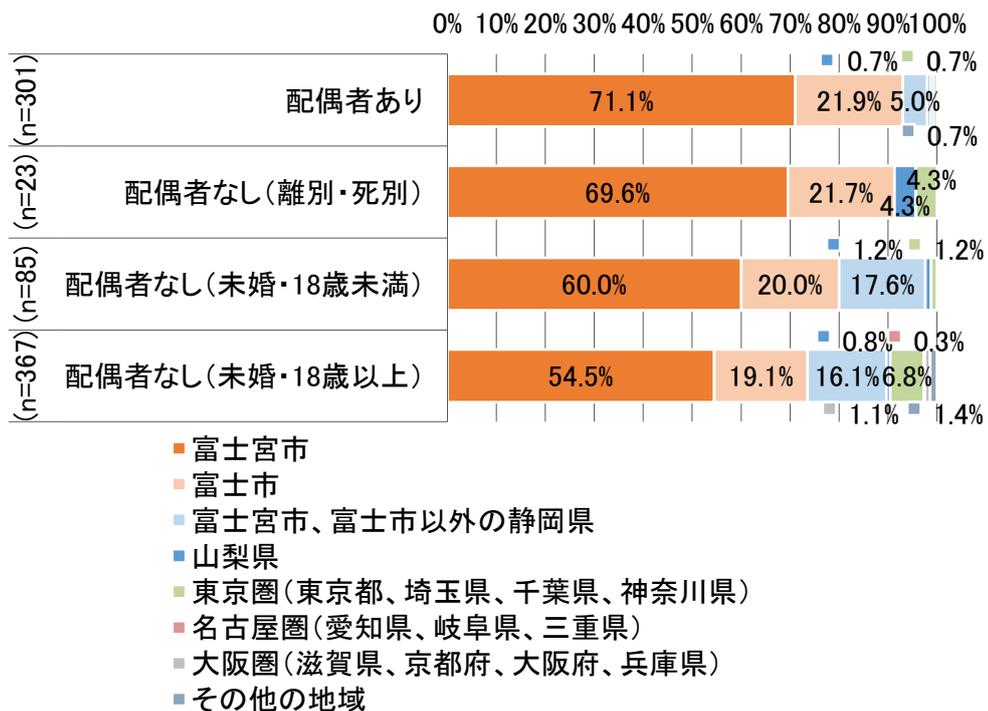
■年齢別クロス集計結果(問 2)

いずれの年代においても「富士宮市」の割合が最も高く、10代～30代前半にかけて年代が上がるにつれて高くなっている。10代～20代前半では、「富士宮市、富士宮市以外の静岡県」の割合が、他の年代と比較すると高くなっている。



■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

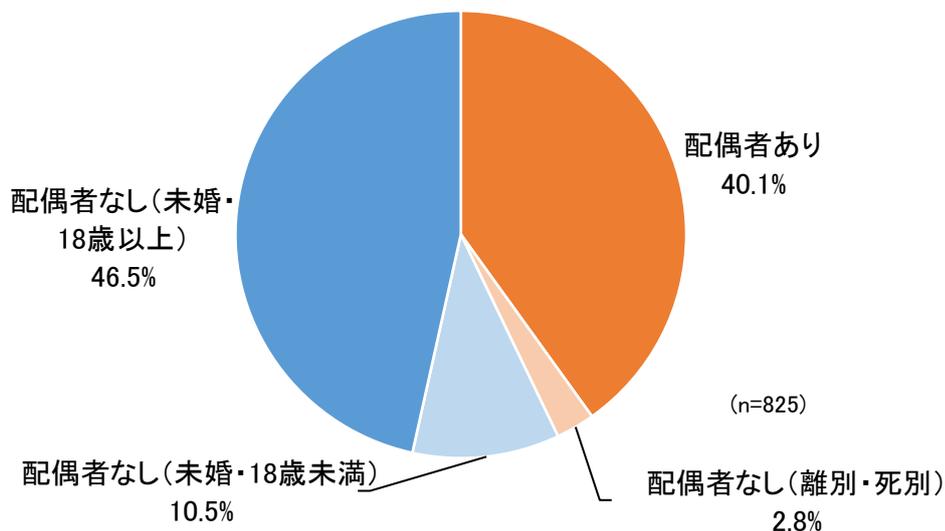
結婚の有無にかかわらず「富士宮市」の割合が最も高いが、年代が上がるにつれて低くなっている。



4 出会いや結婚に対する考えについて

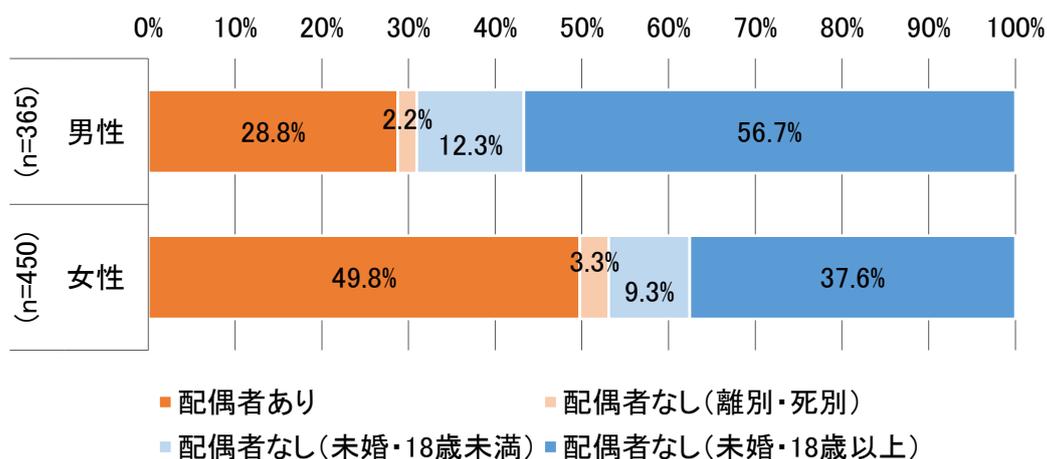
問14. 配偶者の有無（婚姻関係のある相手、事実婚を含む）（SA）

「配偶者なし(未婚・18歳以上)」の割合が最も高く 46.5%である。次いで、「配偶者あり(40.1%)」、「配偶者なし(未婚・18歳未満)(10.5%)」である。



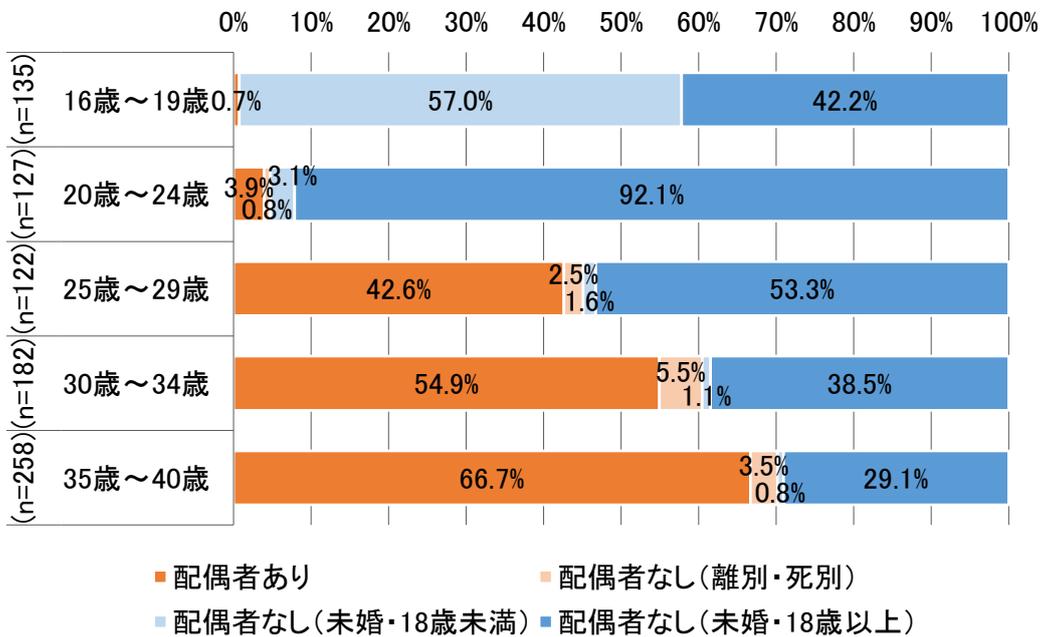
■性別クロス集計結果(問1)

男性では「配偶者なし(未婚・18歳以上)(56.7%)」の割合が最も高く、女性(37.6%)よりも 19.2 ポイント上回る。女性では「配偶者あり(49.8%)」の割合が最も高く、男性(28.8%)よりも 21.0 ポイント上回る。



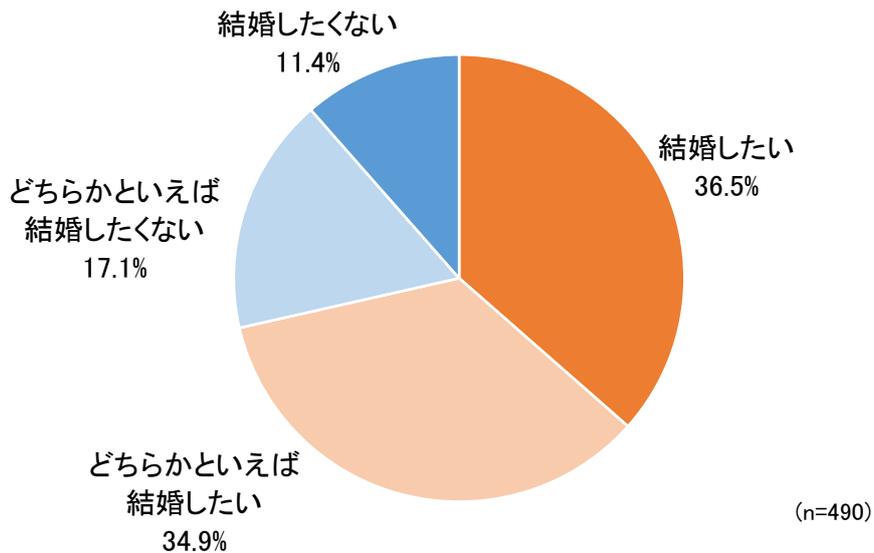
■年齢別クロス集計結果(問 2)

20代前半では「配偶者なし(未婚・18歳未満)」「配偶者なし(未婚・18歳以上)」が最も高い。「配偶者あり」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。



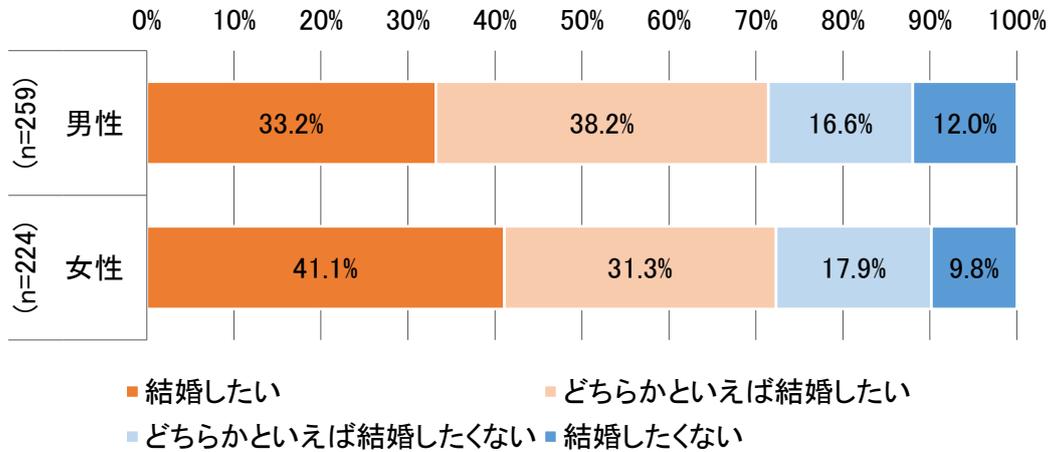
問15. 結婚したいと思うか (SA)

「結婚したい」の割合が最も高く 36.5%である。次いで、「どちらかといえば結婚したい(34.9%)」、「どちらかといえば結婚したくない(17.1%)」である。



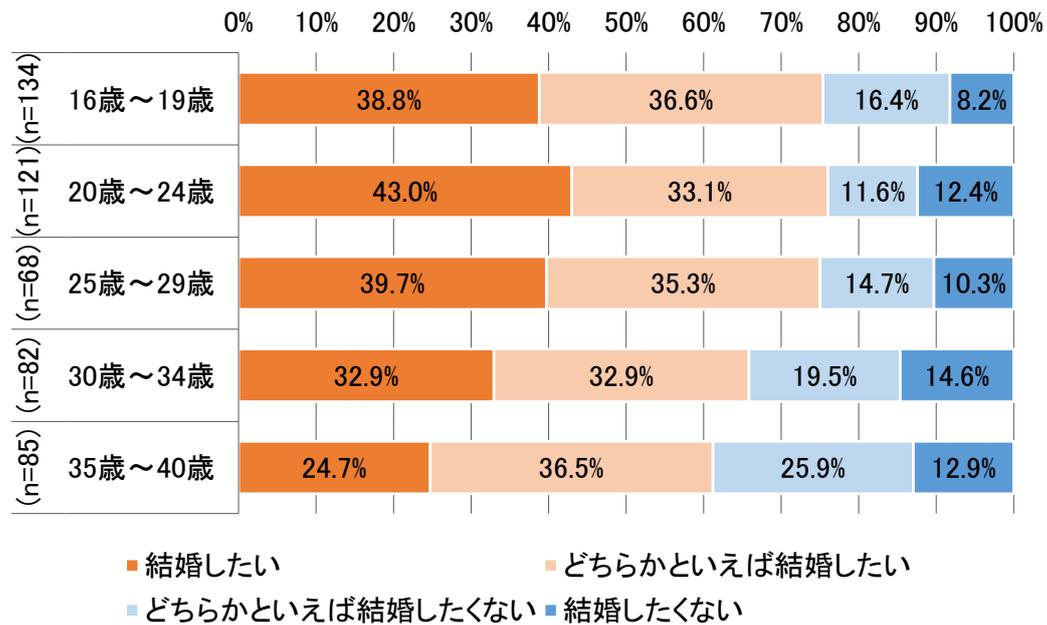
■性別クロス集計結果(問1)

男性では「どちらかといえば結婚したい(38.2%)」の割合が最も高く、女性(31.3%)よりも7.0ポイント上回る。女性では「結婚したい(41.1%)」の割合が最も高く、男性(33.2%)よりも7.9ポイント上回る。



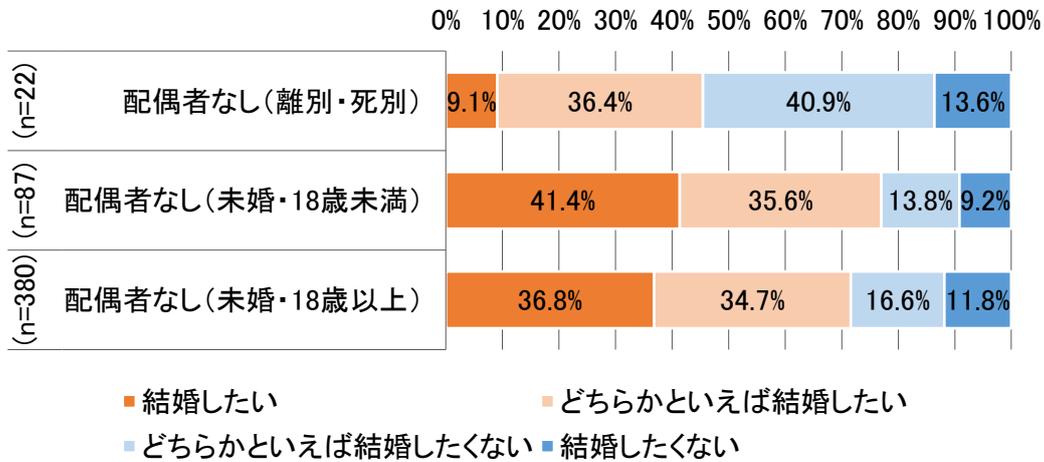
■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代においても「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」の割合が最も高いが、20代以降は年代が上がるにつれて低くなっている。



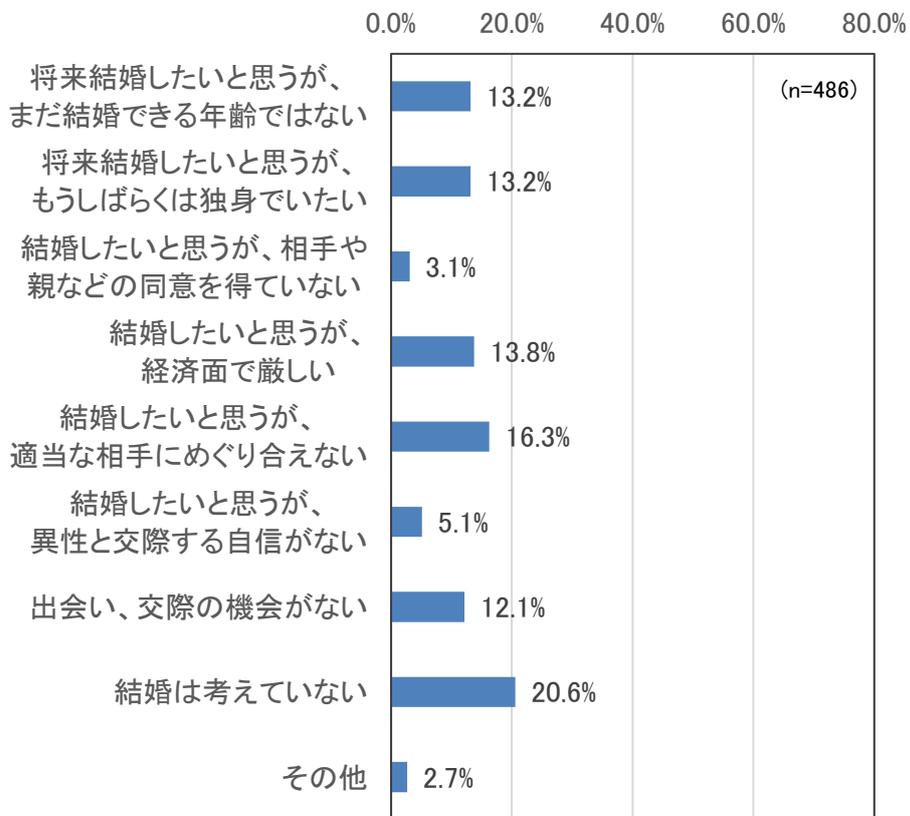
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者なし(離別・死別)では「どちらかといえば結婚したくない(40.9%)」、配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「結婚したい」の割合が最も高い。



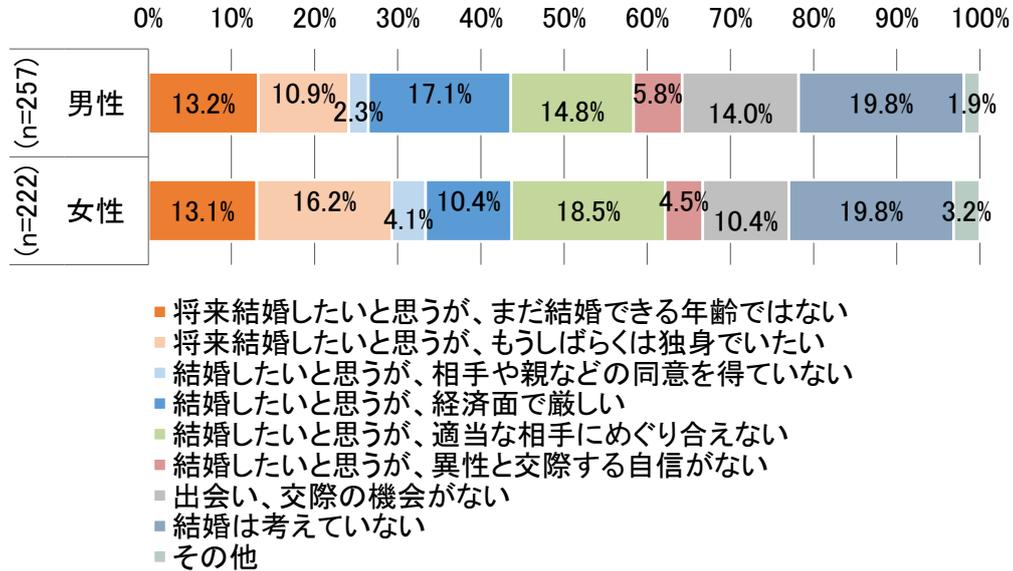
問16. 結婚していない理由や考え方に最も近いもの (SA)

「結婚は考えていない」の割合が最も高く 20.6%である。次いで、「結婚したいと思うが、適当な相手にめぐり合えない(16.3%)」、「結婚したいと思うが、経済面で厳しい(13.8%)」である。



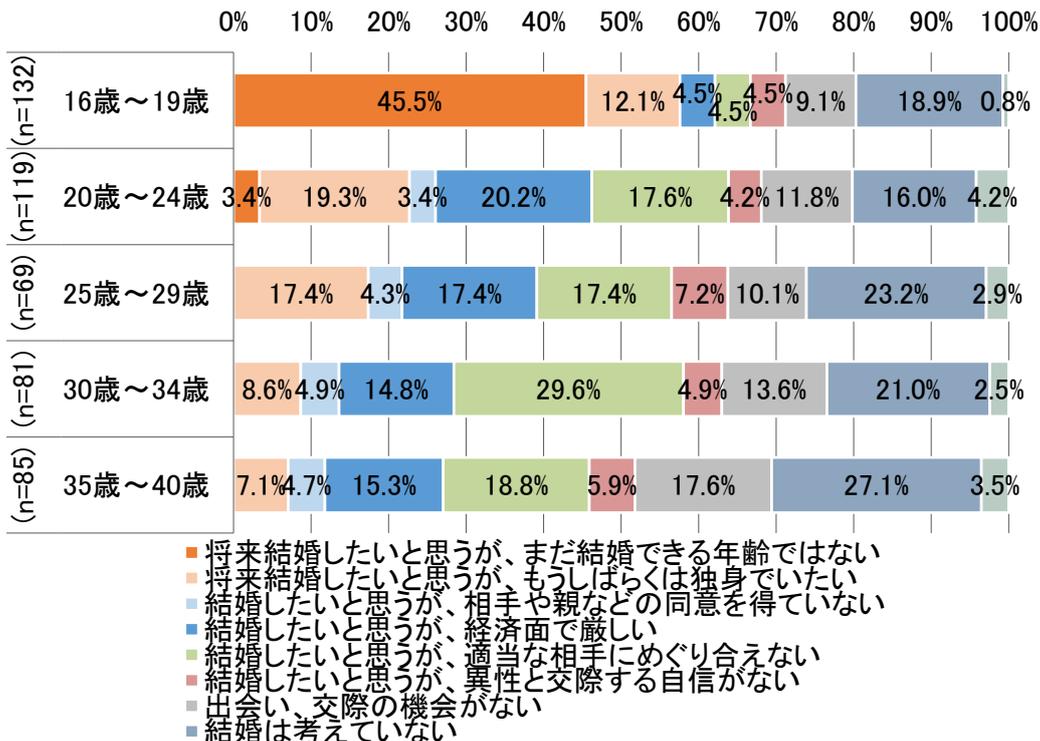
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「結婚は考えていない(19.8%)」の割合が最も割合が高い。男女で比較すると、「将来結婚したいと思うが、もうしばらくは独身でいたい」では男性(10.9%)よりも女性(16.2%)の方が5.3ポイント上回り、「結婚したいと思うが、経済面で厳しい」では女性(10.4%)よりも男性(17.1%)の方が6.8ポイント上回る。



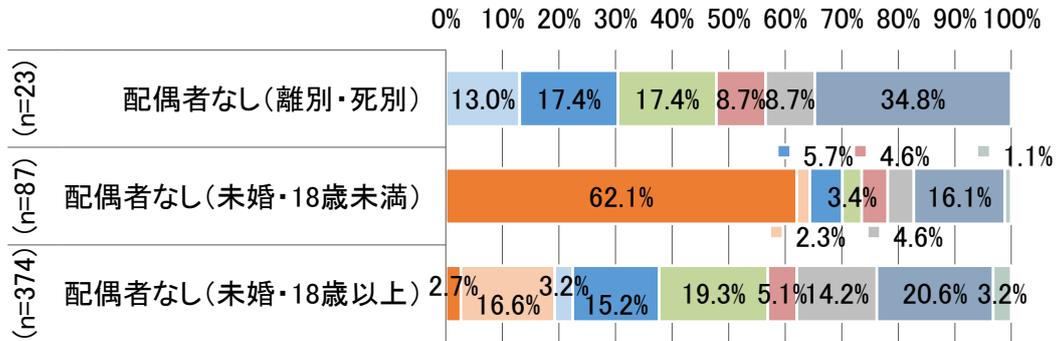
■年齢別クロス集計結果(問2)

10代では「将来結婚したいと思うが、まだ結婚できる年齢ではない(45.5%)」、20代前半では「結婚したいと思うが、経済面で厳しい(20.2%)」、20代後半・30代後半～40歳では「結婚は考えていない」、30代前半では「結婚したいと思うが、適当な相手にめぐり合えない(29.6%)」が最も高い。「結婚したいと思うが、経済面で厳しい」の割合は20代以降、年代が上がるにつれて低くなっている。



■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

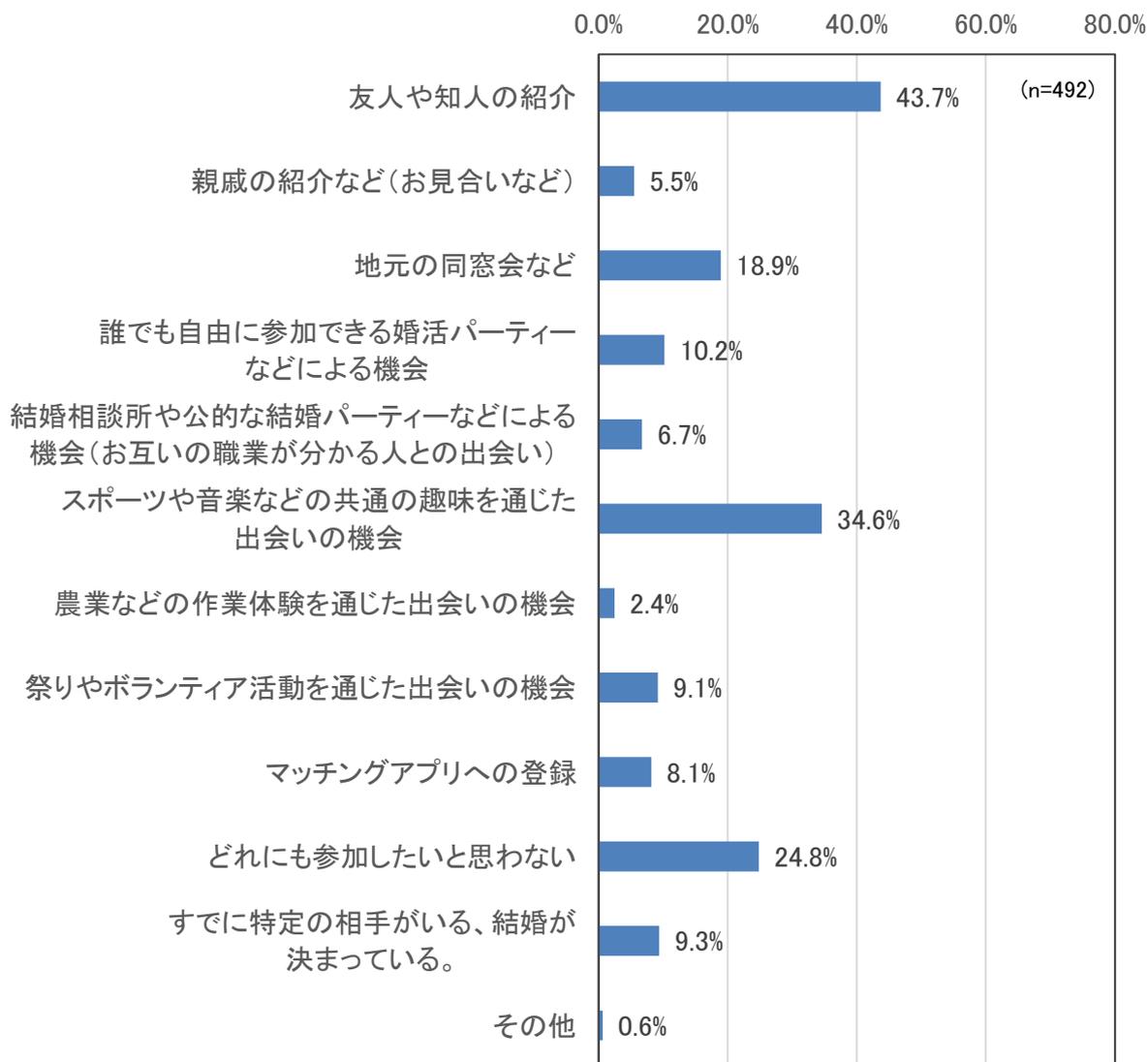
配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「結婚は考えていない」、配偶者なし(未婚・18歳未満)では「将来結婚したいと思うが、まだ結婚できる年齢ではない(62.1%)」の割合が最も高い。配偶者なし(離別・死別)では次いで「結婚したいと思うが、適当な相手にめぐり合えない(17.4%)」「結婚したいと思うが、経済面で厳しい(17.4%)」、配偶者なし(未婚・18歳以上)では次いで「結婚したいと思うが、適当な相手にめぐり合えない(19.3%)」の割合が高い。



- 将来結婚したいと思うが、まだ結婚できる年齢ではない
- 将来結婚したいと思うが、もしばらくは独身でいたい
- 結婚したいと思うが、相手や親などの同意を得ていない
- 結婚したいと思うが、経済面で厳しい
- 結婚したいと思うが、適当な相手にめぐり合えない
- 結婚したいと思うが、異性と交際する自信がない
- 出会い、交際の機会がない
- 結婚は考えていない
- その他

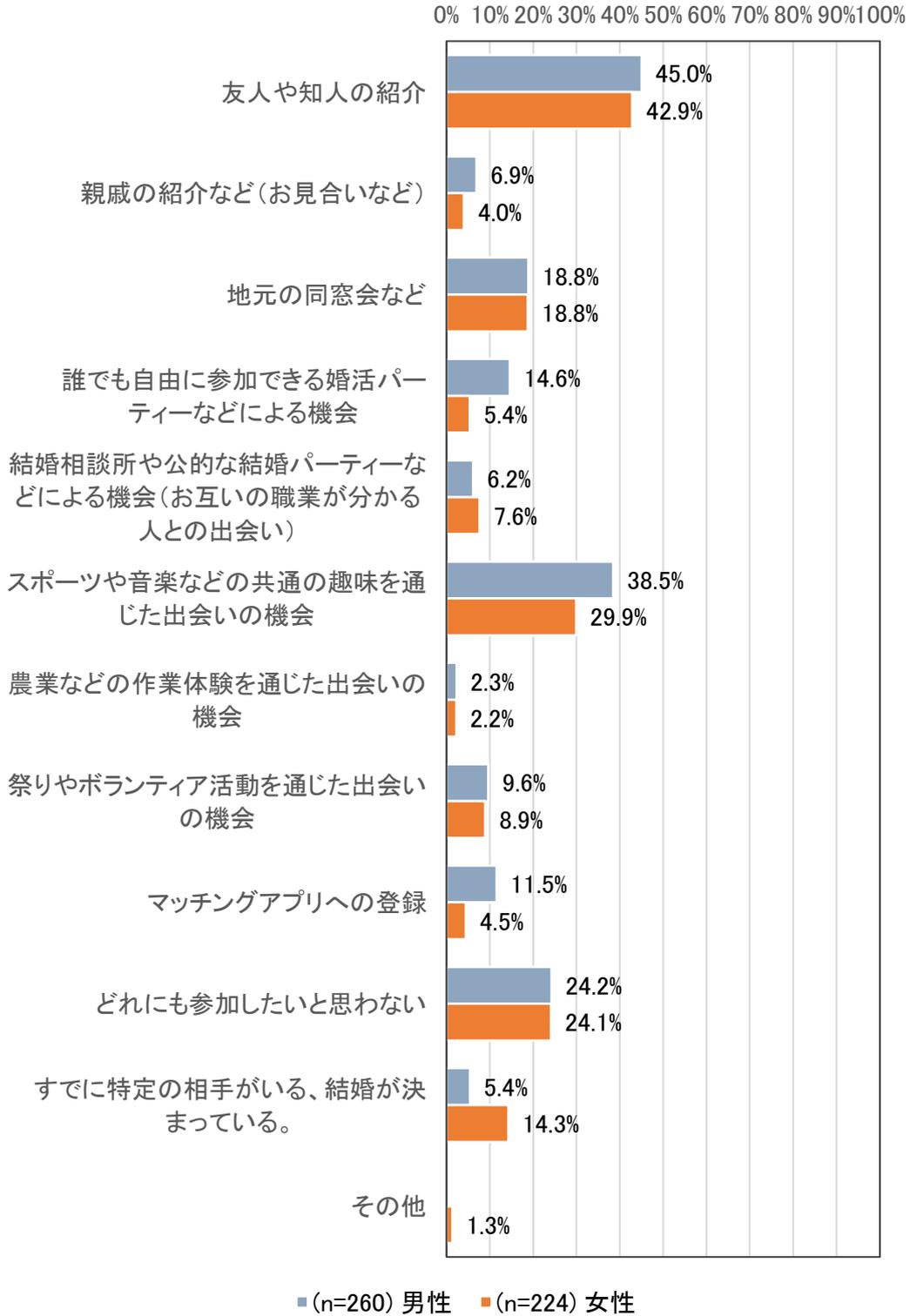
問17. どのような出会いの機会があれば参加したいと思うか (MA※3つ)

「友人や知人の紹介」の割合が最も高く 43.7%である。次いで、「スポーツや音楽などの共通の趣味を通じた出会いの機会(34.6%)」、「どれにも参加したいと思わない(24.8%)」である。



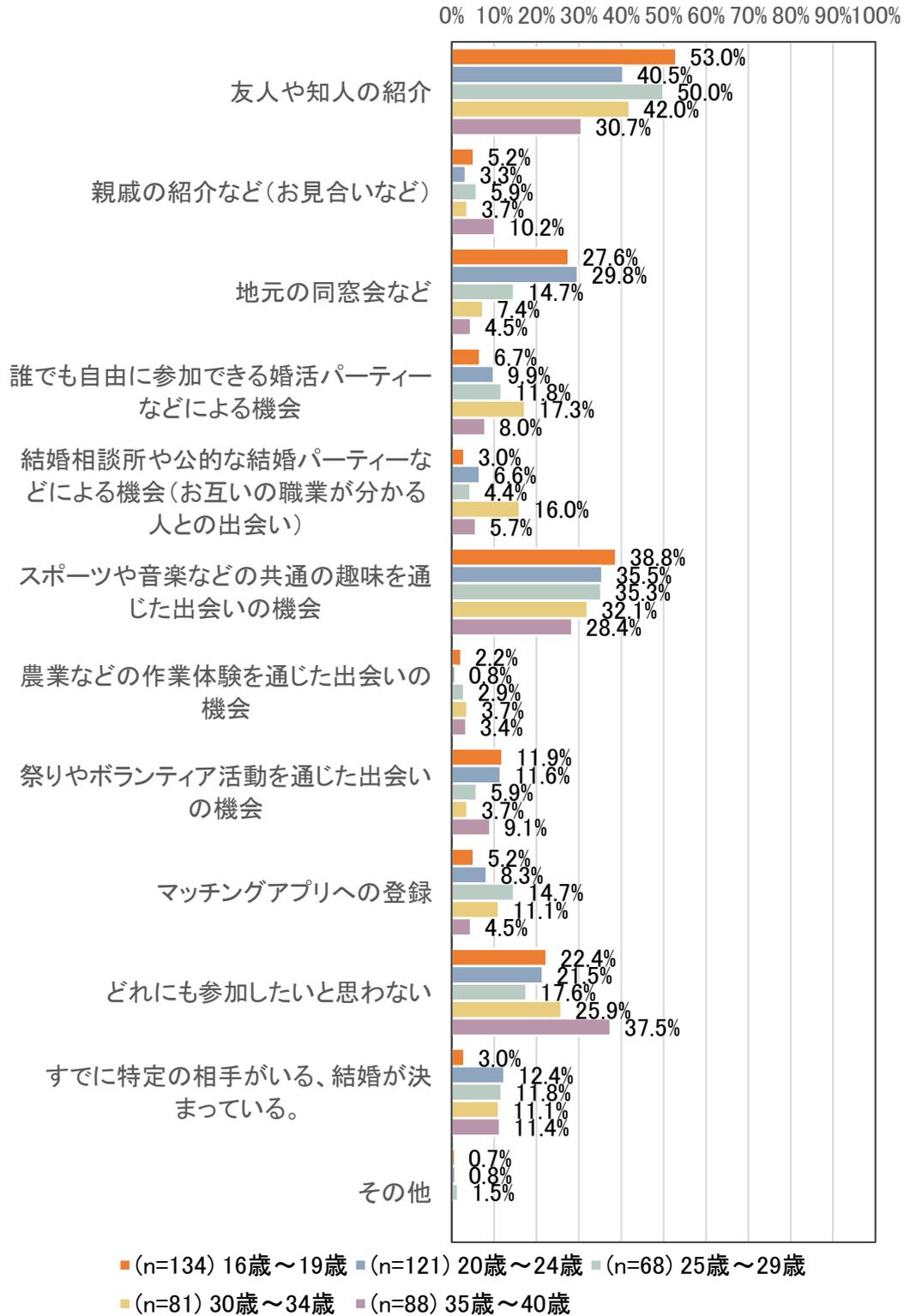
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「友人や知人の紹介」の割合が最も高い。男女で比較すると、「誰でも自由に参加できる婚活パーティーなどによる機会」では女性(14.6%)よりも男性(5.4%)の方が9.3ポイント上回り、「すでに特定の相手がいる、結婚が決まっている。」では男性(5.4%)よりも女性(14.3%)の方が8.9ポイント上回る。



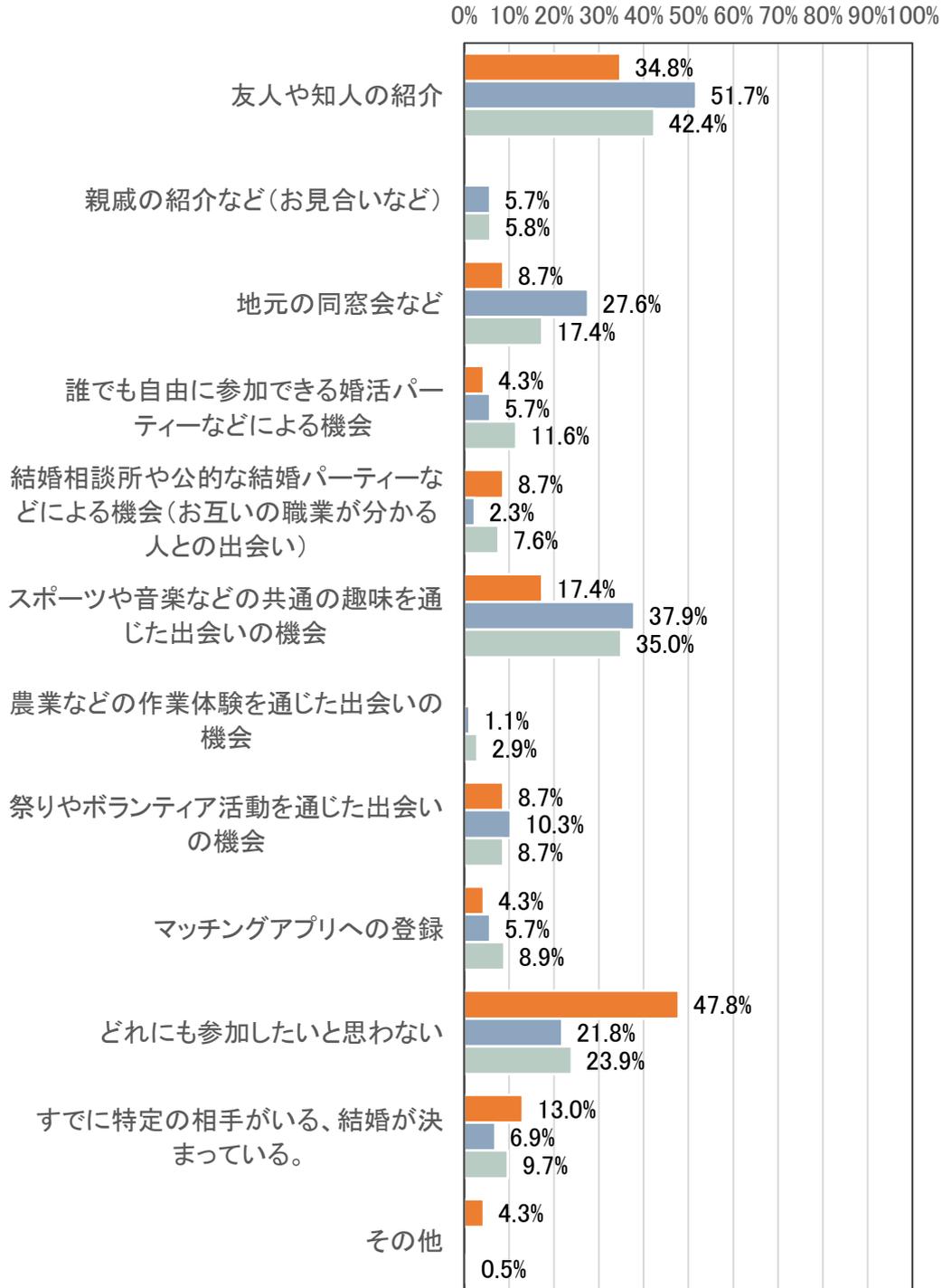
■年齢別クロス集計結果(問2)

10代～30代前半では「友人や知人の紹介」が、30代後半～40歳では「どれにも参加したいと思わない」の割合が最も高い。「スポーツや音楽などの共通の趣味を通じた出会いの機会」は年代が上がるにつれて低くなっている。



■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者なし(離別・死別)では「どれにも参加したいと思わない(47.8%)」、配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「友人や知人の紹介」の割合が最も高い。

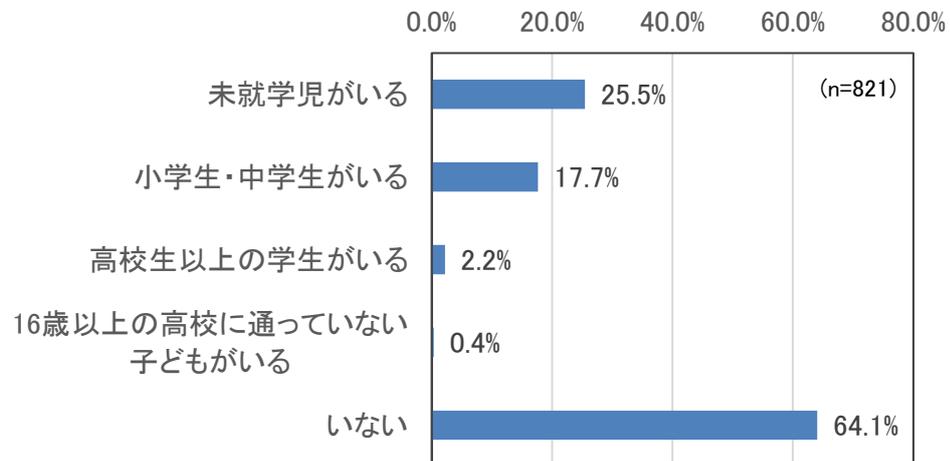


- (n=23) 配偶者なし(離別・死別)
- (n=87) 配偶者なし(未婚・18歳未満)
- (n=380) 配偶者なし(未婚・18歳以上)

5 出産・子育てについて

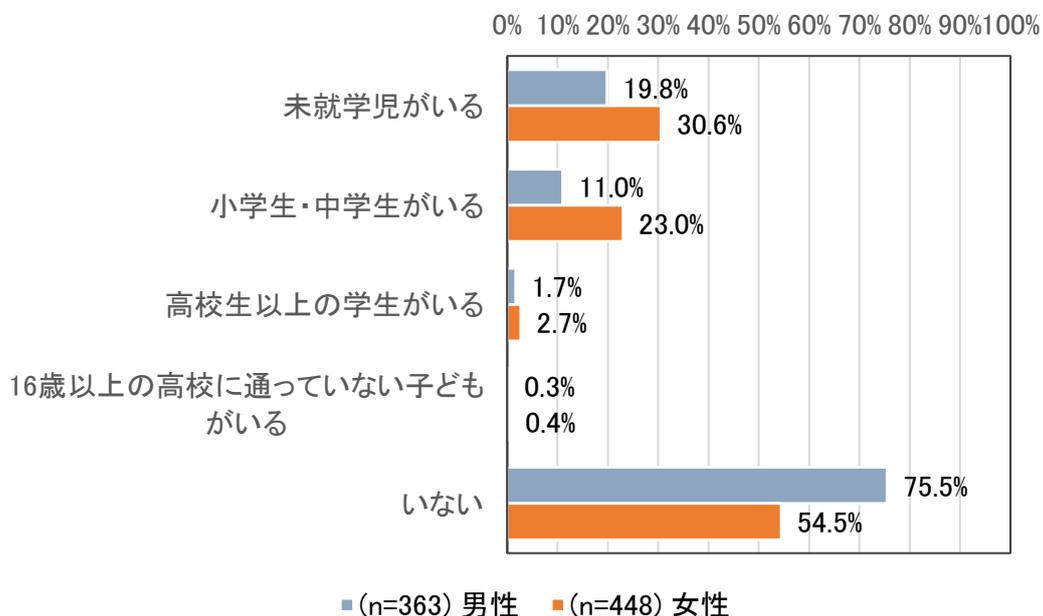
問18. こどもの有無 (MA)

「いない」の割合が最も高く64.1%である。次いで、「未就学児がいる(25.5%)」、「小学生・中学生がいる(17.7%)」である。



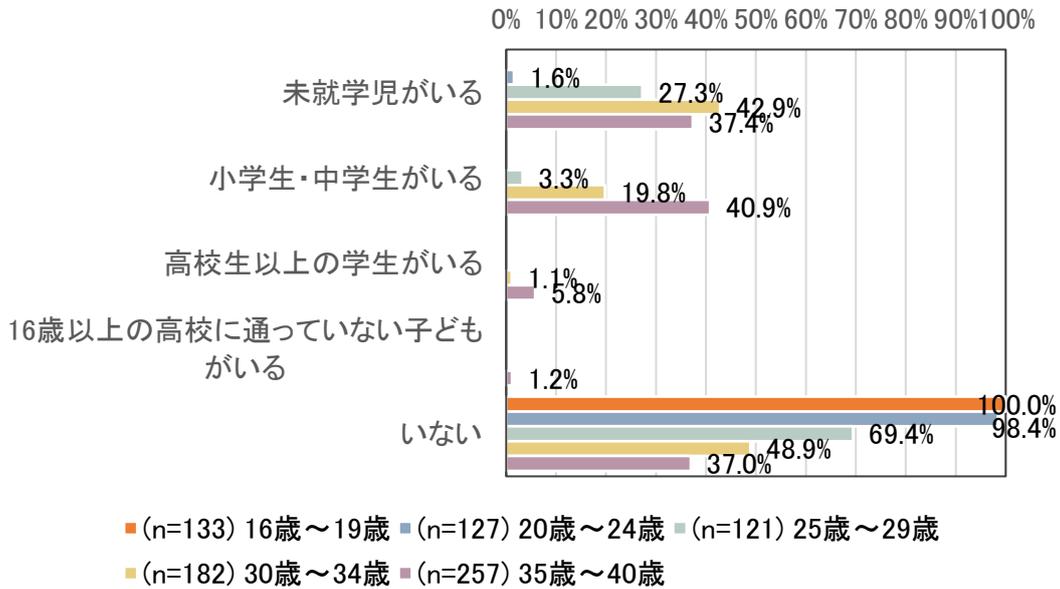
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「いない」の割合が最も高い。男女で比較すると、「未就学児がいる」「小学生・中学生がいる」で女性よりも男性の方が多い。



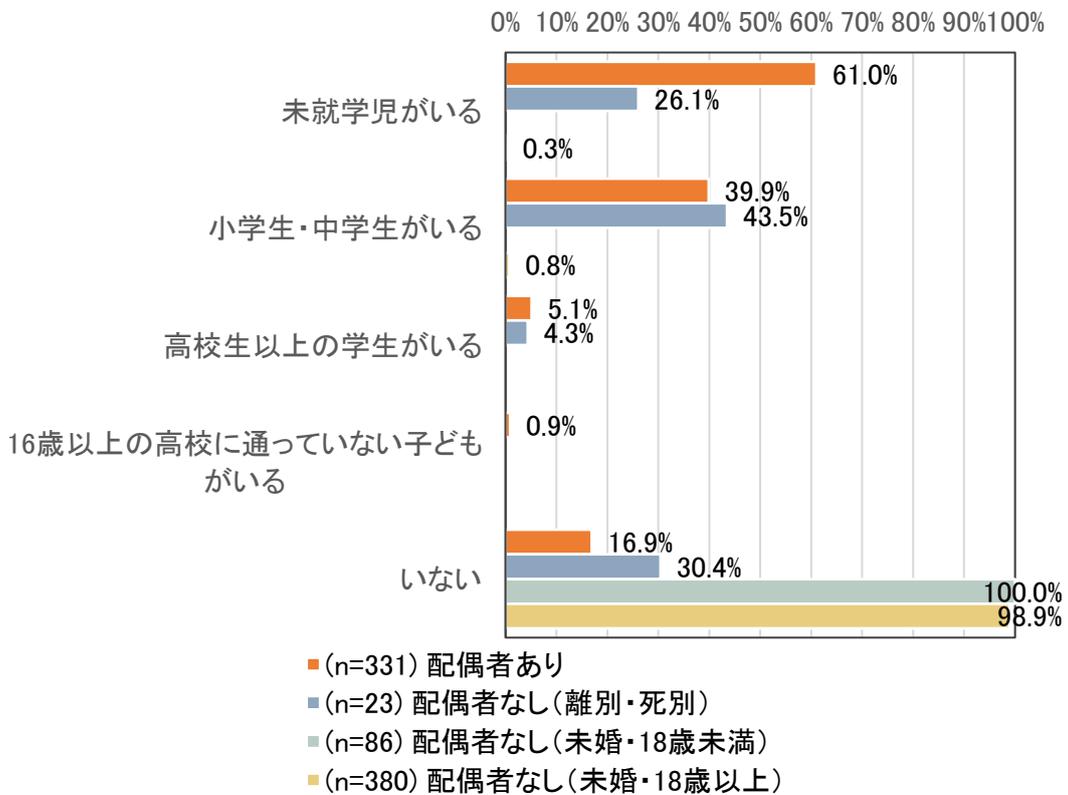
■年齢別クロス集計結果(問 2)

10代～30代前半では「いない」、30代後半～40歳では「小学生・中学生がいる(40.9%)」の割合が最も高い。



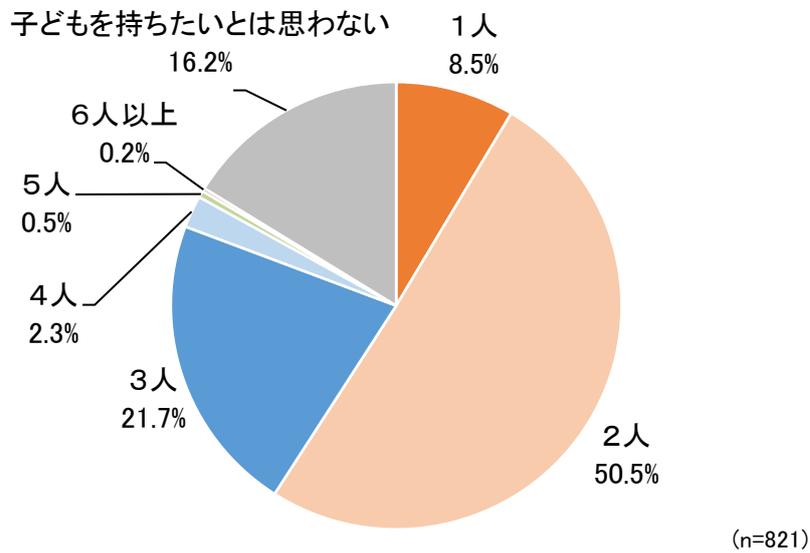
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者ありでは「未就学児がいる(61.0%)」、配偶者なし(離別・死別)では「小学生・中学生がいる(43.5%)」、配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「いない」の割合が最も高い。



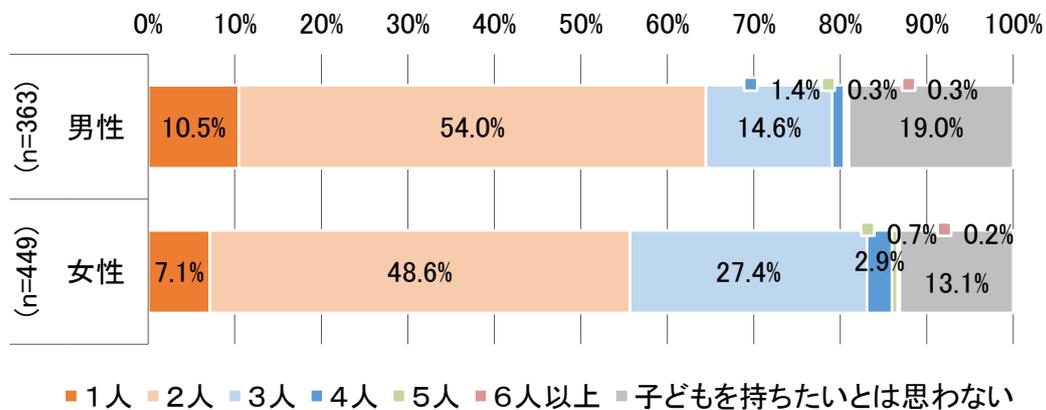
問19. 理想のこどもの人数 (SA)

「2人」の割合が最も高く 50.5%である。次いで、「3人(21.7%)」、「子どもを持ちたいとは思わない(16.2%)」である。



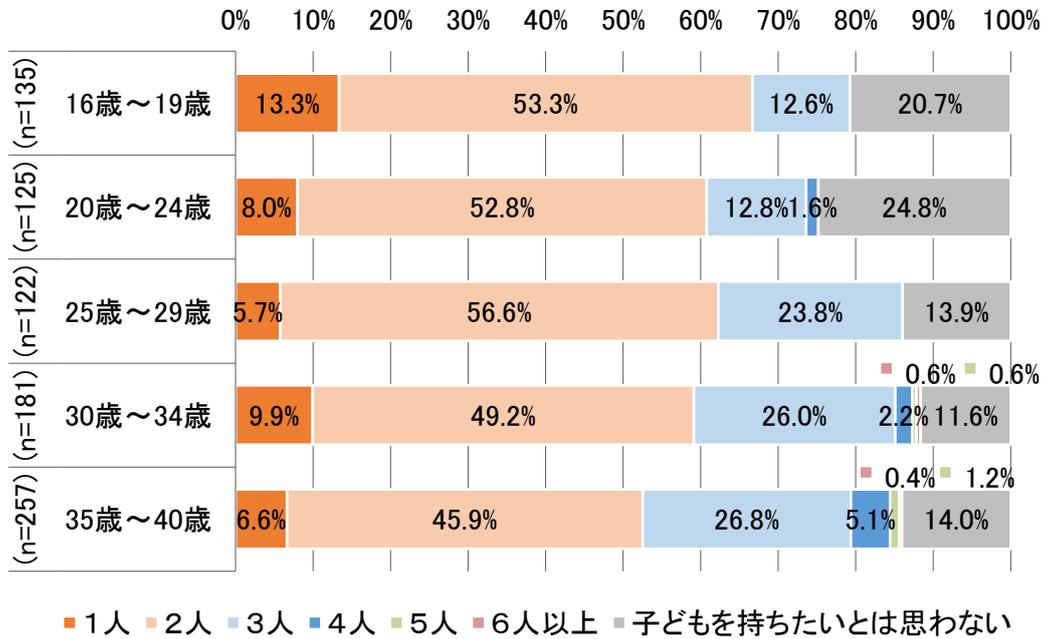
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「2人」の割合が最も高い。男女で比較すると、「3人」で男性(14.6%)よりも女性(27.4%)の方が 12.8 ポイント上回る。



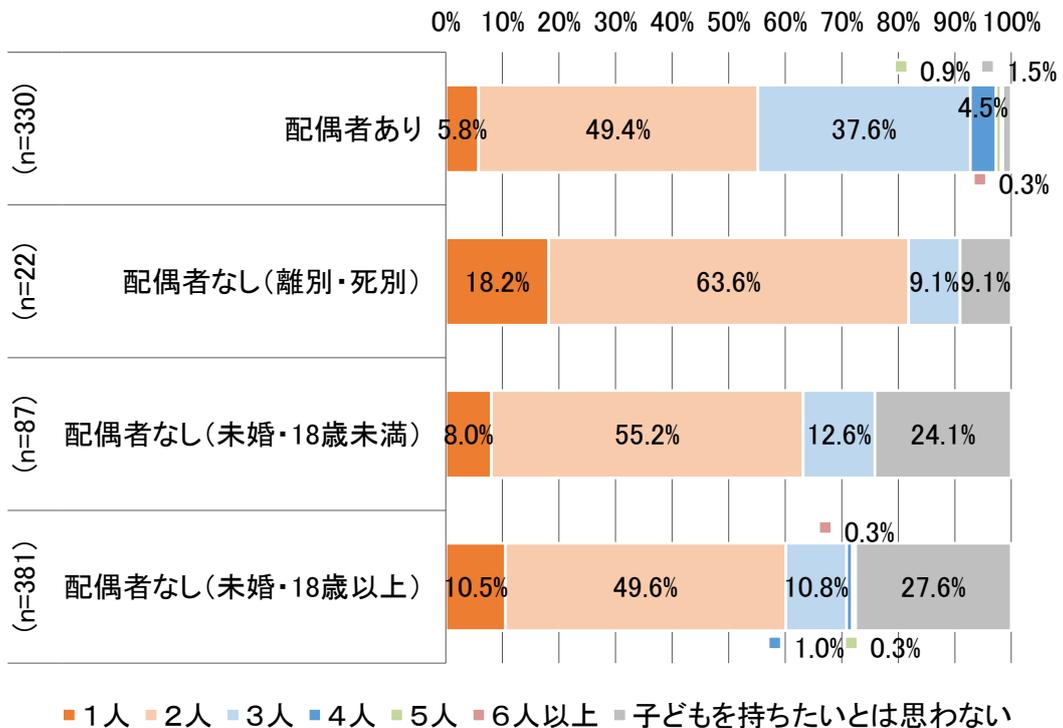
■年齢別クロス集計結果(問 2)

いずれの年代においても「2人」の割合が最も高い。「子どもを持ちたいとは思わない」の割合は、20代前半が他の年代と比較すると高くなっている。



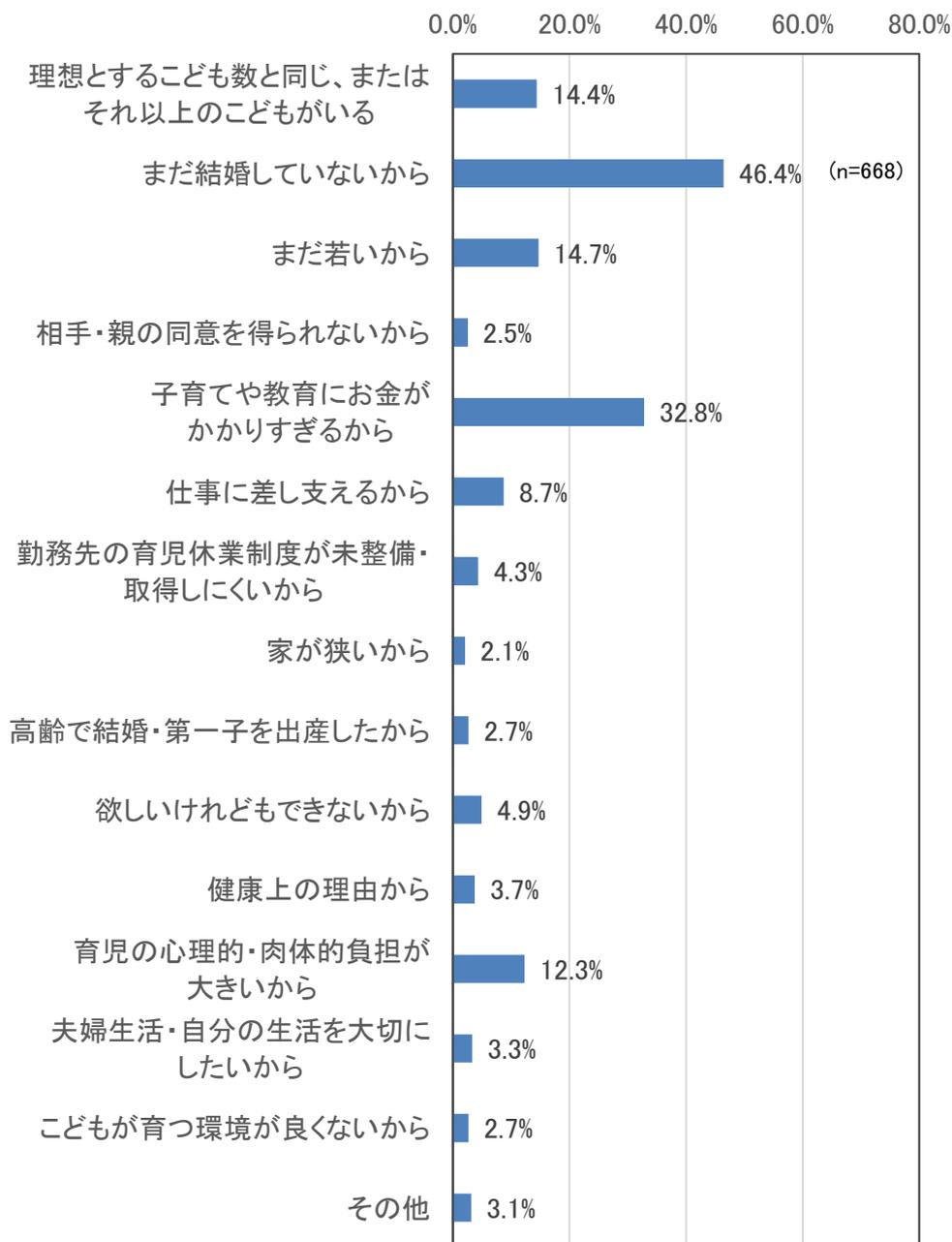
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

結婚の有無にかかわらず「2人」の割合が最も高い。「子どもを持ちたいとは思わない」の割合は、配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳未満)の順に高くなっている。



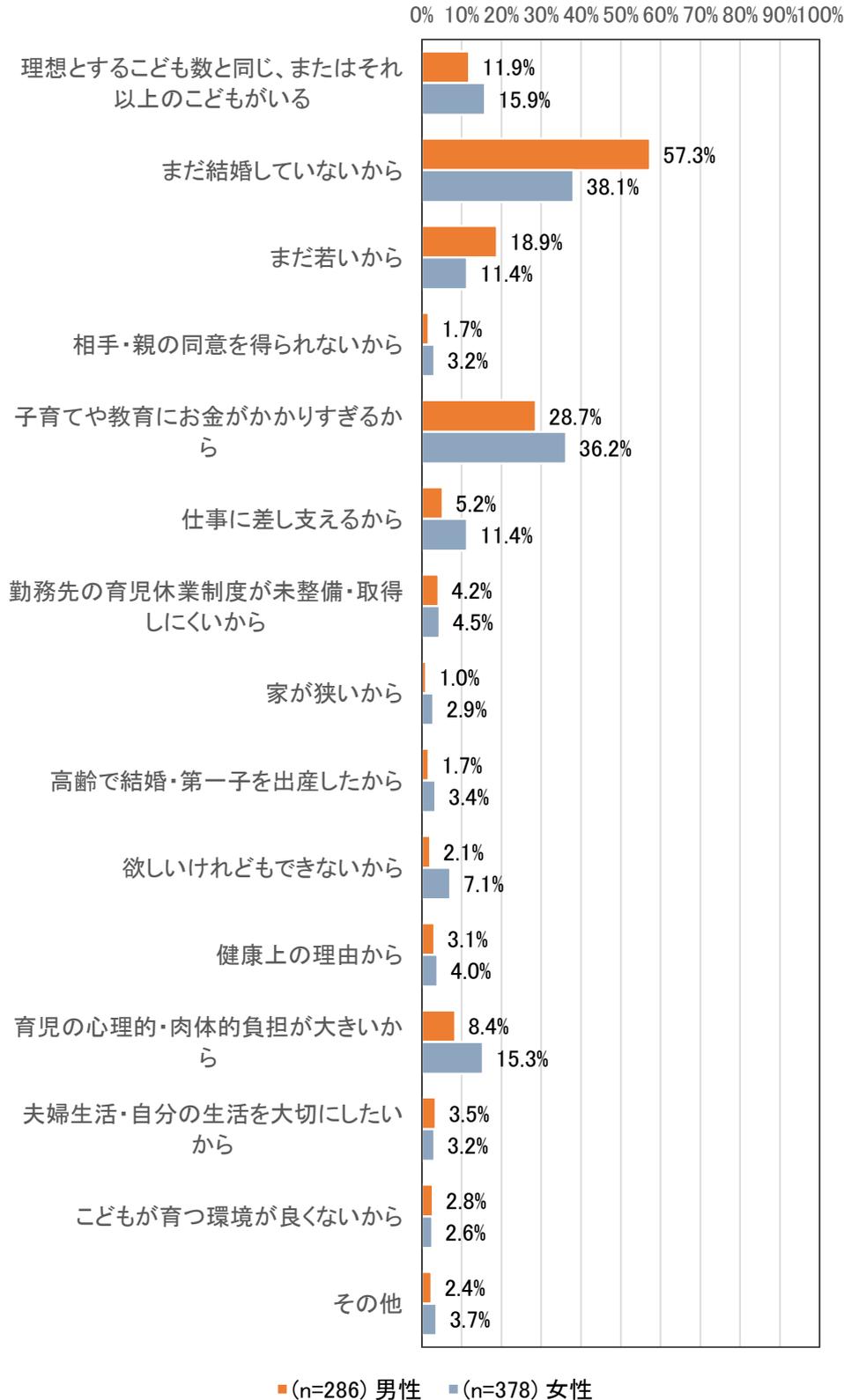
問20. 理想のこどもの人数を持っていない理由 (MA※3つ)

「まだ結婚していないから」の割合が最も高く 46.4%である。次いで、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから (32.8%)」、「まだ若いから(14.7%)」である。



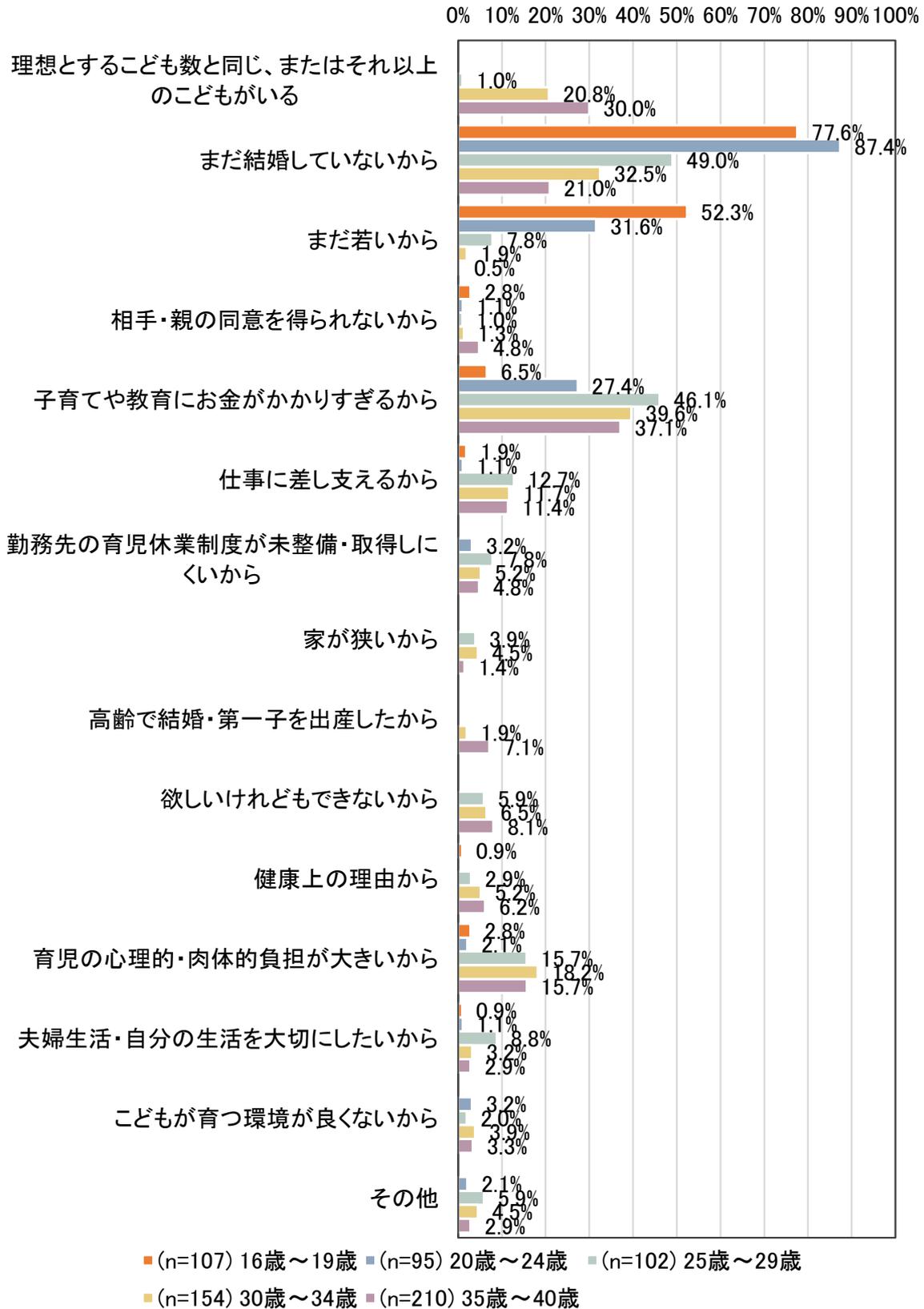
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「まだ結婚していないから」の割合が最も高い。男女で比較すると、「まだ若いから」で女性(11.4%)よりも男性(18.9%)の方が7.5ポイント上回り、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」で男性(28.8%)よりも女性(36.2%)の方が7.6ポイント上回る。



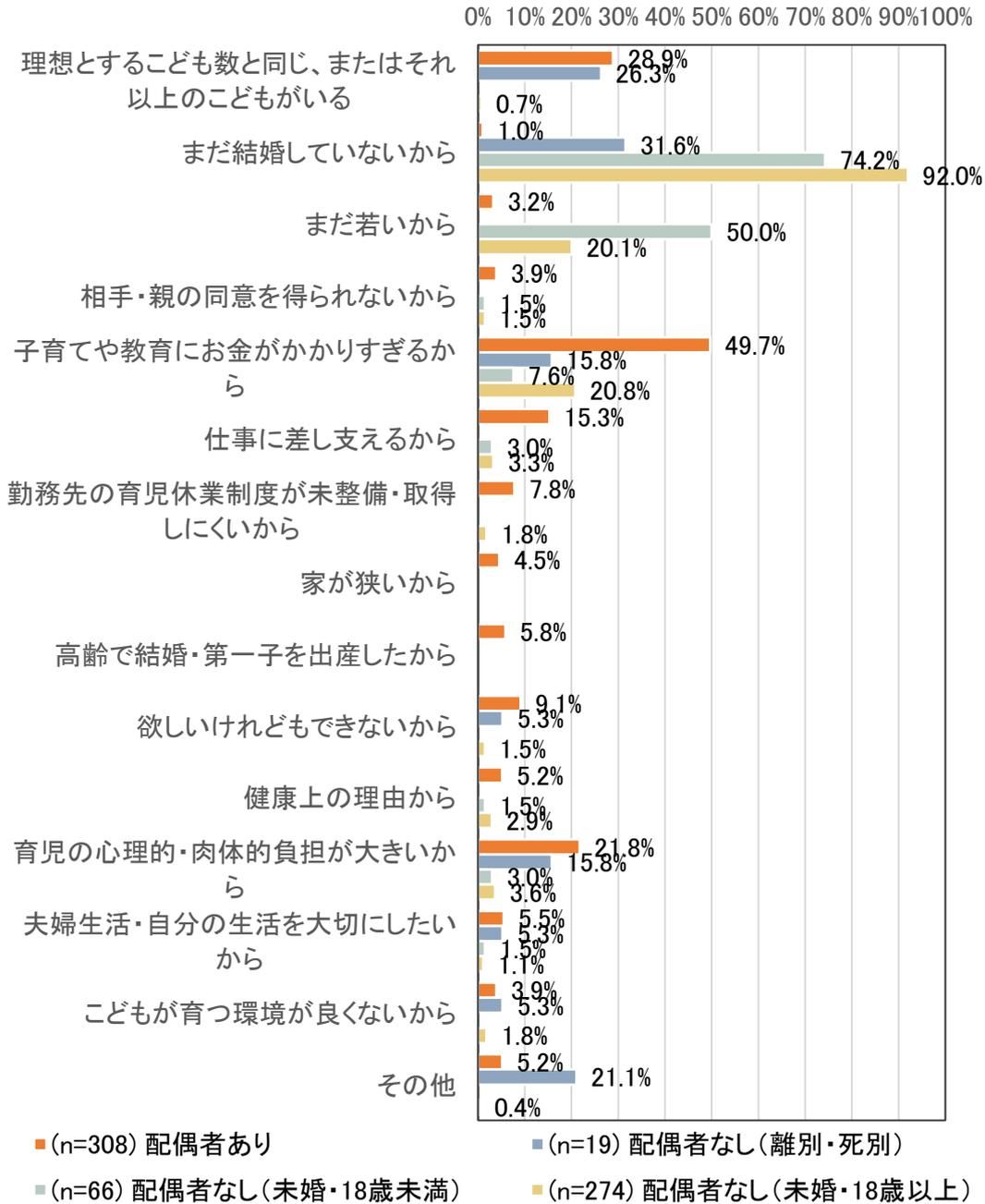
■年齢別クロス集計結果(問2)

10代～20代では「まだ結婚していないから」、30代以降では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が最も高い。



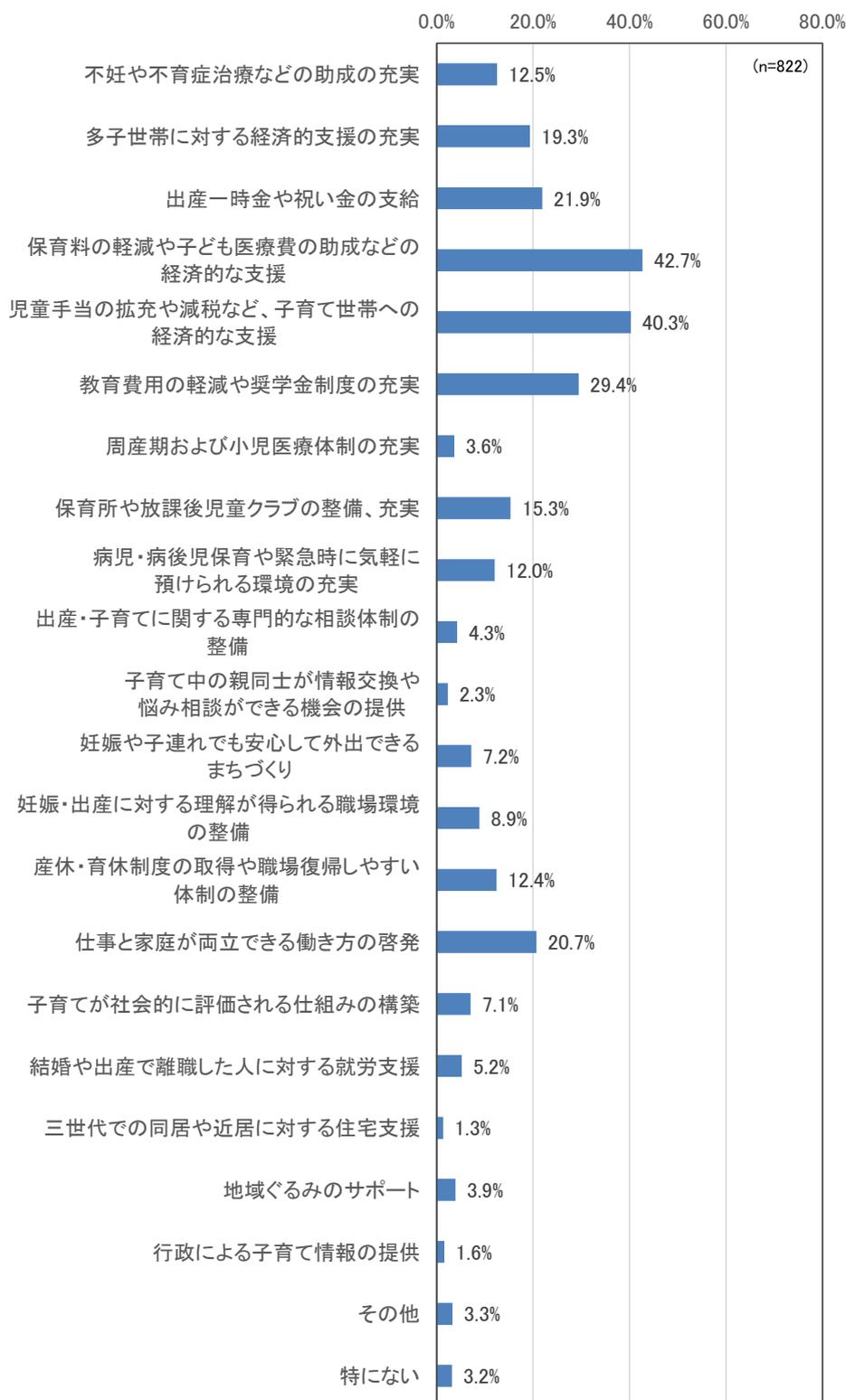
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者ありでは「子育てや教育にお金がかかりすぎるから(49.7%)」、配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳未満)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「まだ結婚していないから」では「まだ結婚していないから」の割合が最も高い。



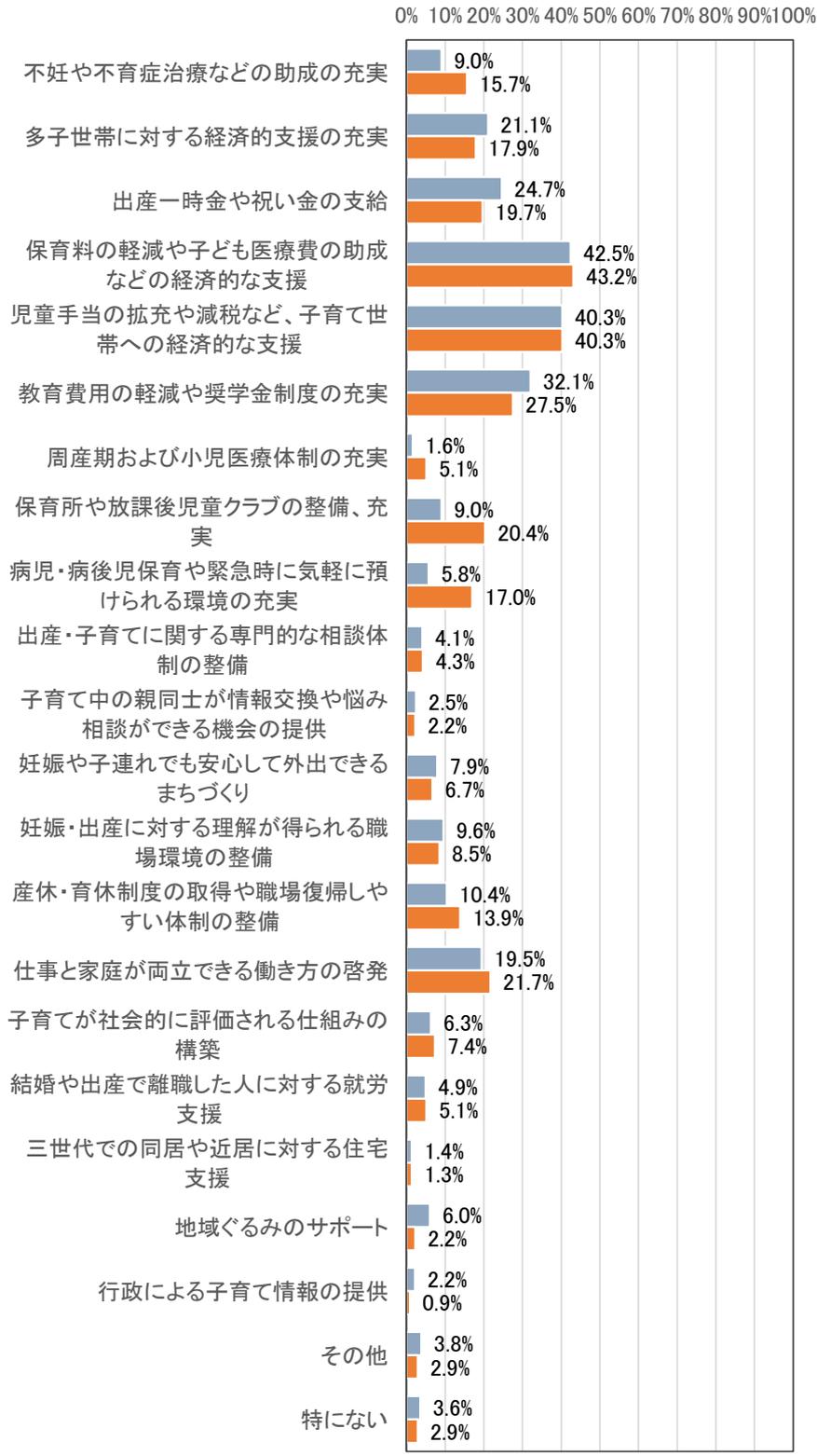
問21. 重要だと思う出産・子育て支援施策（MA※3つ）

「保育料の軽減や子ども医療費の助成などの経済的な支援」の割合が最も高く 42.7%である。次いで、「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的な支援(40.3%)」、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実(29.4%)」である。



■性別クロス集計結果(問1)

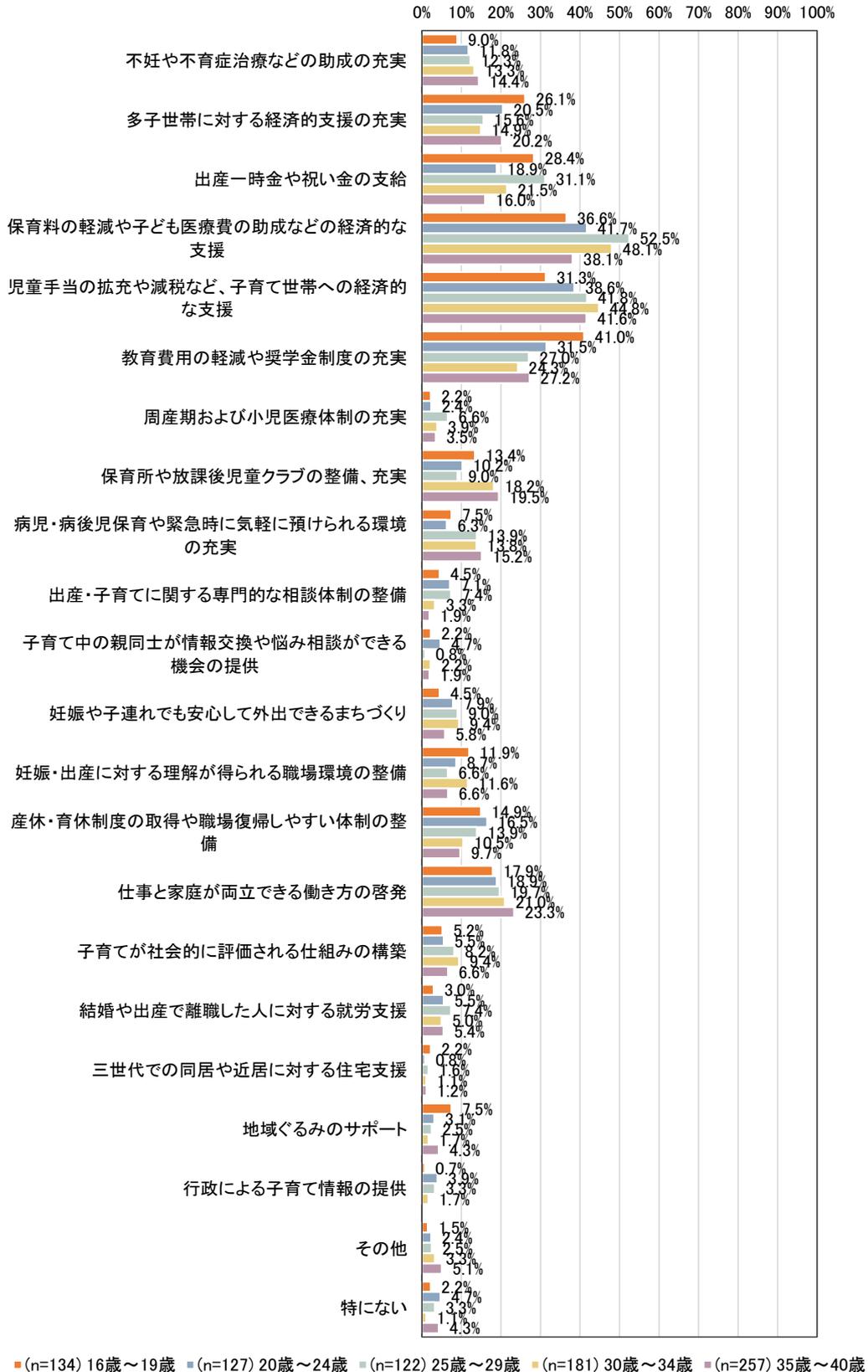
男女ともに「保育料の軽減や子ども医療費の助成などの経済的な支援」の割合が最も高い。男女で比較すると、「保育所や放課後児童クラブの整備、充実」「病児・病後児保育や緊急時に気軽に預けられる環境の充実」で男性よりも女性の方がそれぞれ約 11 ポイント上回る。



■ (n=365) 男性 ■ (n=447) 女性

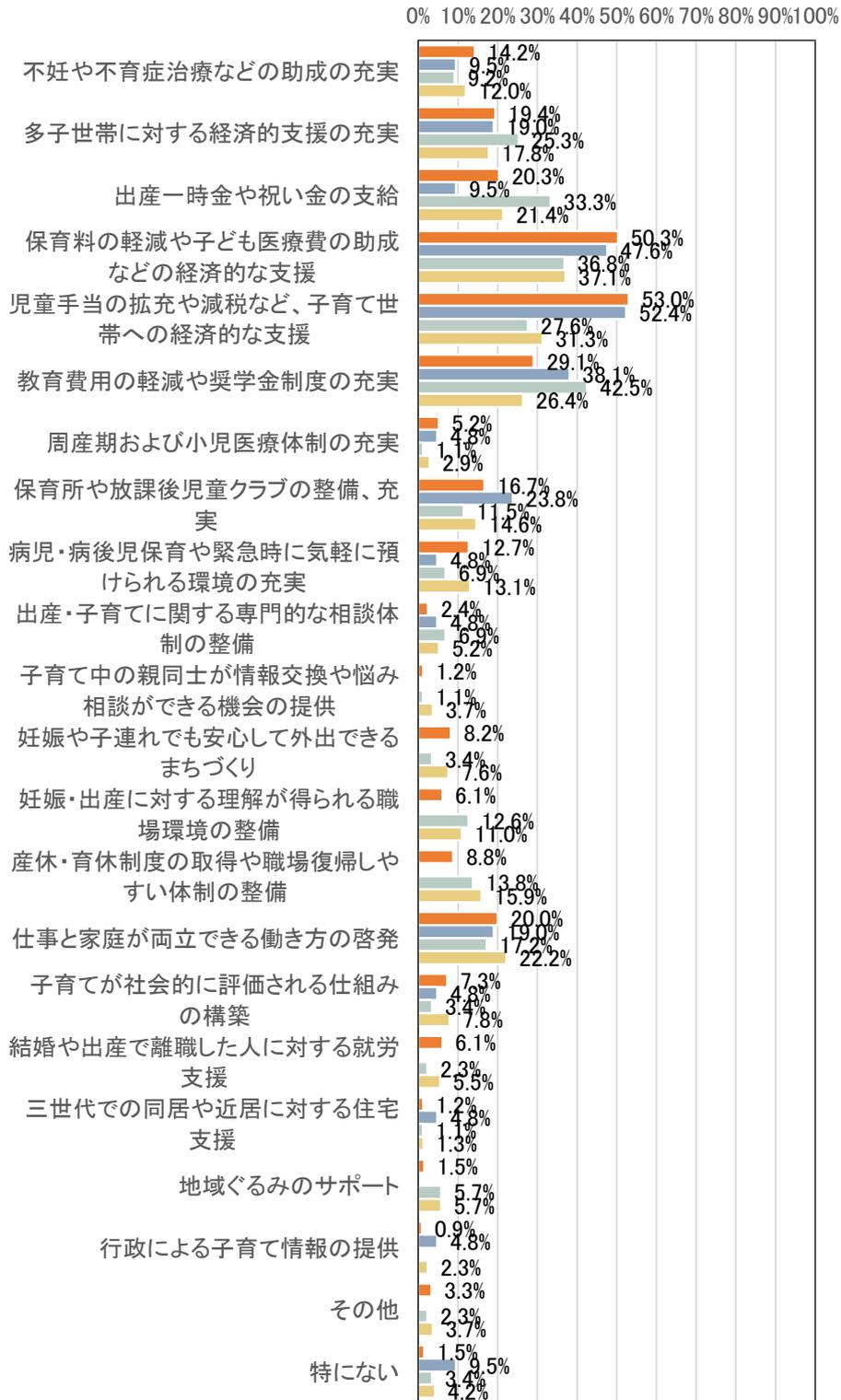
■年齢別クロス集計結果(問2)

10代では「教育費用の軽減や奨学金制度の充実(41.0%)」、20代～30代前半では「保育料の軽減や子ども医療費の助成などの経済的な支援」、30代後半～40歳では「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的な支援」の割合が最も高い。



■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者あり・配偶者なし(離別・死別)では「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的な支援」、配偶者なし(未婚・18歳未満)では「教育費用の軽減や奨学金制度の充実(42.5%)」、配偶者なし(未婚・18歳以上)では「保育料の軽減や子ども医療費の助成などの経済的な支援(37.1%)」の割合が最も高い。

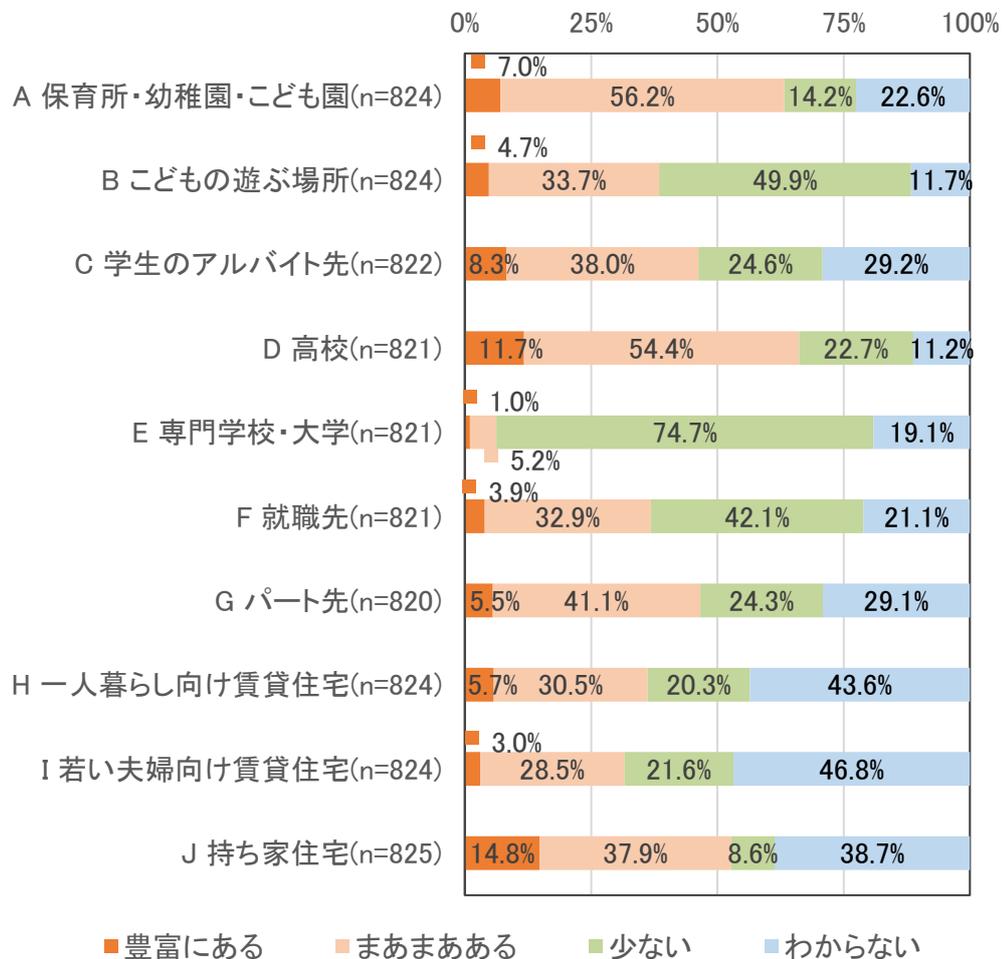


- (n=330) 配偶者あり
- (n=21) 配偶者なし(離別・死別)
- (n=87) 配偶者なし(未婚・18歳未満)
- (n=383) 配偶者なし(未婚・18歳以上)

6 富士宮市の暮らしについて

問22. 各項目について、富士宮市での選択肢は多いと思うか (SA)

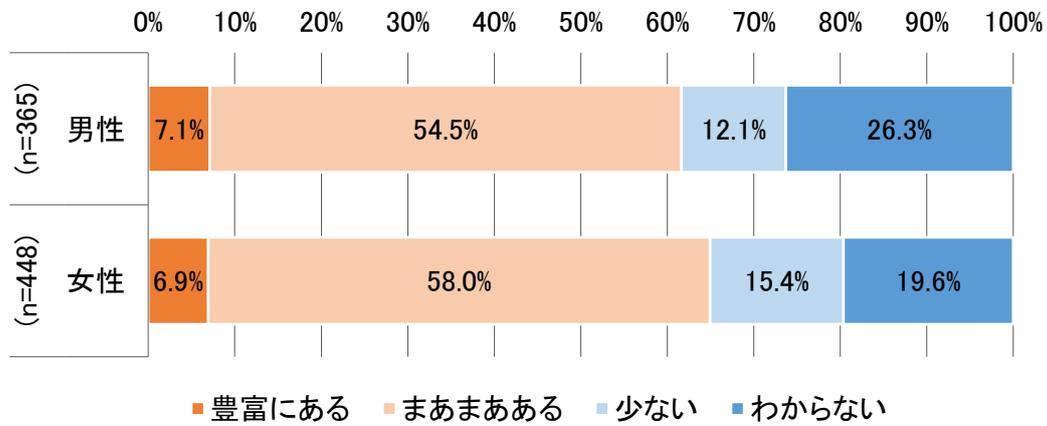
「豊富にある」と「まあまあある」の割合の合計に着目すると、「D 高校(SA)」における割合が最も高く 66.1%である。次いで、「A 保育所・幼稚園・こども園(SA)(63.2%)」、「J 持ち家住宅(SA)(52.7%)」である。



■性別クロス集計結果(問1)

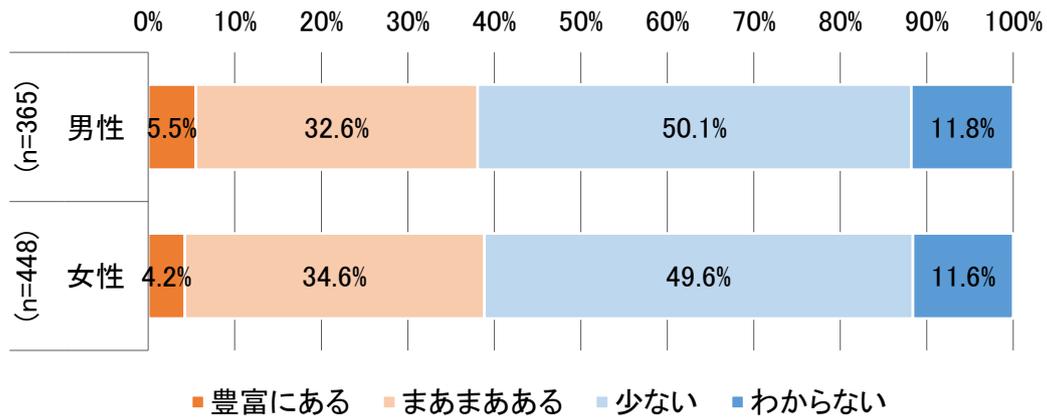
(A 保育所・幼稚園・こども園)

男女の違いによる大きな差は見られない。



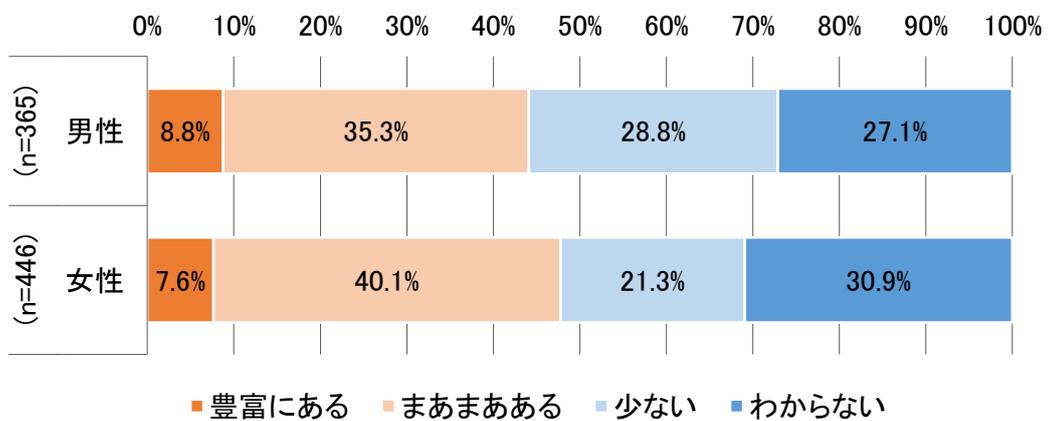
(B こどもの遊ぶ場所)

男女の違いによる大きな差は見られない。



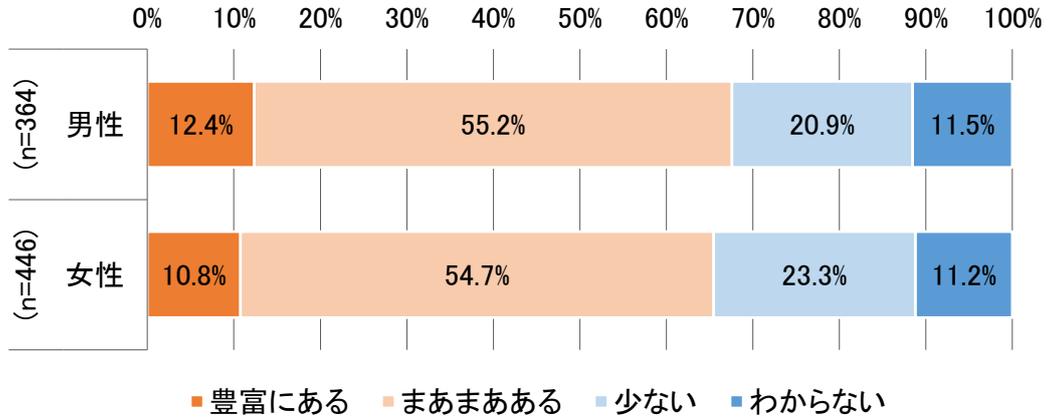
(C 学生のアルバイト先)

男女の違いによる大きな差は見られない。



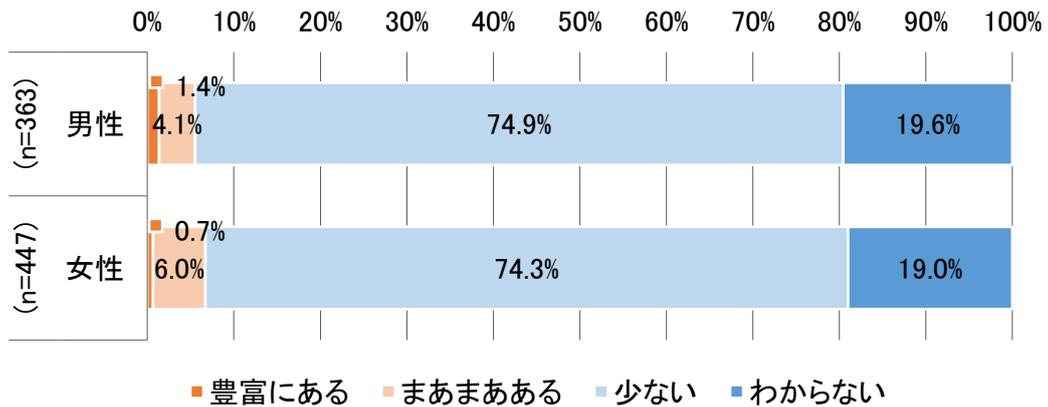
(D 高校(SA))

男女の違いによる大きな差は見られない。



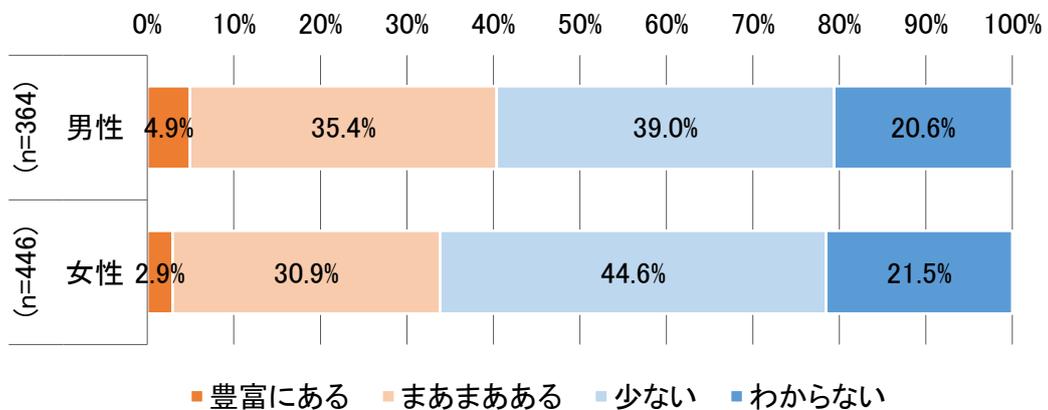
(E 専門学校・大学)

男女の違いによる大きな差は見られない。



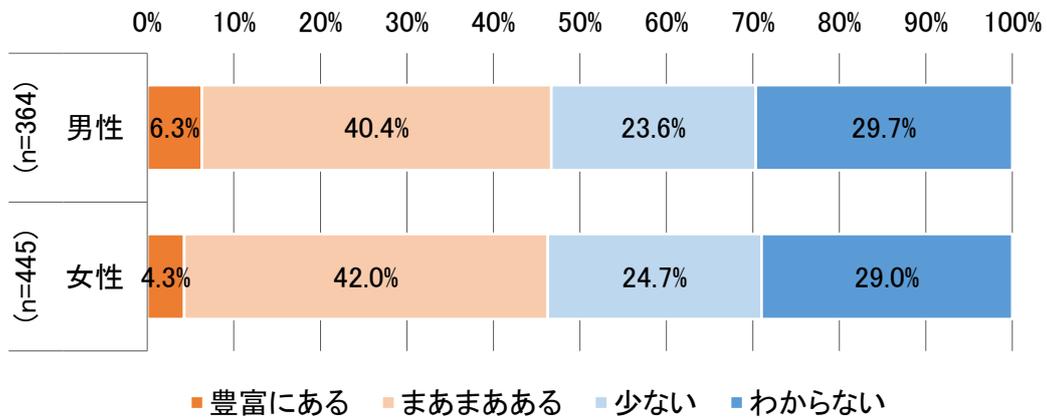
(F 就職先)

「豊富にある」と「まあまあある」の合計は女性(33.8%)よりも男性(40.3%)の方が 6.5 ポイント上回る。



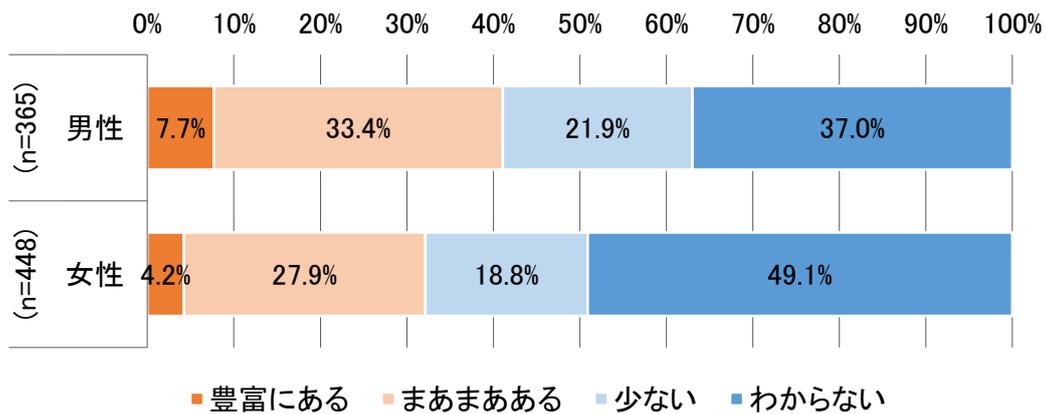
(G パート先)

男女の違いによる大きな差は見られない。



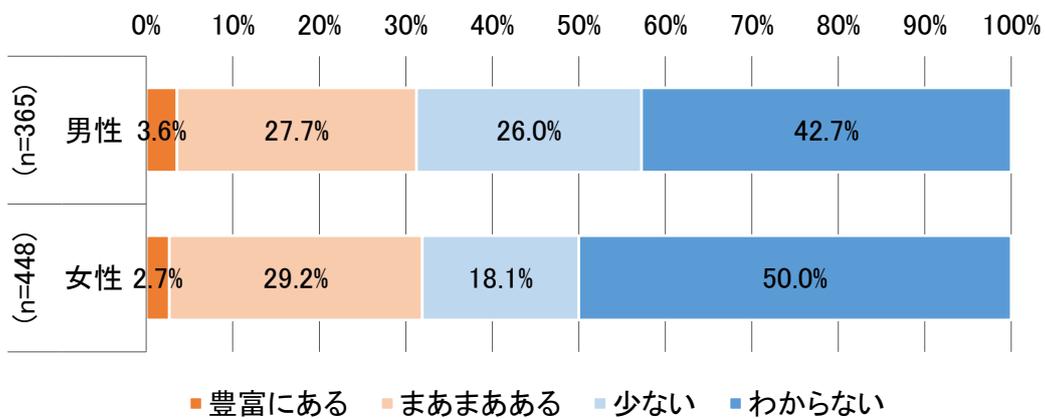
(H 一人暮らし向け賃貸住宅)

「豊富にある」と「まあまあある」の合計は女性(32.1%)よりも男性(41.1%)の方が9ポイント上回る。



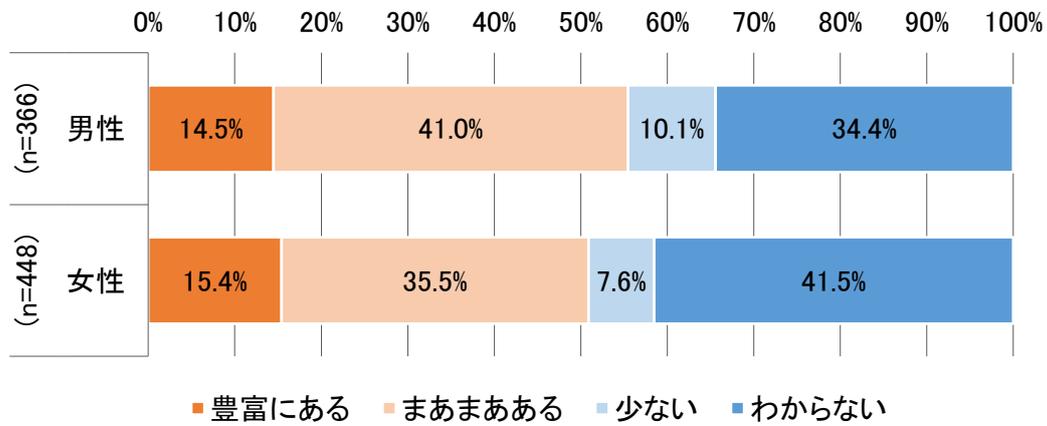
(I 若い夫婦向け賃貸住宅)

男女の違いによる大きな差は見られない。



(J 持ち家住宅)

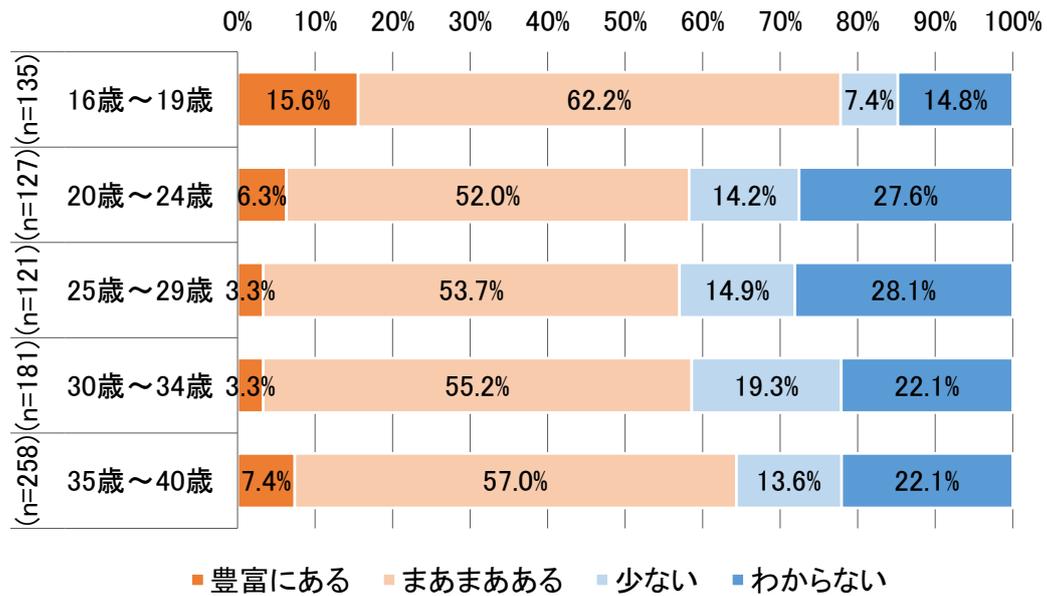
男女の違いによる大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

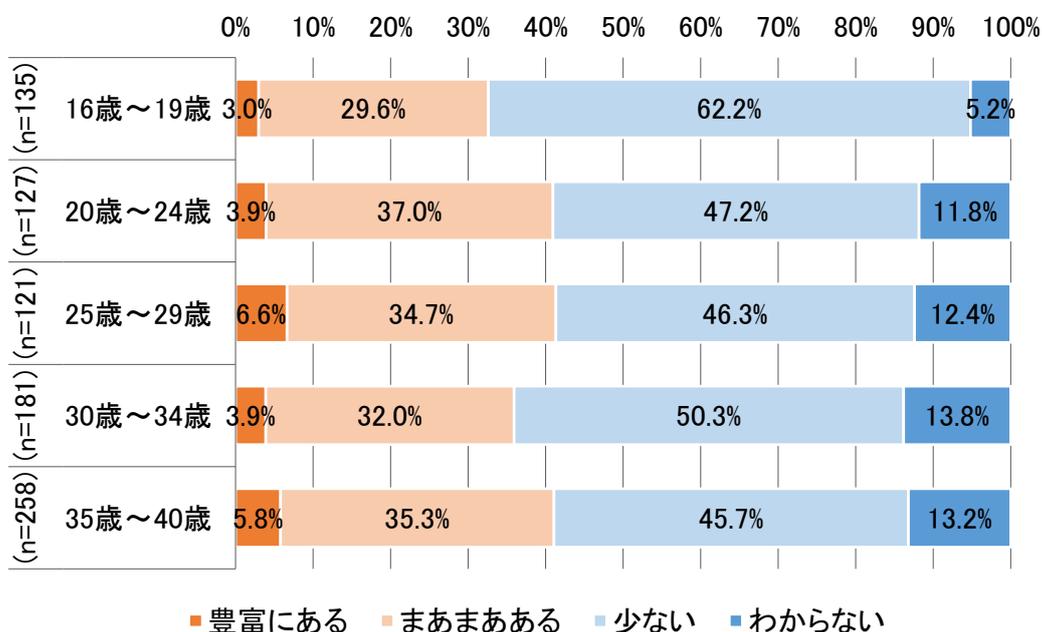
(A 保育所・幼稚園・こども園)

10代では「豊富にある」と「まあまあある」の合計は他の年代に比べて高い傾向にある。20代以降では年齢の違いによる大きな差はみられない。



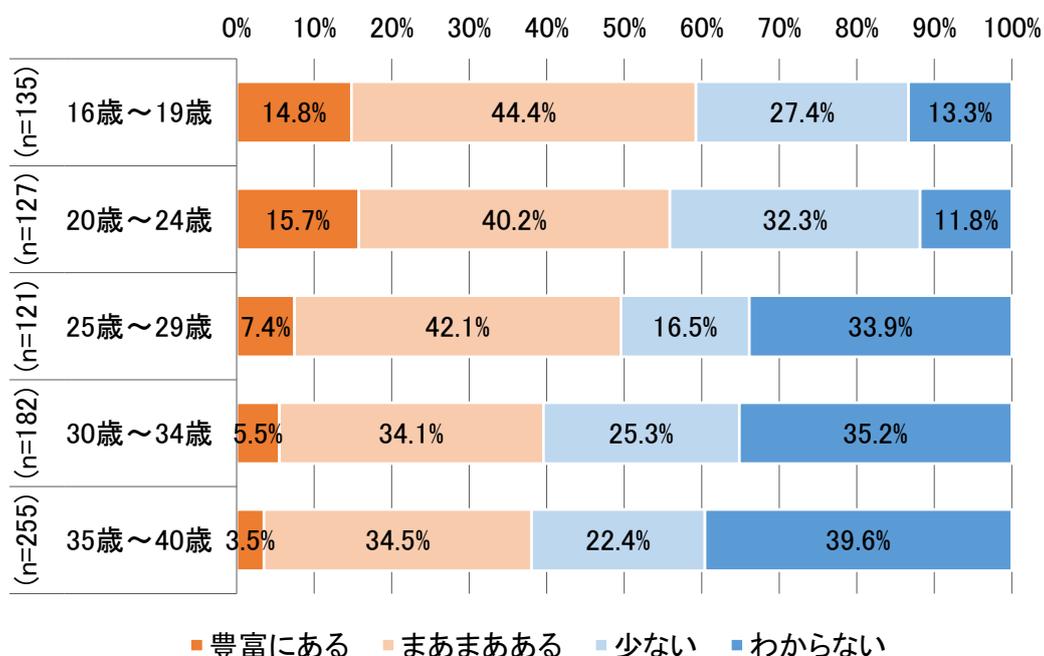
(B こどもの遊ぶ場所)

10代及び30代前半では「少ない」と回答した割合が5割以上となっており、他の年代に比べて高い傾向にある。20代、30代後半～40歳では年齢の違いによる大きな差はみられない。



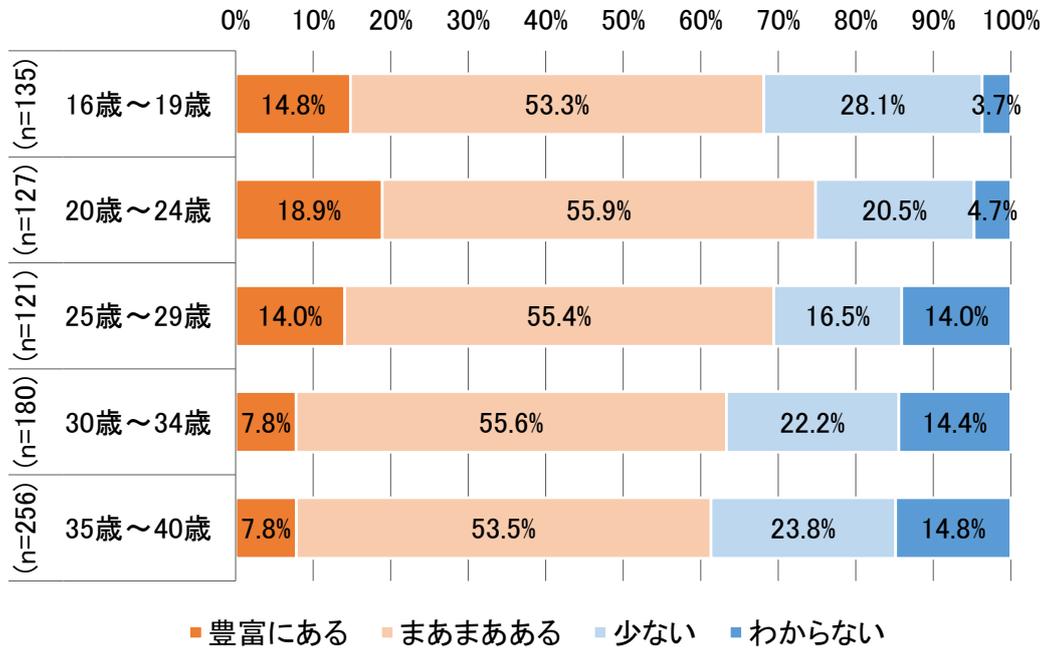
(C 学生のアルバイト先)

10代及び20代前半では「豊富にある」と「まあまあある」の合計は5割以上となっており、他の年代に比べて高い傾向にある。20代後半以降では年代が上がるにつれて「わからない」と回答した割合が高くなっている。



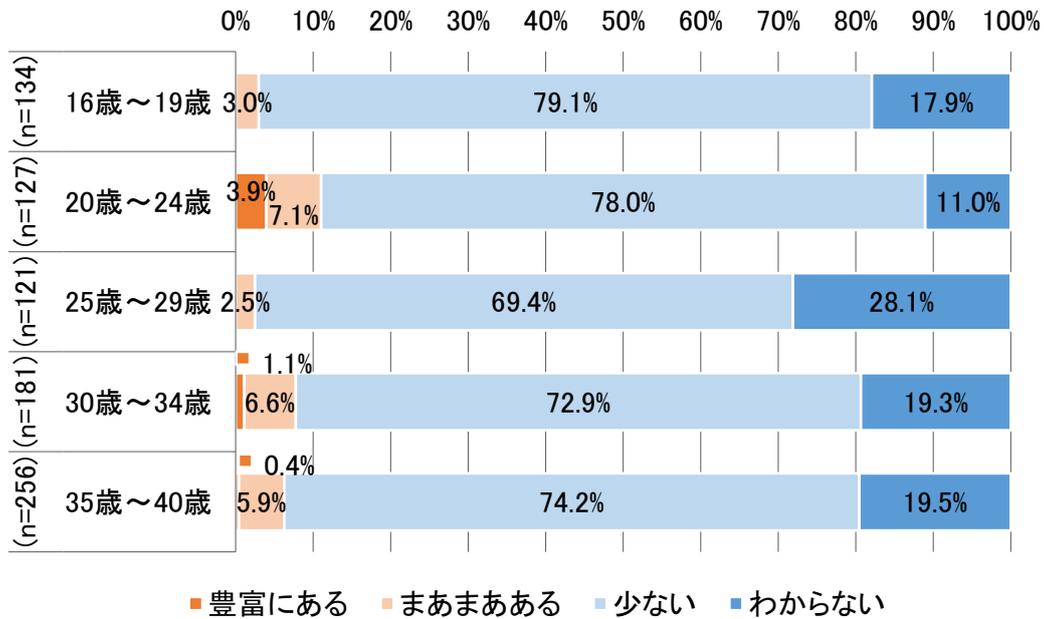
(D 高校(SA))

10代では「少ない」と回答した割合が3割近くとなっており、他の年代に比べて高い傾向にある。20代以降では年代が上がるにつれて「わからない」と回答した割合が高くなっている。



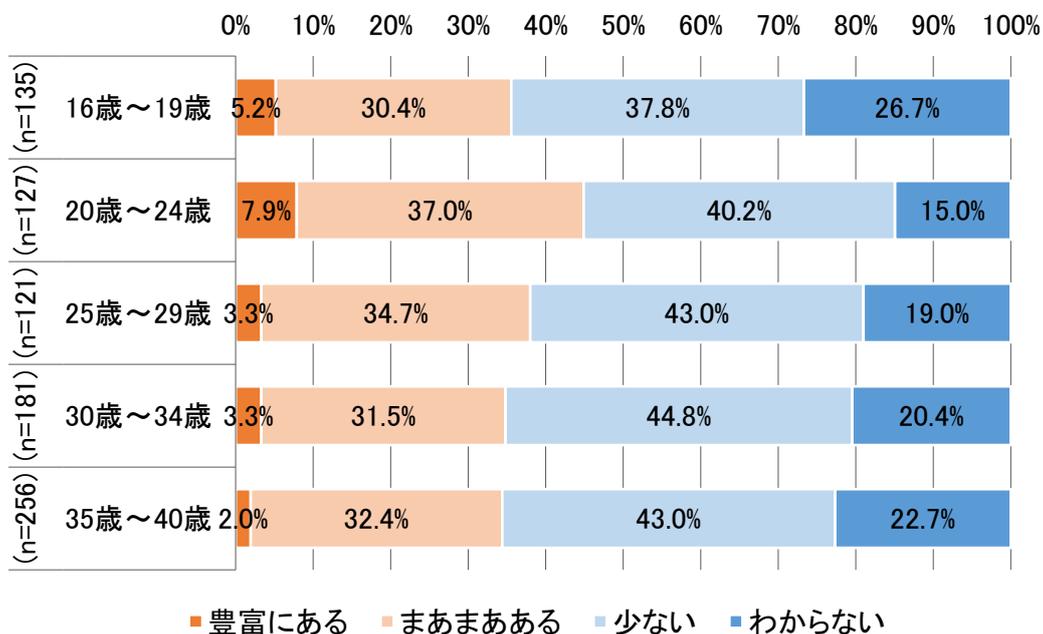
(E 専門学校・大学)

いずれの年代においても「少ない」と回答した割合が6割以上となっており最も高い。



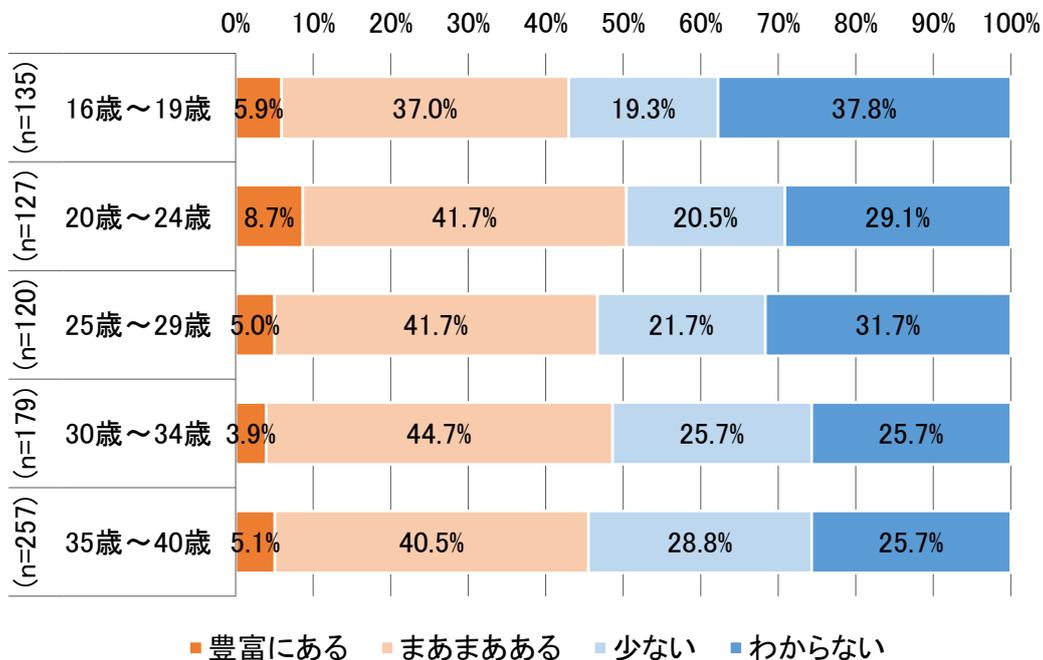
(F 就職先)

20代以降では年代が上がるにつれて「豊富にある」と「まあまあある」の合計は低くなっている。



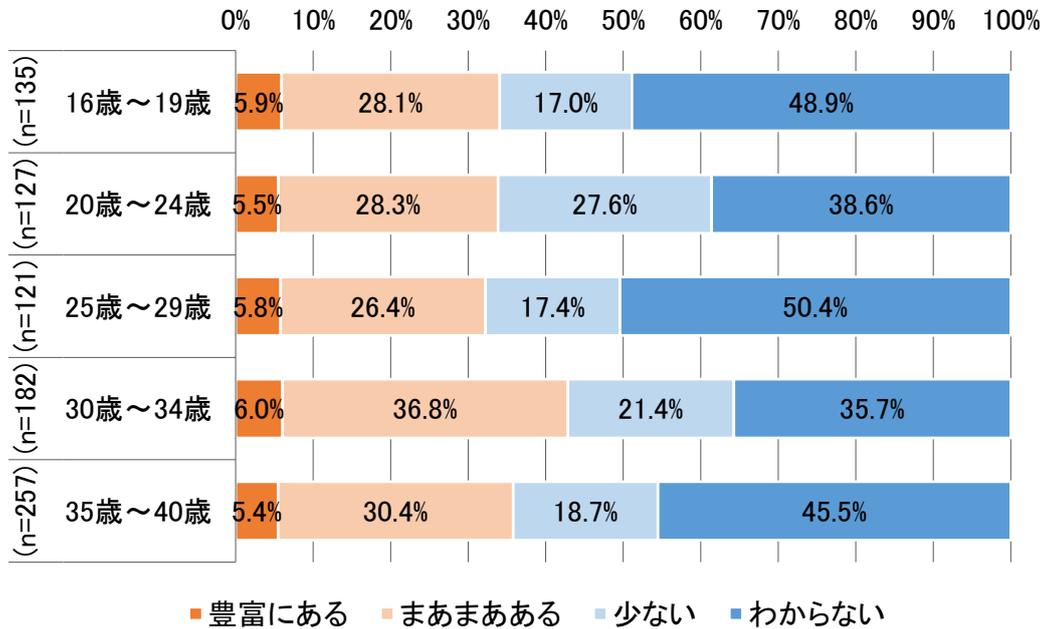
(G パート先)

20代前半では「豊富にある」と「まあまあある」の合計は5割以上となっており、他の年代と比較して高い傾向にある。



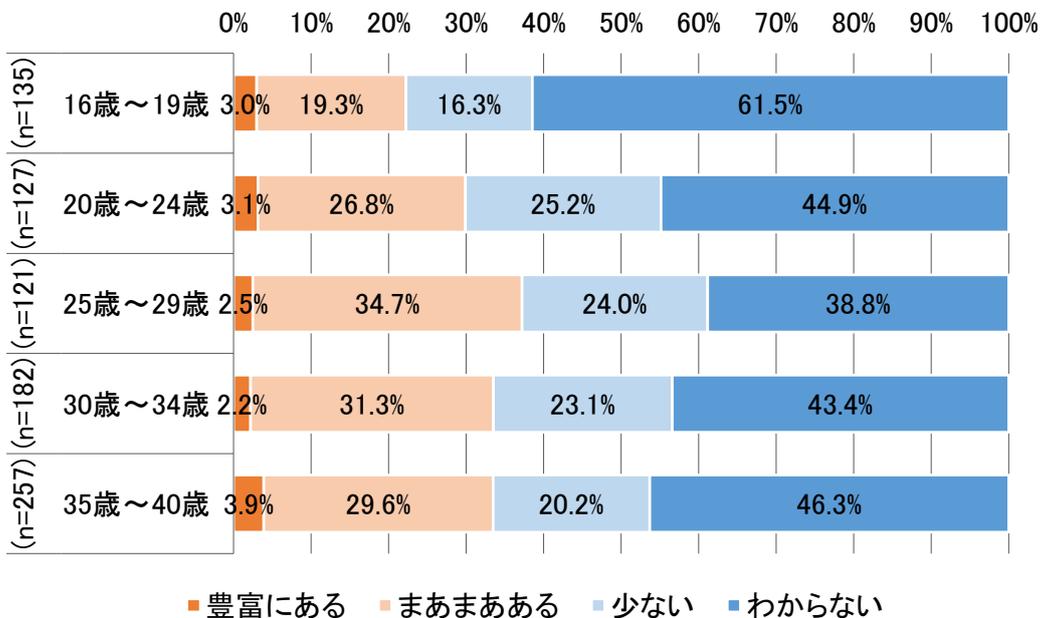
(H 一人暮らし向け賃貸住宅)

30代前半では「豊富にある」と「まあまあある」の合計は4割以上となっており、他の年代と比較して高い傾向にある。



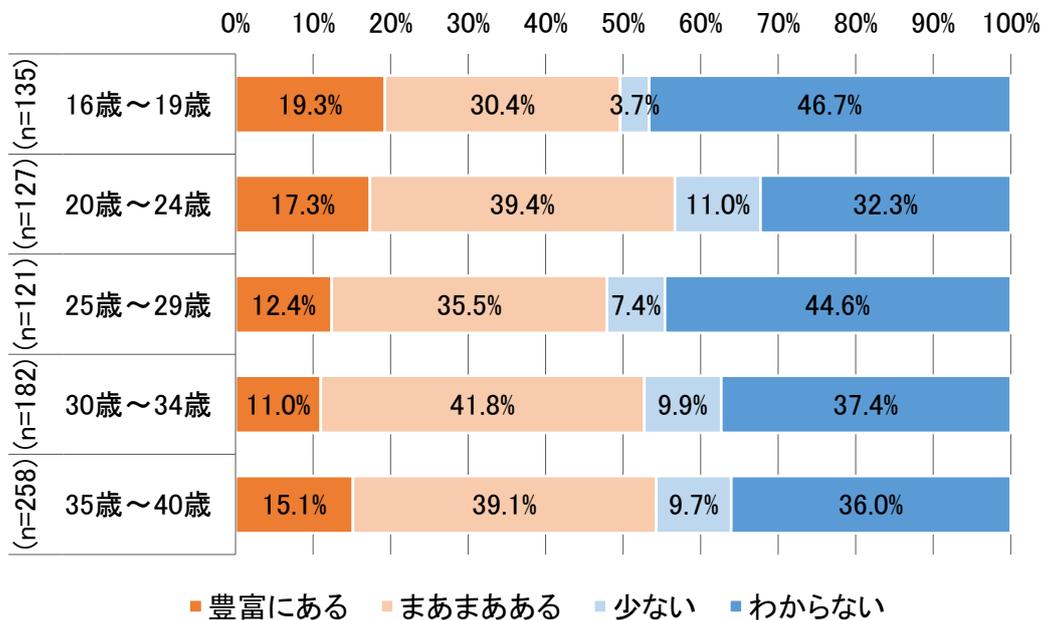
(I 若い夫婦向け賃貸住宅)

20代後半～30代前半では「豊富にある」と「まあまあある」の合計は3割以上となっており、他の年代と比較して高い傾向にある。



(J 持ち家住宅)

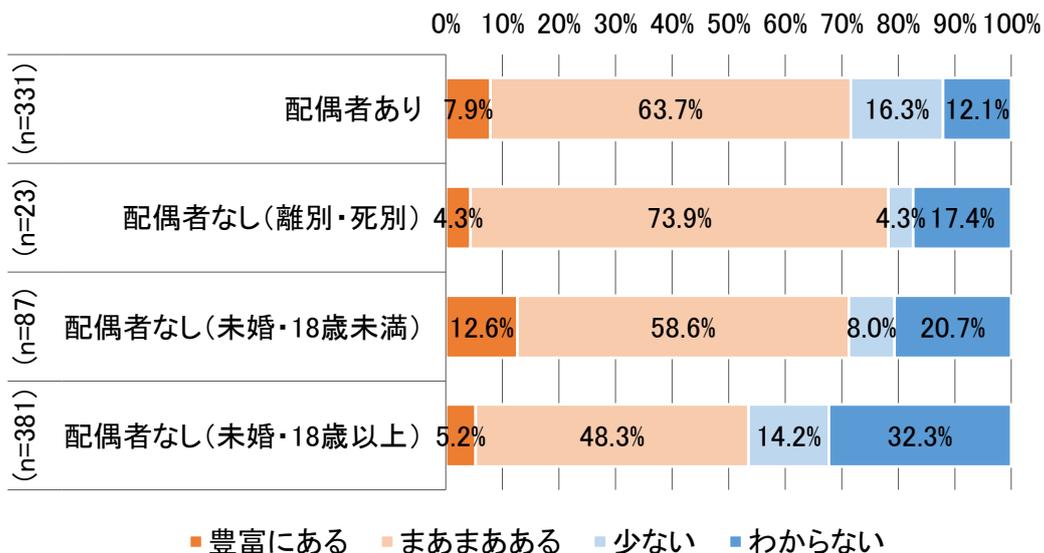
20代後半では「豊富にある」と「まあまあある」の合計は5割未満となっており、20代前半及び30代以上と比較して高い傾向にある。



■結婚の有無別クロス集計結果(問14)

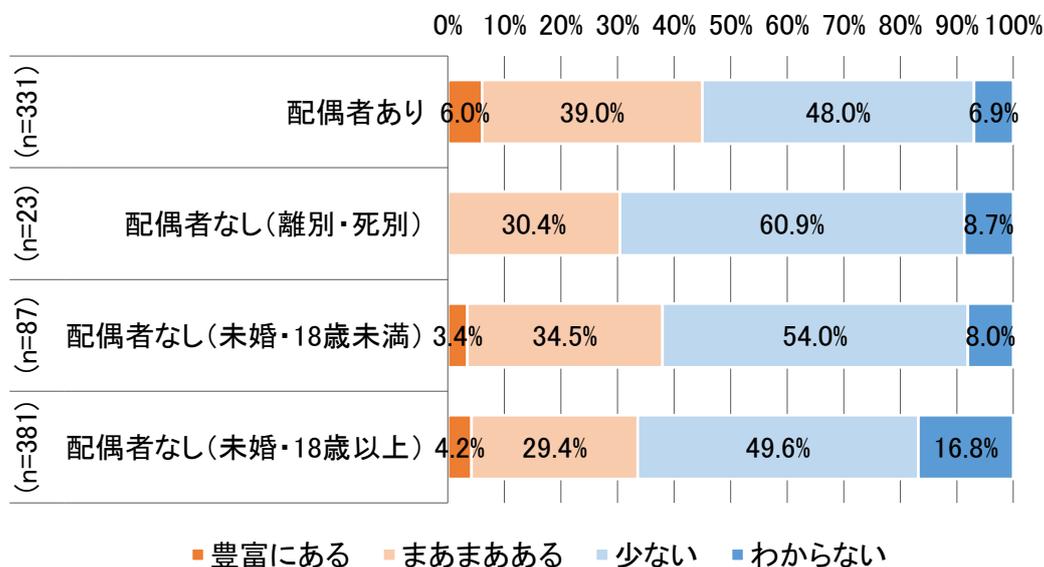
(A 保育所・幼稚園・こども園)

配偶者あり及び配偶者なし(未婚・18歳以上)では、「少ない」と回答した割合が1割以上となっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



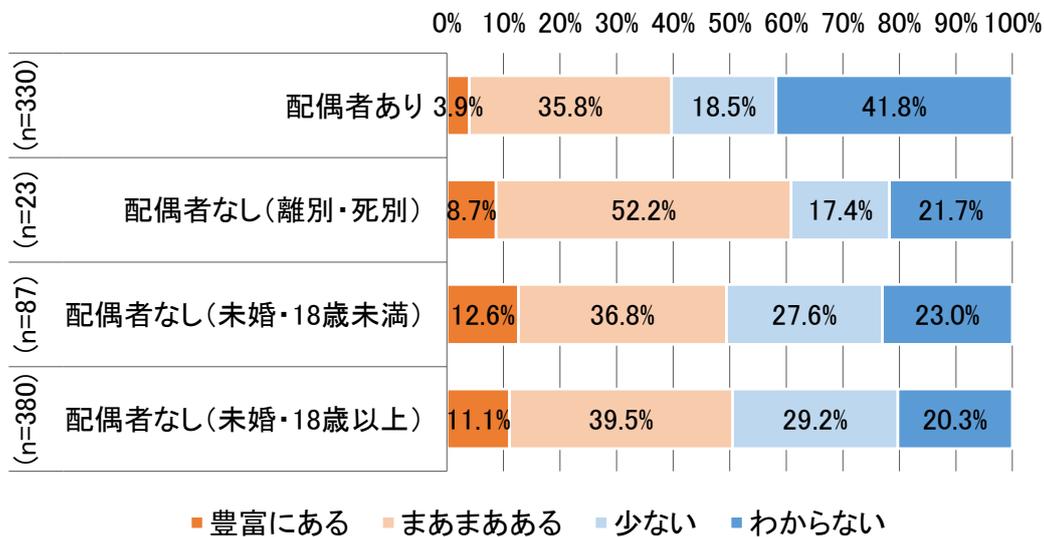
(B こどもの遊ぶ場所)

配偶者なし(離別・死別)及び配偶者なし(未婚・18歳未満)では、「少ない」と回答した割合が5割以上となっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



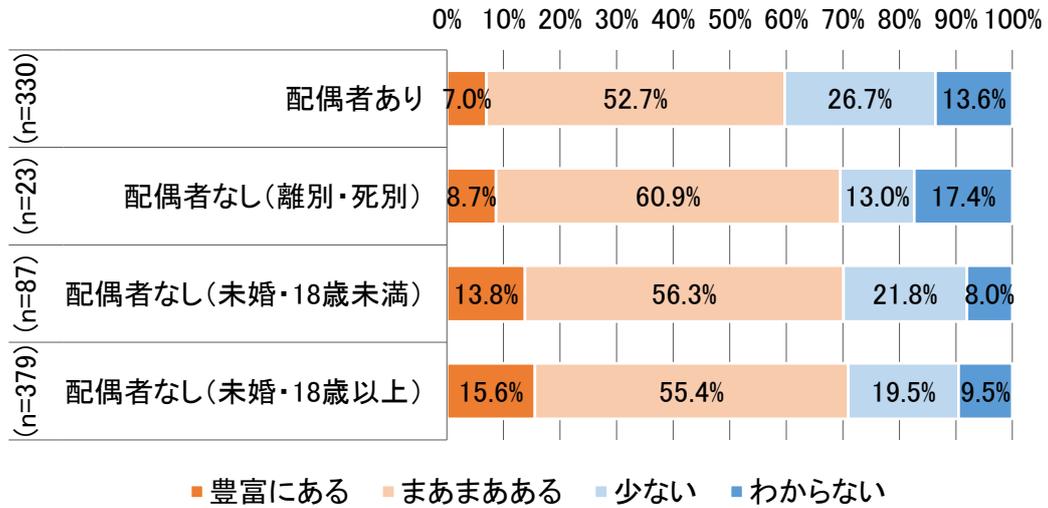
(C 学生のアルバイト先)

配偶者なし(離別・死別)では、「豊富にある」と「まあまあある」の合計は6割以上となっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



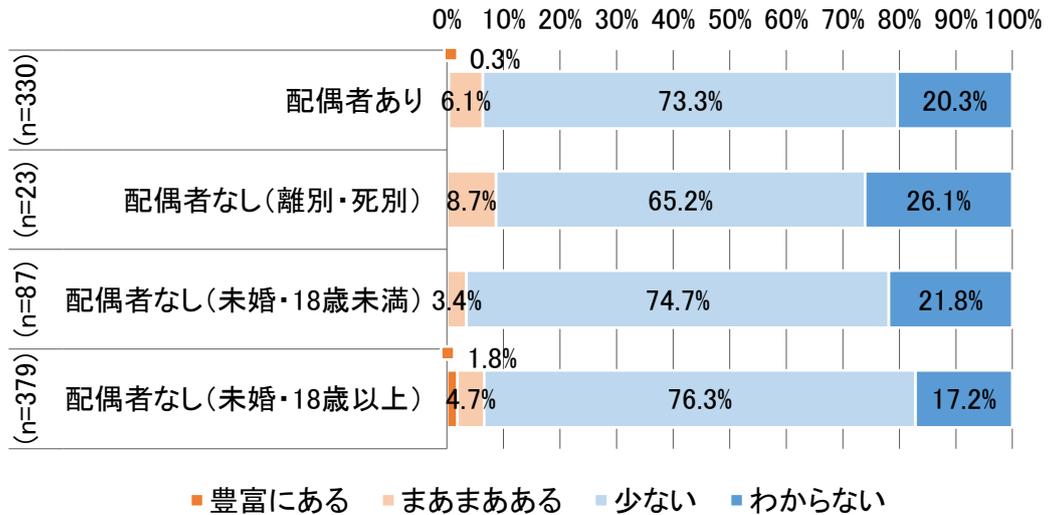
(D 高校(SA))

配偶者ありでは、「少ない」と回答した割合が3割近くとなっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



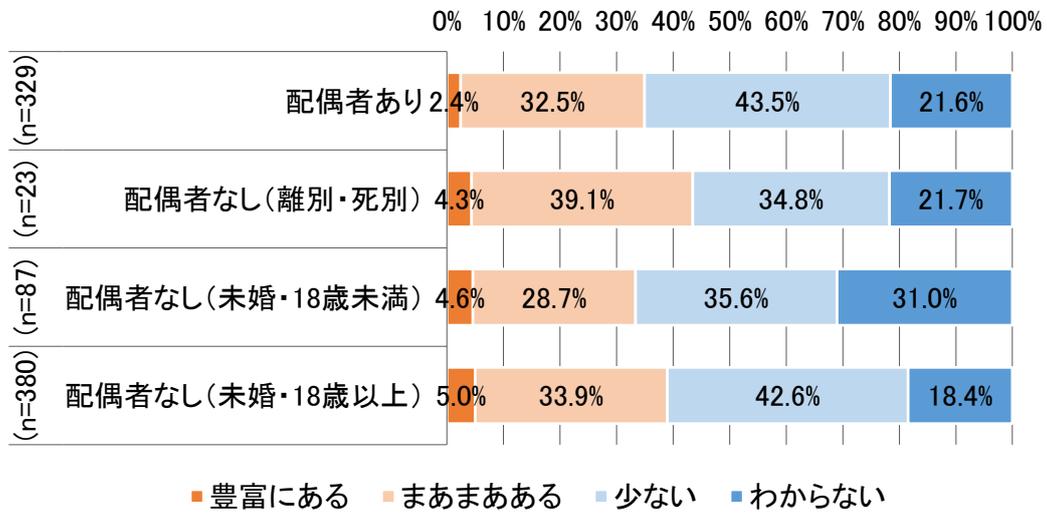
(E 専門学校・大学)

結婚の有無の違いによる大きな差は見られない。



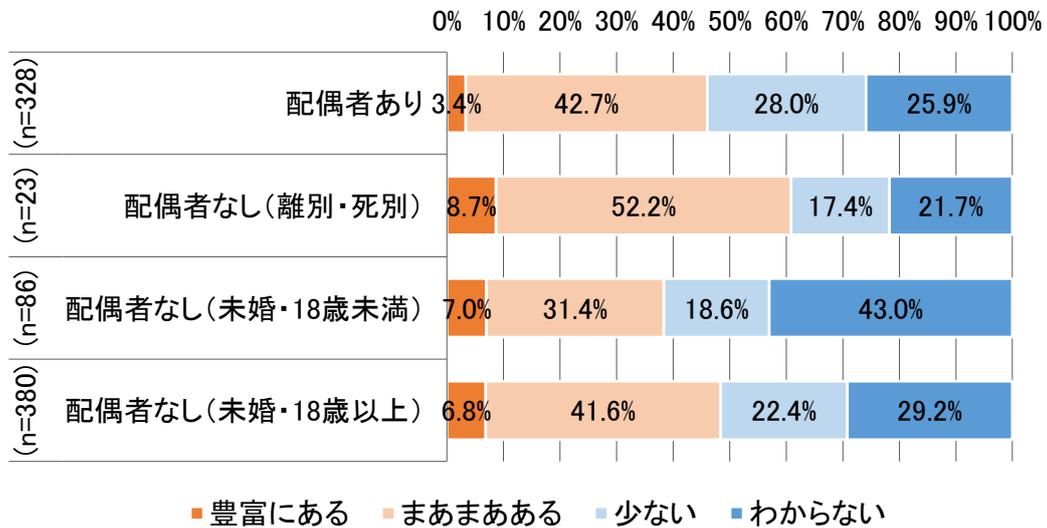
(F 就職先)

配偶者なし(離別・死別)では、「豊富にある」と「まあまあある」の合計は4割以上となっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



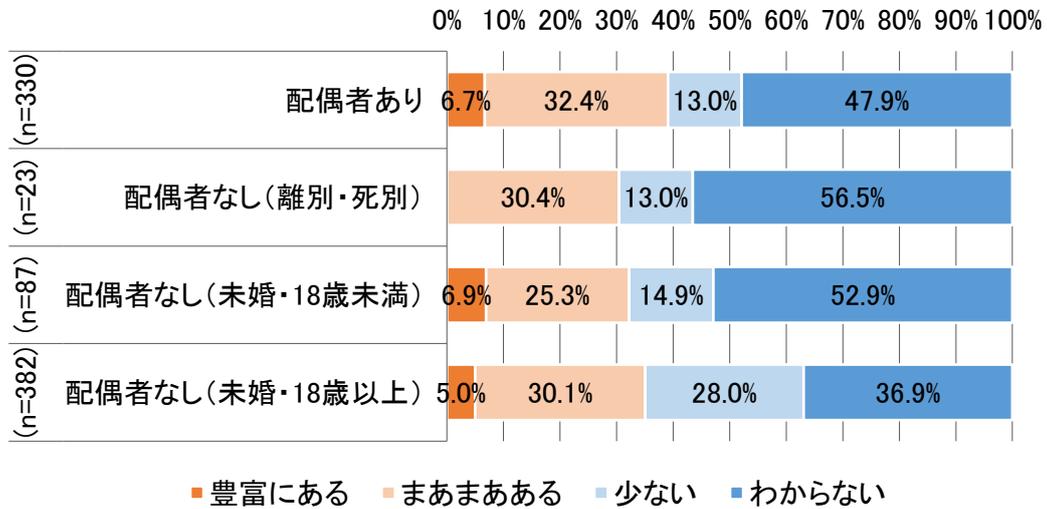
(G パート先)

配偶者なし(離別・死別)では、「豊富にある」と「まあまあある」の合計は6割以上となっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



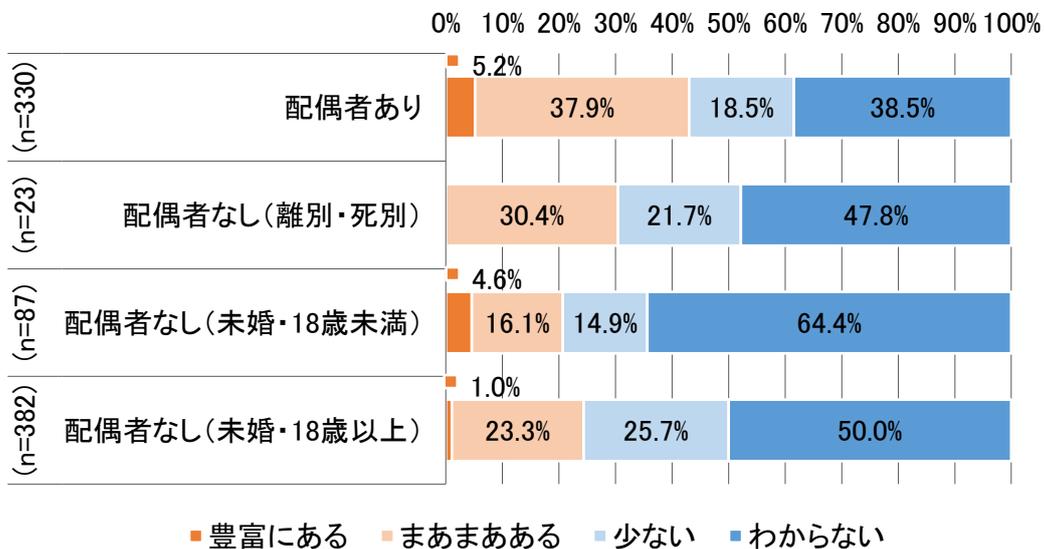
(H 一人暮らし向け賃貸住宅)

配偶者なし(未婚・18歳以上)では、「少ない」と回答した割合が3割近くとなっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



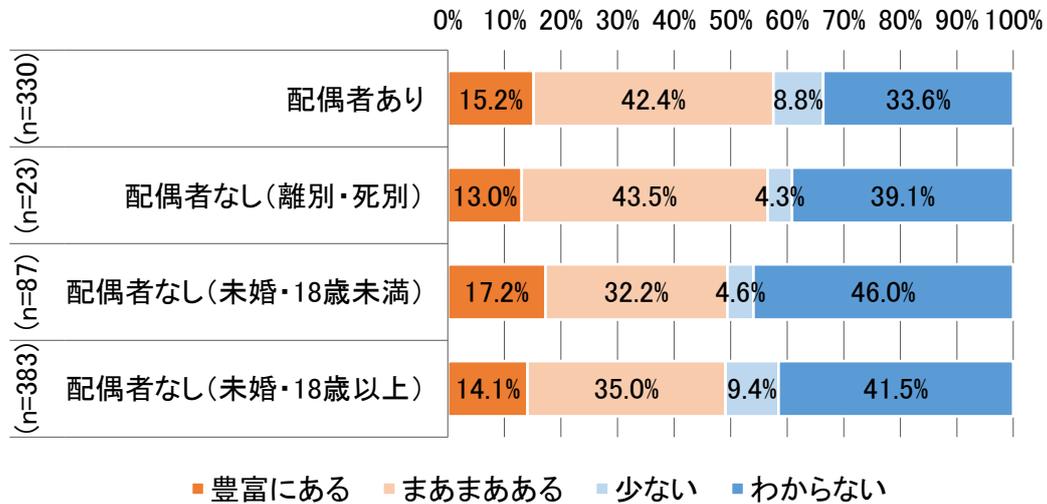
(I 若い夫婦向け賃貸住宅)

配偶者ありでは、「豊富にある」と「まあまあある」の合計は4割程度となっており、他の年代と比較して多い傾向にある。



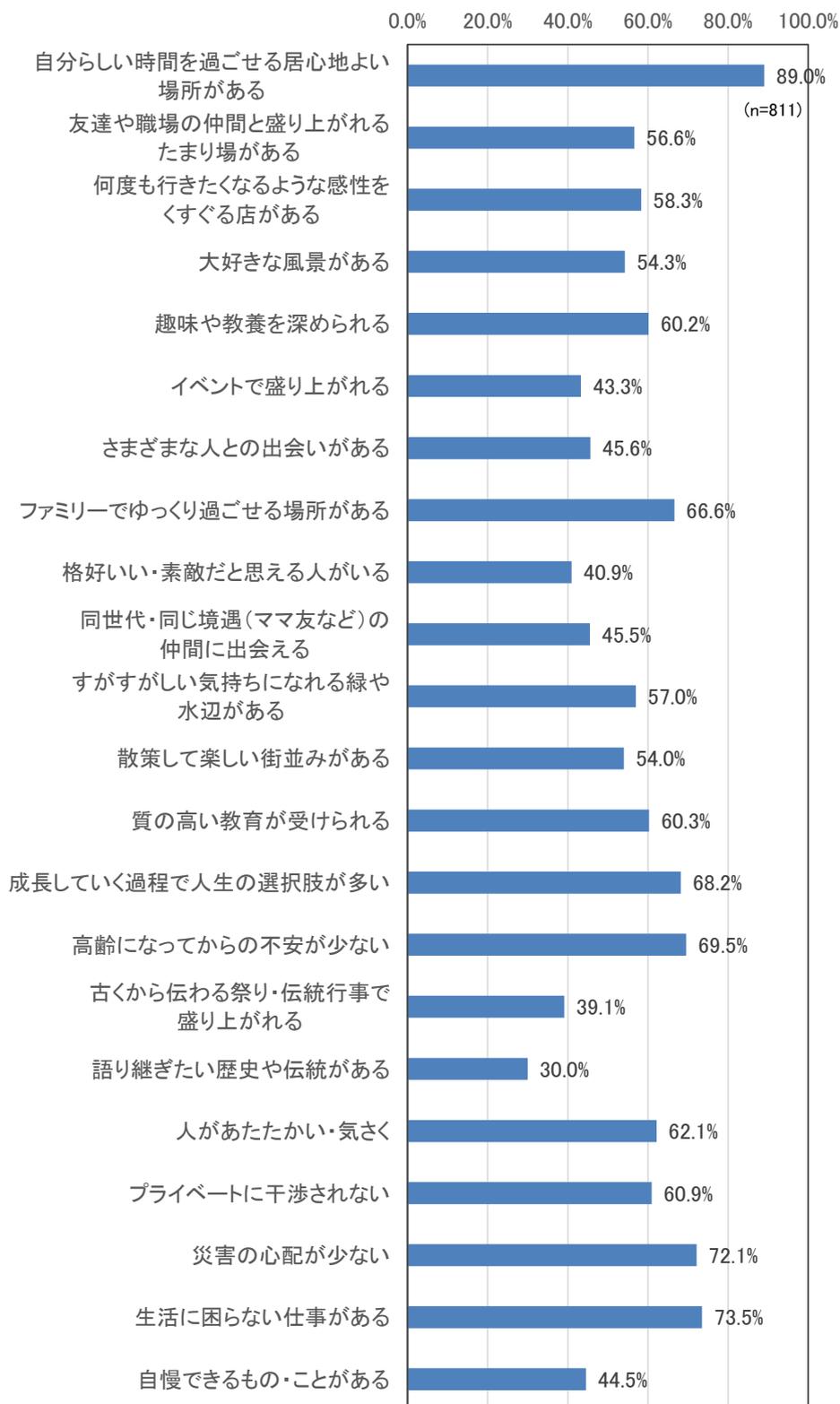
(J 持ち家住宅)

配偶者あり及び配偶者なし(未婚・18歳以上)では、「豊富にある」と「まあまあある」の合計は5割以上である一方、配偶者なし(未婚・18歳未満)および配偶者なし(未婚・18歳以上)では5割未満となっており、差がみられる。



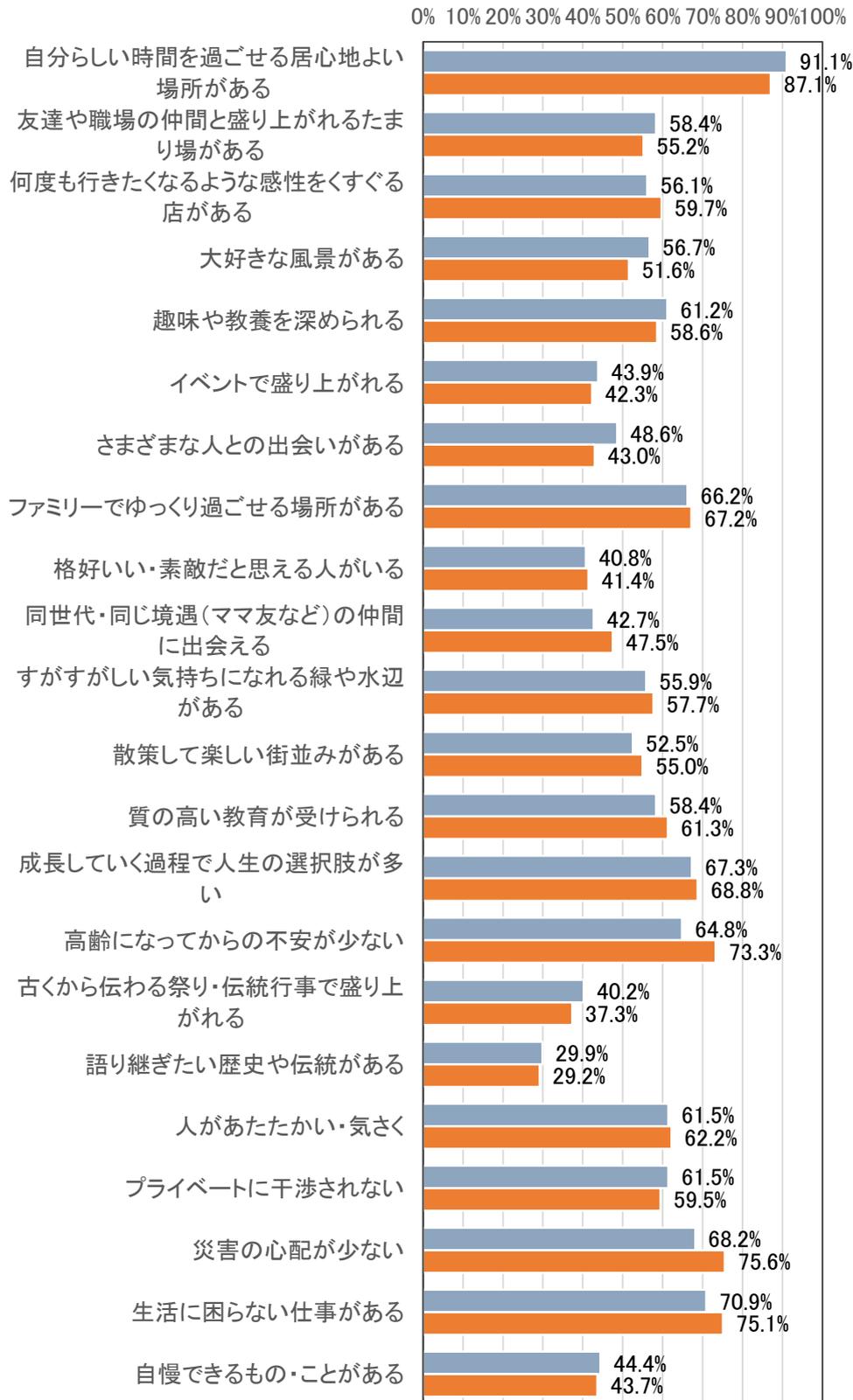
問23. A.暮らしていくうえで重要と思うこと (MA)

「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある」の割合が最も高く 89.0%である。次いで、「生活に困らない仕事がある(73.5%)」、「災害の心配が少ない(72.1%)」である。



■性別クロス集計結果(問1)

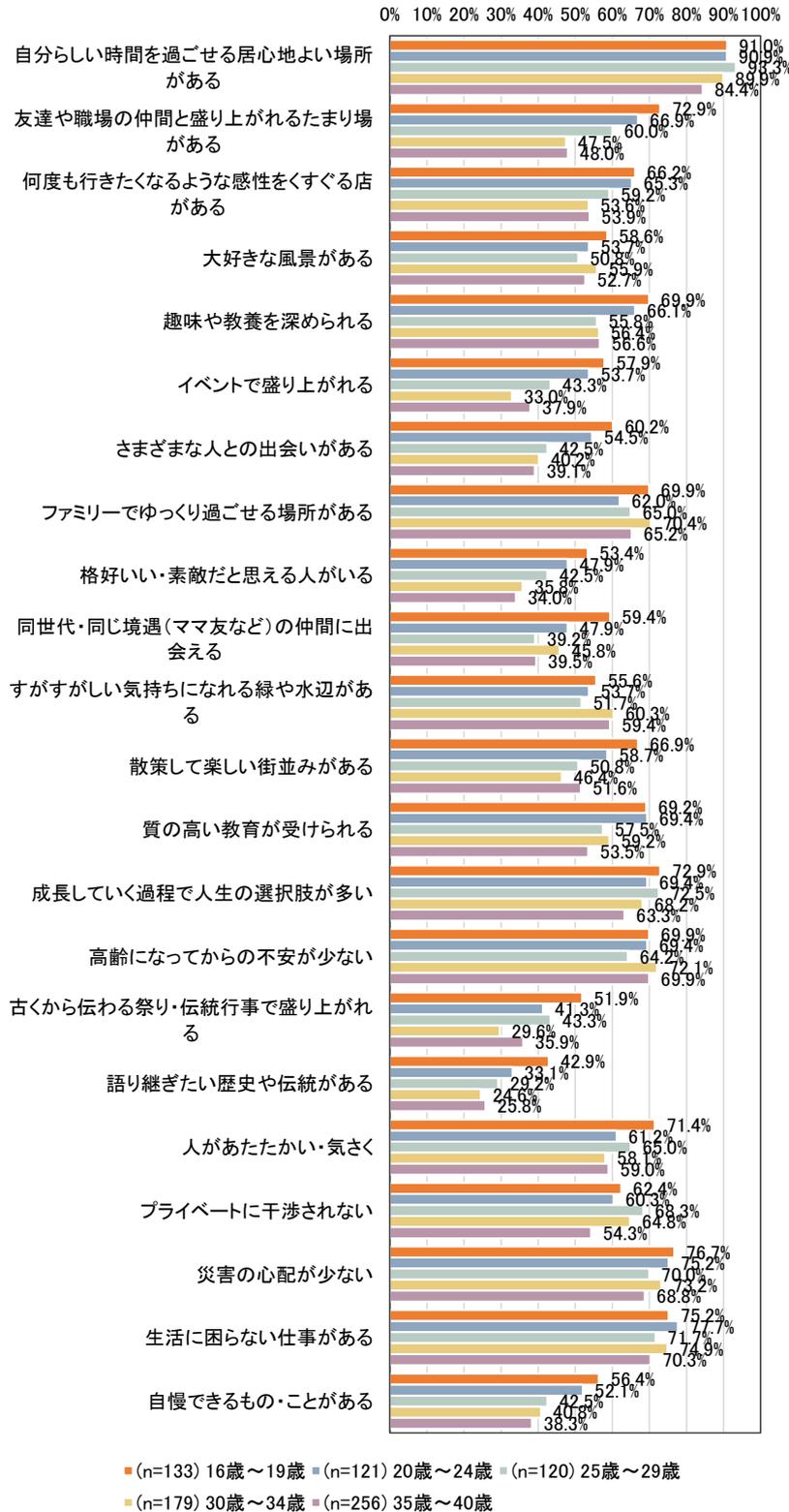
男女ともに「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある」の割合が最も高い。男女で比較すると、「高齢になってからの不安が少ない」で男性(64.8%)よりも女性(73.3%)の方が 8.5 ポイント上回る。



■ (n=358) 男性 ■ (n=442) 女性

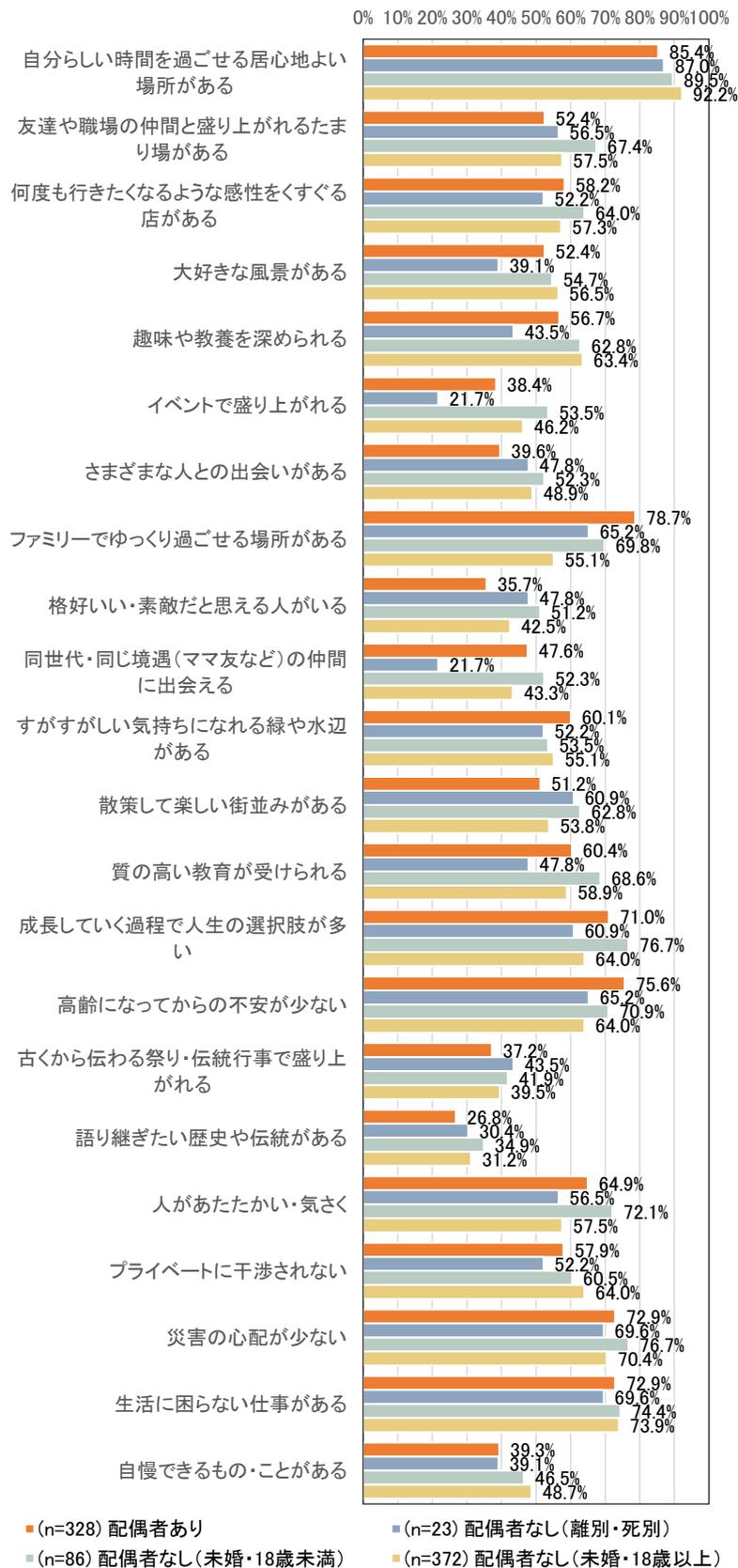
■年齢別クロス集計結果(問2)

いずれの年代においても「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある」の割合が最も高い。
 10代が最も複数の選択肢を回答しており、「大好きな風景がある」「趣味や教養を深められる」「ファミリーでゆっくり過ごせる場所がある」「すがすがしい気持ちになれる緑や水辺がある」以外の選択肢はすべて、10代の割合が最も高い。



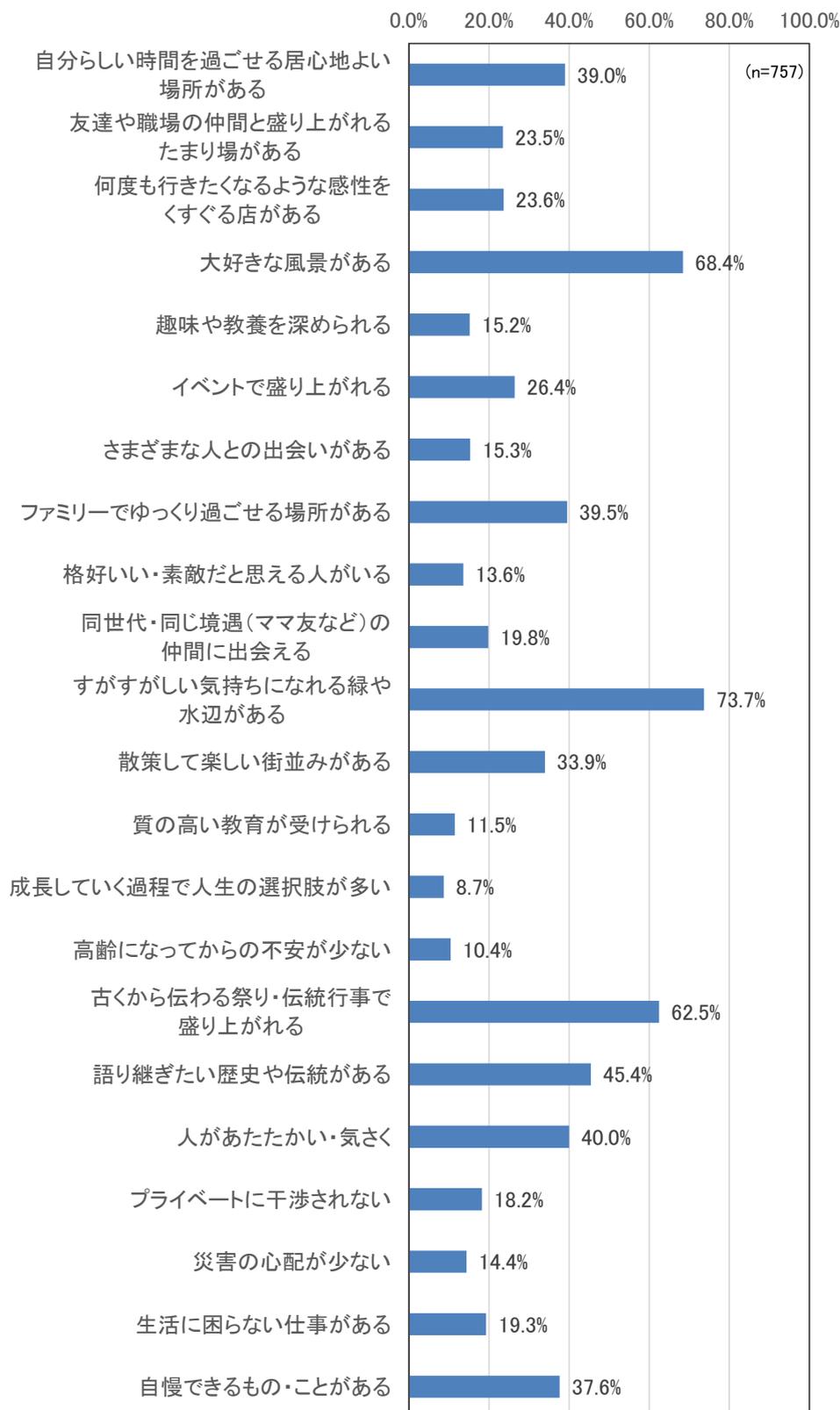
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

結婚の有無にかかわらず「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある」の割合が最も高い。配偶者ありでは次いで「ファミリーでゆっくり過ごせる場所がある(78.7%)」の割合が高く、未婚者と比較しても高くなっている。



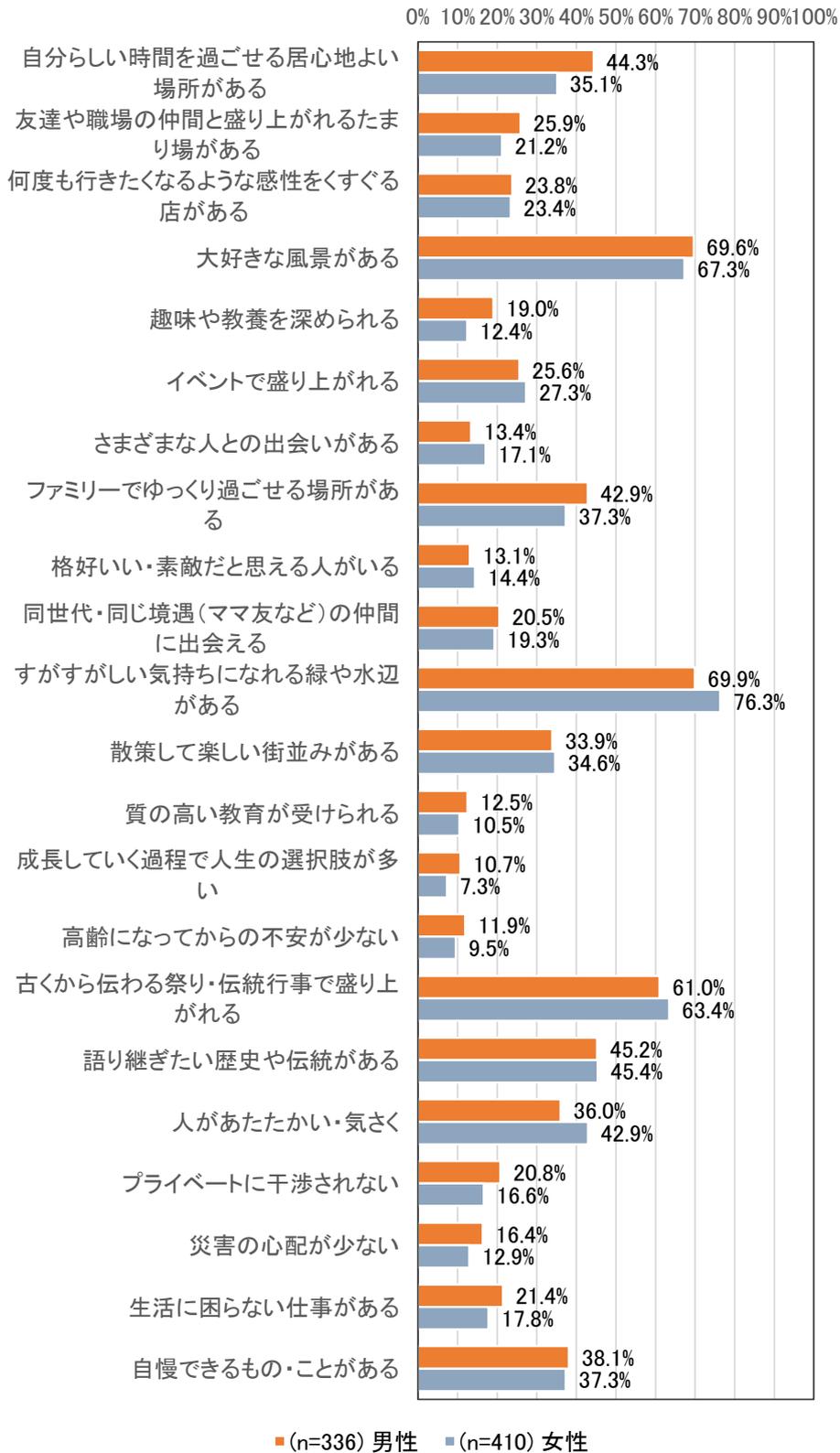
問23. B.富士宮市に当てはまると思うこと (MA)

「すがすがしい気持ちになれる緑や水辺がある」の割合が最も高く 73.7%である。次いで、「大好きな風景がある (68.4%)」、「古くから伝わる祭り・伝統行事で盛り上げられる(62.5%)」である。



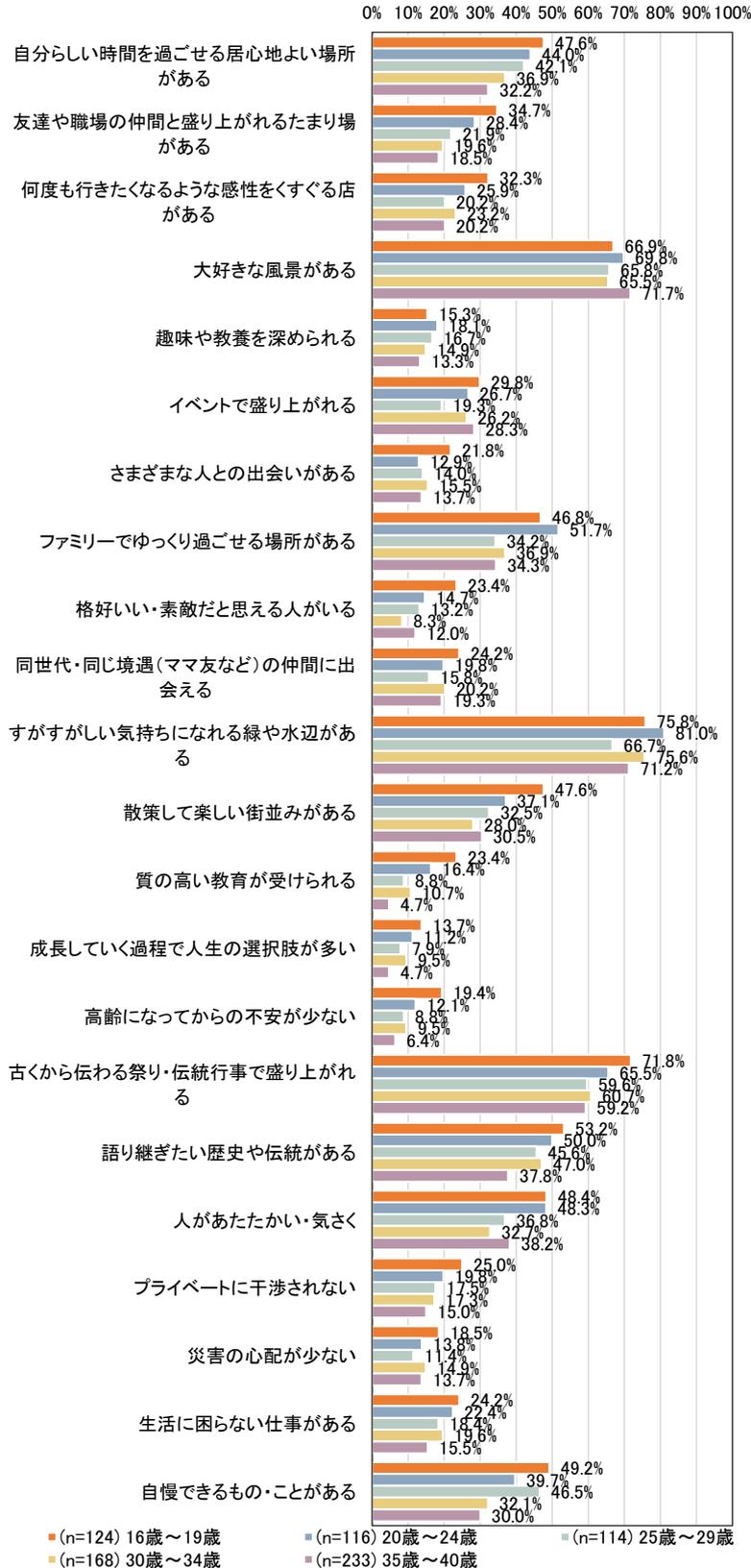
■性別クロス集計結果(問1)

男女ともに「すがすがしい気持ちになれる緑や水辺がある」の割合が最も高い。男女で比較すると、「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある」で女性(35.1%)よりも男性(44.3%)の方が9.2ポイント上回る。



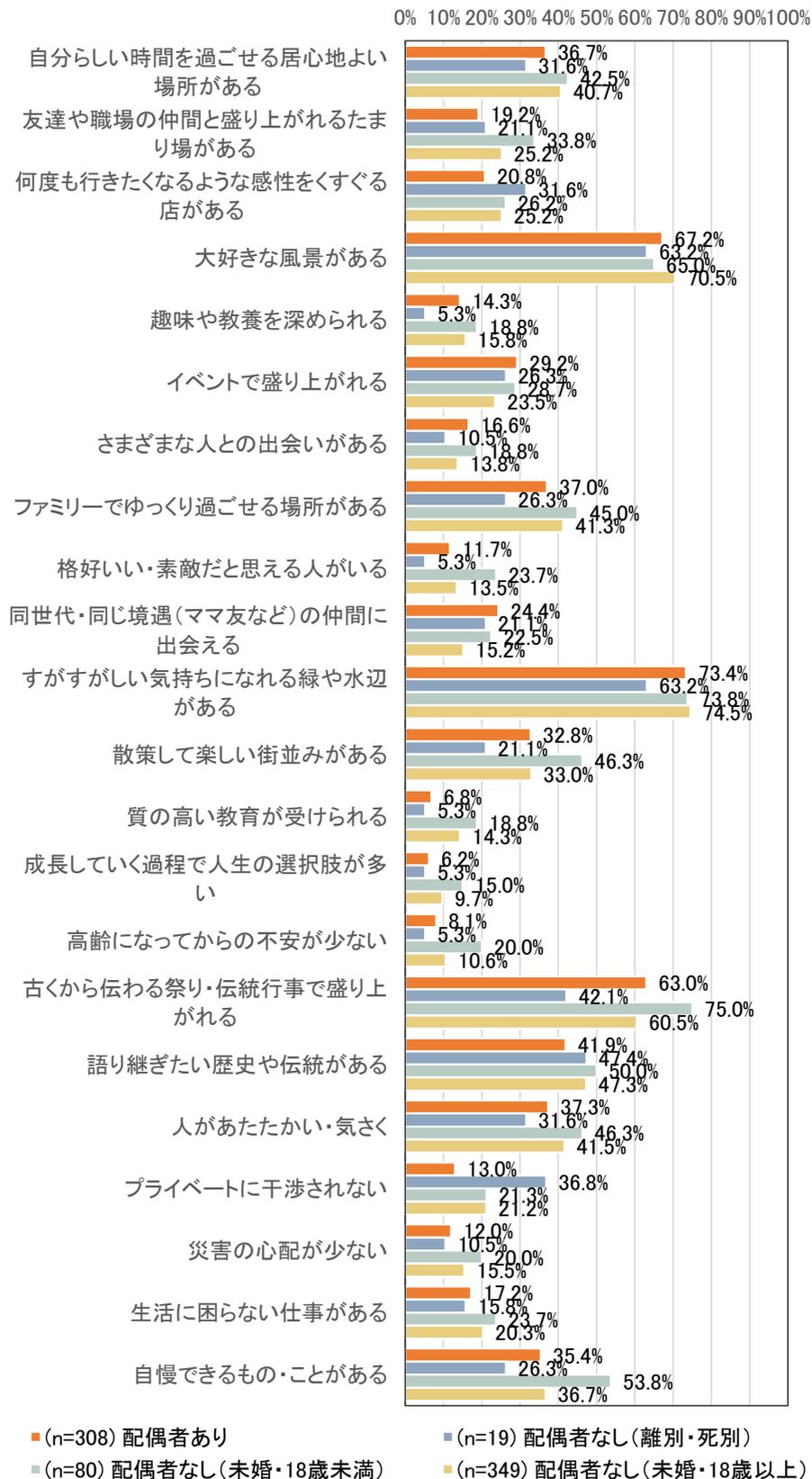
■年齢別クロス集計結果(問2)

10代～30代前半では「すがすがしい気持ちになれる緑や水辺がある」、30代後半～40歳では「大好きな風景がある」の割合が最も高い。「古くから伝わる祭り・伝統行事で盛り上げられる」の割合は、30代前半を除き年代が高くなるにつれて低くなっている。



■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

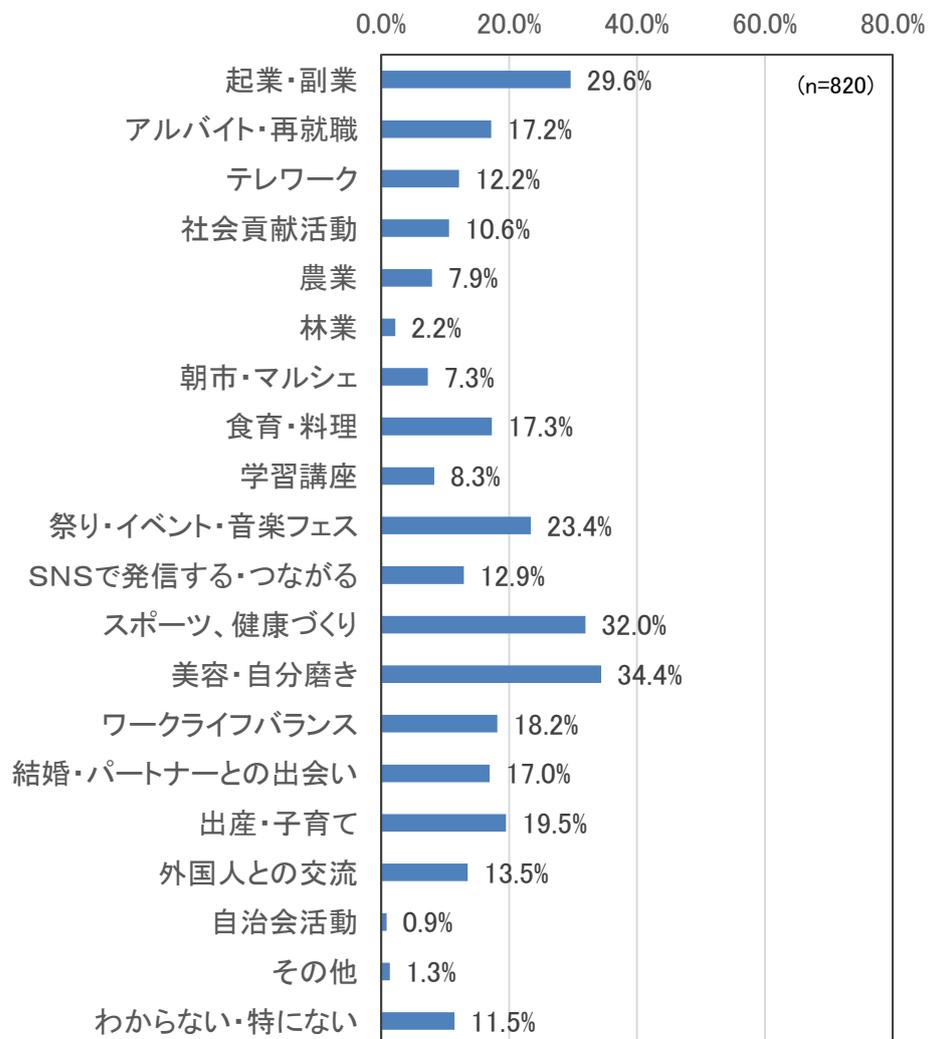
配偶者あり・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「すがすがしい気持ちになれる緑や水辺がある」、配偶者なし(離別・死別)では「大好きな風景がある(63.2%)」「すがすがしい気持ちになれる緑や水辺がある(63.2%)」、配偶者なし(未婚・18歳未満)では「古くから伝わる祭り・伝統行事で盛り上げられる(75.0%)」の割合が最も高い。



7 将来の希望について

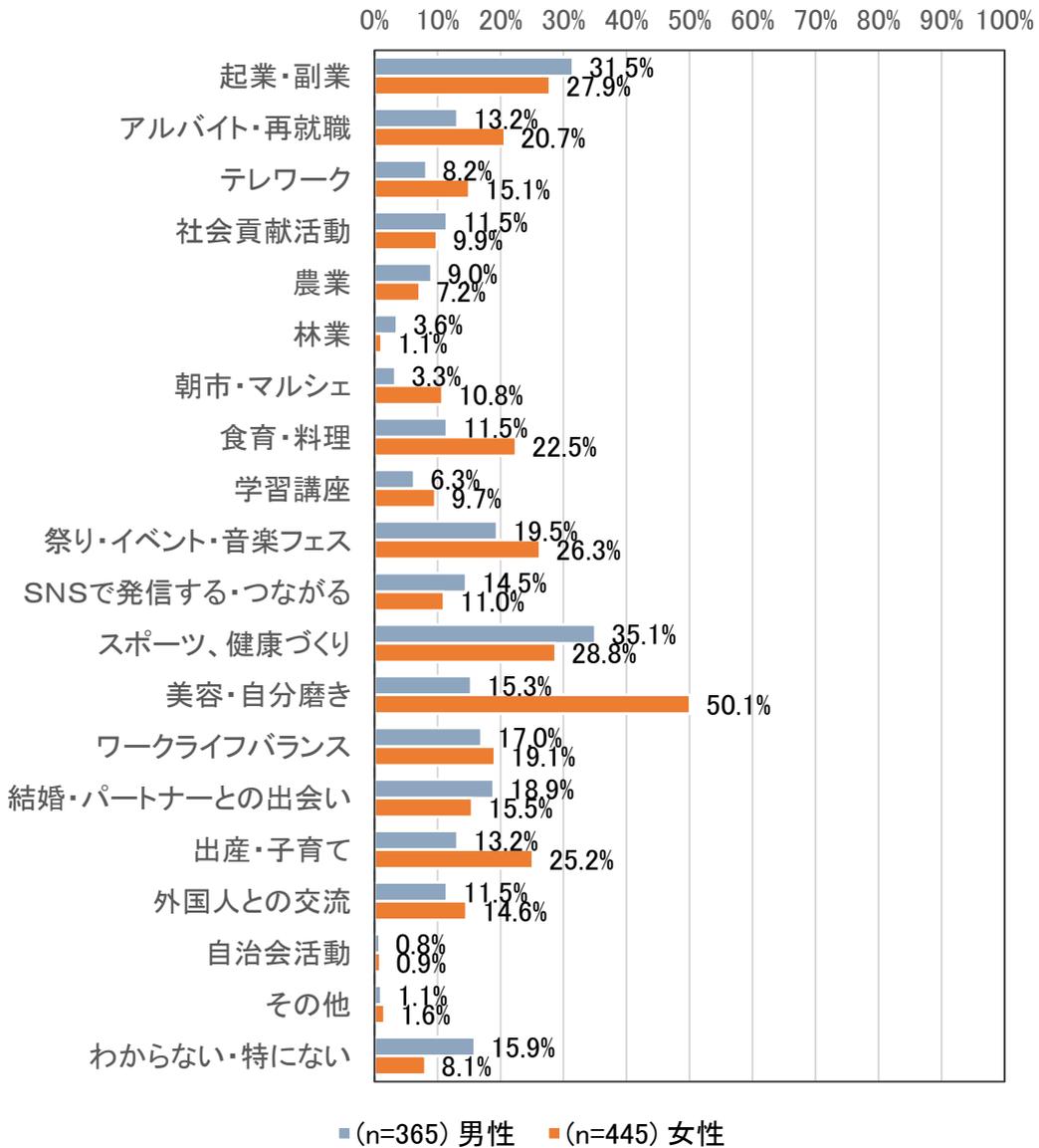
問24. 今後やってみたいこと・興味のあること (MA)

「美容・自分磨き」の割合が最も高く 34.4%である。次いで、「スポーツ、健康づくり(32.0%)」、「起業・副業(29.6%)」である。



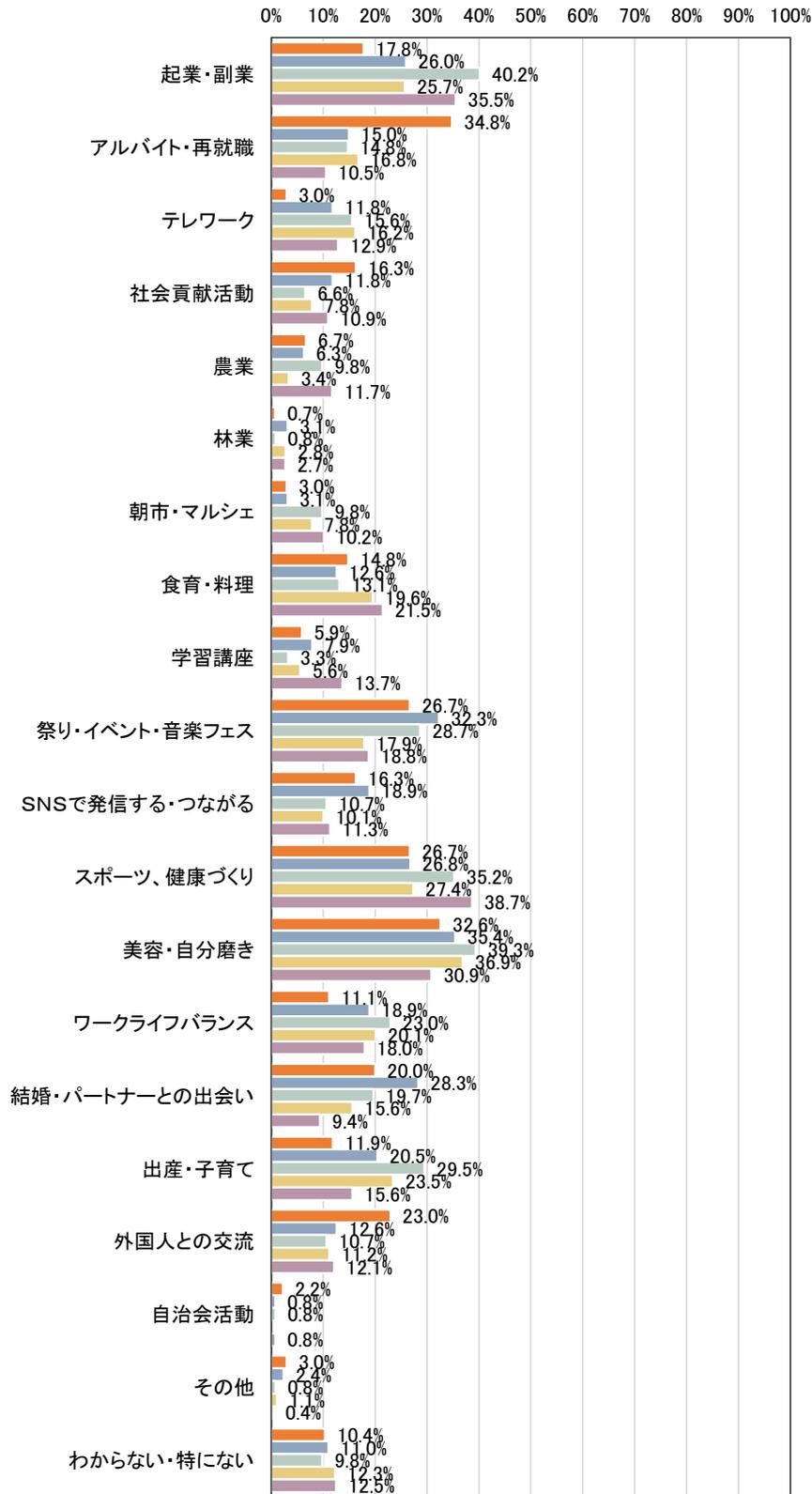
■性別クロス集計結果(問1)

男性では「スポーツ、健康づくり(35.1%)」、女性では「美容・自分磨き(50.1%)」の割合が最も高い。男女で比較すると、「出産・子育て」で男性(13.2%)よりも女性(25.2%)の方が12.0ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

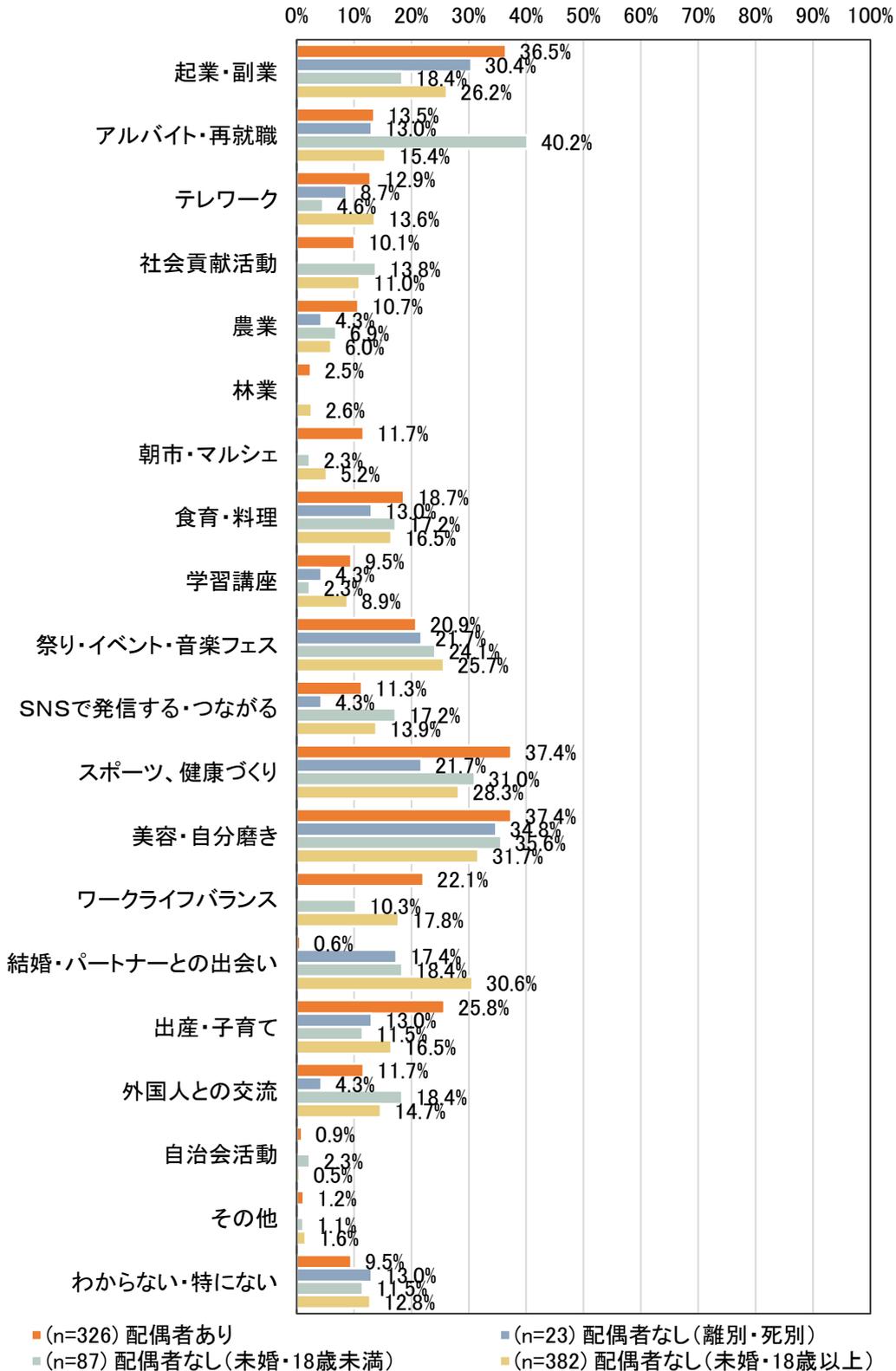
10代では「アルバイト・再就職(34.8%)」、20代前半・30代前半では「美容・自分磨き」、20代後半では「起業・副業(40.2%)」、30代後半～40歳では「スポーツ、健康づくり(38.7%)」の割合が最も高い。



■ (n=135) 16歳～19歳 ■ (n=127) 20歳～24歳 ■ (n=122) 25歳～29歳
 ■ (n=179) 30歳～34歳 ■ (n=256) 35歳～40歳

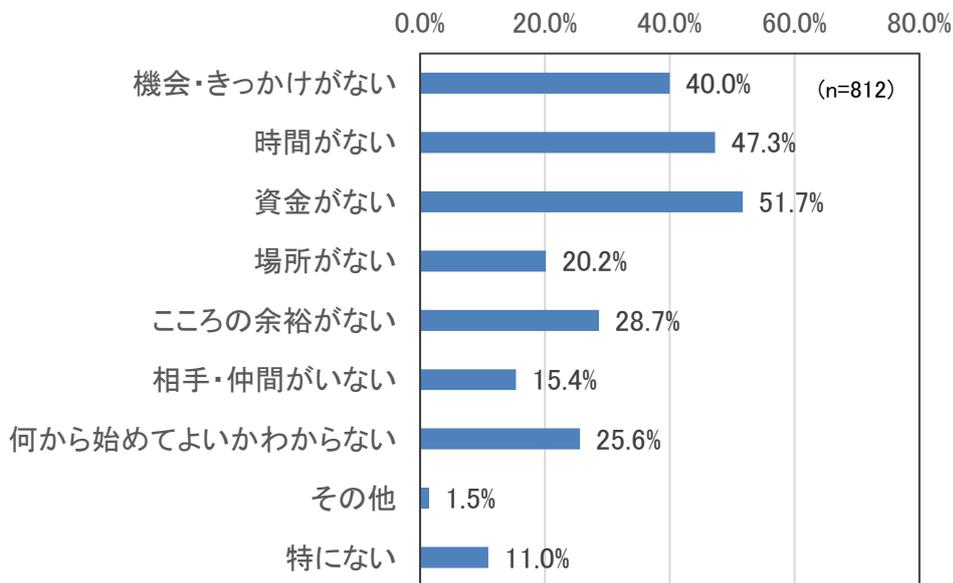
■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者ありでは「スポーツ、健康づくり(37.4%)」「美容・自分磨き(37.4%)」、配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「美容・自分磨き」、配偶者なし(未婚・18歳未満)では「アルバイト・再就職(40.2%)」の割合が最も高い。配偶者なし(未婚・18歳以上)では次いで「結婚・パートナーとの出会い(30.6%)」の割合が高くなっている。



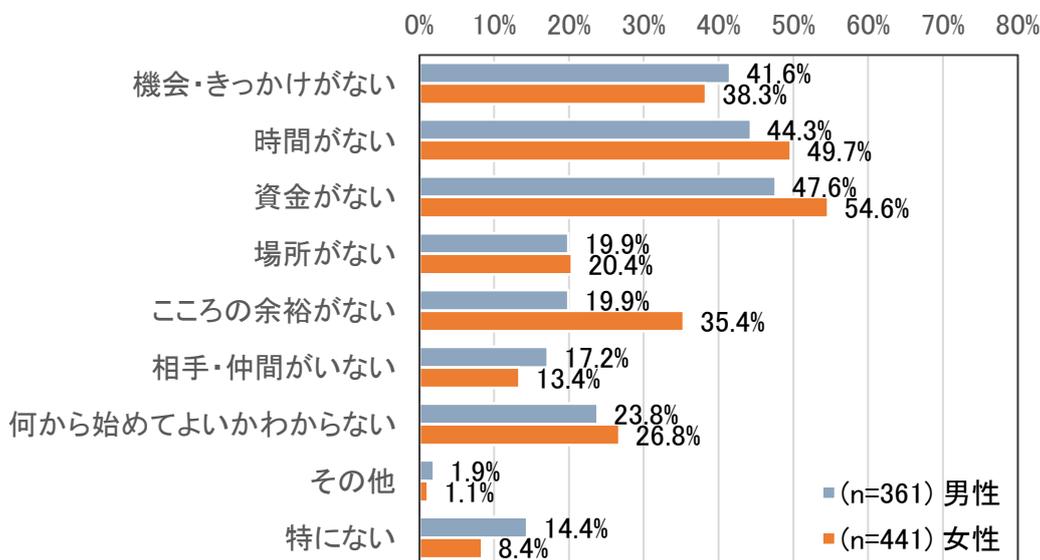
問25. 問 24 で選択した内容に取り組むうえでの課題 (MA)

「資金がない」の割合が最も高く 51.7%である。次いで、「時間がない(47.3%)」、「機会・きっかけがない(40.0%)」である。



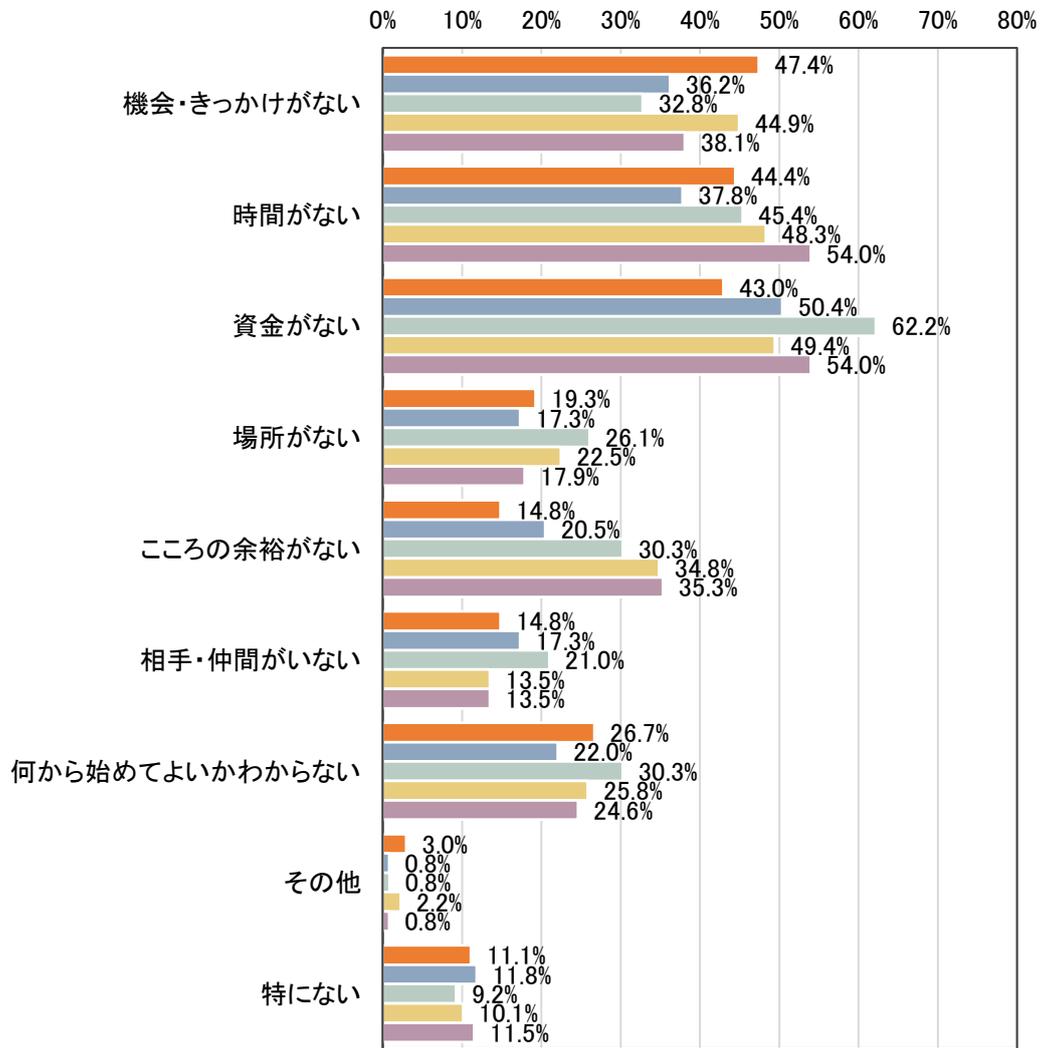
■性別クロス集計結果(問 1)

男性ともに「資金がない」の割合が最も高い。男女で比較すると、「こころの余裕がない」で男性(19.9%)よりも女性(35.4%)の方が 15.4 ポイント上回る。



■年齢別クロス集計結果(問 2)

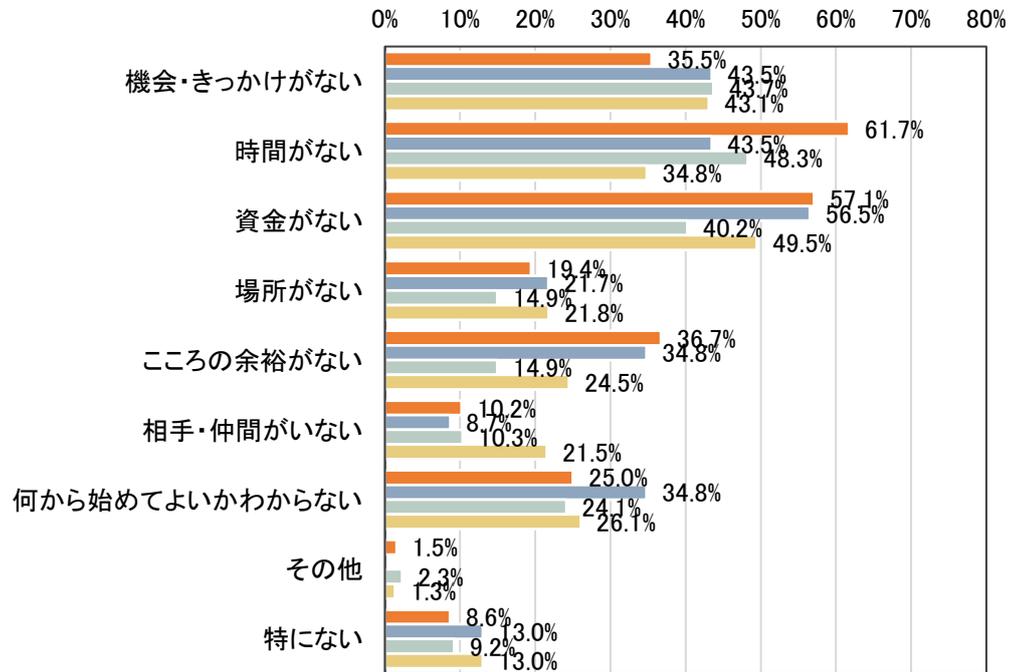
10代では「機会・きっかけがない(47.4%)」、20代～30代前半では「資金がない」、30代後半～40歳では「時間がない(54.0%)」と「資金がない(54.0%)」の割合が最も高い。



■ (n=135) 16歳～19歳
 ■ (n=127) 20歳～24歳
 ■ (n=119) 25歳～29歳
■ (n=178) 30歳～34歳
 ■ (n=252) 35歳～40歳

■結婚の有無別クロス集計結果(問 14)

配偶者あり・配偶者なし(未婚・18歳未満)では「時間がない」、配偶者なし(離別・死別)・配偶者なし(未婚・18歳以上)では「資金がない」の割合が最も高い。「時間がない」「資金がない」のほか、結婚の有無にかかわらず「機会・きっかけがない」が3~4割程度となっている。



- (n=324) 配偶者あり
- (n=23) 配偶者なし(離別・死別)
- (n=87) 配偶者なし(未婚・18歳未満)
- (n=376) 配偶者なし(未婚・18歳以上)

問30. 「市民まちづくり会議」への関心の有無

「関心はあるが、参加できない」の割合が最も高く 46.5%である。次いで、「関心はない(42.7%)」、「関心があるが、具体的な内容を聞いてから考えたい(9.6%)」である。

